

柏崎市男女共同参画に関する調査報告書

《市民意識調査》

令和6（2024）年12月

柏 崎 市

目次

I	調査概要	1
II	調査結果	3
□	男女の地位の平等に関する考えについて	3
▶	問 1 男女の地位の平等について	3
□	家庭生活などに関する考えについて	12
▶	問 2 家庭での役割について	12
▶	問 3-5 夫婦間での役割分担について	16
□	女性の活躍推進について	24
▶	問 6 女性が職業をもつことについて	24
▶	問 7 女性管理職のイメージについて	27
▶	問 8 職場での仕事の内容や待遇面について	29
▶	問 9 女性リーダーを増やすことの妨げについて	32
□	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について	34
▶	問 10 ワーク・ライフ・バランスの認知度について	34
▶	問 11 仕事と家庭生活や地域活動のバランス（理想）について	36
▶	問 12 仕事と家庭生活や地域活動のバランス（現実）について	40
▶	問 13-14 男性の育児休業・介護休業等の取得について	44
▶	問 15 仕事と家庭生活を両立する環境について	47
□	男女の人権について	50
▶	問 16-17 職場でのハラスメントについて	50
▶	問 18-21 ドメスティック・バイオレンスについて	54
□	男女共同参画に関する取組について	77
▶	問 22 行政が力を入れるべきところについて	77
□	回答者ご自身のことについて	80
▶	問 23 性別について	80
▶	問 24 年齢について	80
▶	問 25 家族構成について	80
▶	問 26 結婚について	80
▶	問 27 家庭の就業形態について	81
▶	問 28 子どもの有無について	81
▶	問 29 職業について	81
▶	問 30 勤務先の従業員数について	81
▶	問 31 ご意見・ご要望について	82

I 調査概要

1 調査の目的

この調査は、現行の「柏崎市男女共同参画基本計画（かしわざき男女共同参画プラン）」の改定に当たり、「柏崎市男女共同参画推進条例」に基づいて実施し、令和8(2026)年度を初年度とする次期計画を策定する際の基礎資料とするものです。

2 調査内容

- 男女の地位の平等に関する考えについて
 - ▶ 問 1 あなたは、次の分野において、男女の地位が平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください（それぞれ一つずつ）。
- 家庭生活などに関する考えについて
 - ▶ 問 2 あなたのご家庭では、次の家事等を主にどなたが担当していますか（それぞれ一つずつ）。
 - ▶ 問 3 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるという考え方について、あなたはどのように思いますか。あなたのお考えに最も近いものを一つだけ選んでください。
 - ▶ 問 4 （問3で1または2を選んだ方のみ）
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考えに「賛成」「どちらかといえば賛成」と思うのはなぜですか（あてはまるもの全て）。
 - ▶ 問 5 （問3で3または4を選択した方のみ）
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考えに「どちらかといえば反対」「反対」と思うのはなぜですか（あてはまるもの全て）。
- 女性の活躍推進について
 - ▶ 問 6 あなたは、女性が職業をもつことについて、どのように考えますか。あなたのお考えに最も近いものを一つだけ選んでください。
 - ▶ 問 7 あなたは、女性が管理職以上に昇進することについて、どのようなイメージを抱いていますか（あてはまるもの全て）。
 - ▶ 問 8 あなたの職場やあなたの周囲の方の職場では、仕事の内容や待遇面で、次のようなことがあると思いますか（あてはまるもの全て）。
 - ▶ 問 9 あなたは、政治・経済・地域などの各分野において、女性のリーダーを増やす妨げとなるものは何だと思いますか（あてはまるもの全て）。
- ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について
 - ▶ 問 10 あなたは、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）という言葉を知っていますか。
 - ▶ 問 11 仕事と家庭生活や地域活動のバランスについて、あなたの「理想」に最も近いものを一つだけ選んでください。
 - ▶ 問 12 仕事と家庭生活や地域活動のバランスについて、あなたの「現実」に最も近いものを一つだけ選んでください。
 - ▶ 問 13 あなたの職場やあなたの周囲の方の職場では、男性の育児・介護休業等を取りやすいと思いますか。あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ一つずつ選んでください。
 - ▶ 問 14 （問13で3または4を選択した方のみ）
「やや取りにくい」「取りにくい」と思うのはなぜですか。あなたのお考えに最も近いものを一つだけ選んでください。
 - ▶ 問 15 あなたは、男性と女性がともに仕事と家庭生活を両立させていく環境をつくるためにはどのようなことが必要だと思いますか（あてはまるもの全て）。
- 男女の人権について
 - ▶ 問 16 お仕事をされている方（または以前されていた方）にお聞きします。
あなたは職場において、次のようなハラスメントを受けたことがありますか（あてはまるもの全て）。
 - ▶ 問 17 （問16で1～3を選択した方のみ）
あなたは、そのときどこ（だれ）に相談しましたか（あてはまるもの全て）。

- ▶ 問 18 配偶者等や交際相手から受ける暴力をDV（ドメスティック・バイオレンス）といいますが、1～7のようなことが行われた場合、それをDVだと思えますか（それぞれ一つずつ）。
- ▶ 問 19 あなたは、配偶者等や交際相手からの暴力について、相談できる窓口としてどのようなところを知っていますか（あてはまるもの全て）。
- ▶ 問 20 あなたはこれまでに、配偶者等や交際相手などから1～5のような暴力（DV）を受けたことがありますか。それぞれの項目について、あてはまるものを選んでください（それぞれ一つずつ）。
- ▶ 問 21 （問20で1の「ある」を選択した方のみ）
あなたは、配偶者等や交際相手からそのような行為をされたとき、どのように行動しましたか（あてはまるもの全て）。
- 男女共同参画に関する取組について
 - ▶ 問 22 あなたは、男女共同参画社会を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか（三つまで）。
- 統計的に分析するために、あなたご自身のことについてお尋ねします。
 - ▶ 問 23 あなたの性別をお聞かせください（一つだけ）。
 - ▶ 問 24 あなたの年齢はおいくつですか（一つだけ）。
 - ▶ 問 25 あなたが現在生活しているご家庭の家族構成は、次のどれに該当しますか（一つだけ）。
 - ▶ 問 26 あなたは、結婚されていますか（一つだけ）。
 - ▶ 問 27 （問26で1を選択した方のみ）
あなたは共働きですか。それとも夫婦どちらか一方が働いているご家庭ですか（一つだけ）。
 - ▶ 問 28 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか（一つだけ）。
 - ▶ 問 29 あなたのご職業は次のどれに該当しますか（一つだけ）。
 - ▶ 問 30 現在、お仕事をされている方にお聞きします。
あなたの職場（本社、支店、営業所なども合計した企業全体）の従業員数は、次のどれに該当しますか（一つだけ）。
 - ▶ 問 31 男女共同参画社会を進めていくに当たって、ご意見やご要望がありましたらお聞かせください。

3 調査の設計

- ❖ 調査対象 : 柏崎市に居住する18歳以上の男女
- ❖ 調査方法 : 郵送による配布を行い、郵送及びWebにより回答を回収
- ❖ 標本数 : 2,000人
- ❖ 抽出方法 : 無作為抽出法（系統抽出法）
- ❖ 調査期間 : 令和6(2024)年 8月27日～令和6(2024)年9月17日

4 回収結果

- ❖ 配布数 : 2,000人
- ❖ 有効回収数 : 658人（男性249人、女性394人、どちらでもない3人、答えたくない7人、無回答5人）
- ❖ 回収率 : 32.9%

5 集計結果の見方

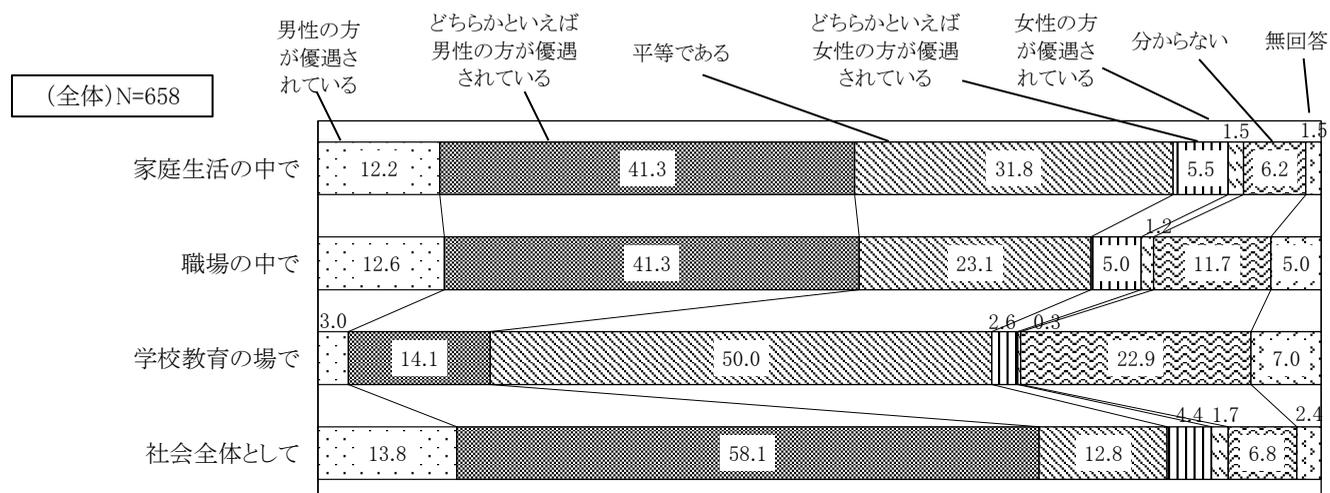
- ❖ 百分率（%）は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。したがって、回答率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- ❖ 複数回答（2つ以上選んでよい問）については、回答率の合計が100%を超える場合があります。
- ❖ 図表中に示すN、nは、回答率算出上の基数（標本数）です。標本全数を「N」、該当数を「n」で表記しています。
- ❖ 性別について「どちらでもない・答えたくない」を選択した方の回答は「性別の選択なし」としてまとめています。
- ❖ 前回比較とは、令和元(2019)年、平成26(2014)年に同様の調査を行ったものと比較したものです。
- ❖ 令和元(2019)年実施時、19歳以下は調査対象外のため参考数値がありません。
- ❖ 本文・表・グラフは、表示の都合上調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。

II 調査結果

□ 男女の地位の平等に関する考えについて

問 1

あなたは、次の分野において、男女の地位が平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください（それぞれ一つずつ）。



【全体】

様々な分野の男女の地位の平等感については、「学校教育の場で」のみが50%以上を超えている状況である。その他の分野ではいずれも『男性優遇』（「男性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）が「平等」を上回っている。『男性優遇』の割合が最も高いのは「社会全体として」（71.9%）、次いで「職場の中で」（53.9%）、「家庭生活の中で」（53.5%）の順となっている。

【性別】

「家庭生活の中で」における男女の地位の平等感

女性は『男性優遇』が62.2%に対して「平等」は26.6%となっている。

男性は『男性優遇』が39.3%に対して「平等」40.6%となっており、女性の方が男性よりも『男性優遇』との考えが強い傾向がみられる。

「職場の中で」における男女の地位の平等感

女性は『男性優遇』が55.9%に対して「平等」は20.6%となっている。

男性は『男性優遇』が50.6%に対して「平等」27.7%となっており、若干、女性の方が男性よりも『男性優遇』との考えが強い傾向がみられる。

「学校教育の場で」における男女の地位の平等感

女性は『男性優遇』が17.2%に対して「平等」は50.3%となっている。

男性は『男性優遇』が15.7%に対して「平等」51.4%となっており、若干、女性の方が男性よりも『男性優遇』との考えが強い傾向がみられる。

「社会全体として」における男女の地位の平等感

女性は『男性優遇』が78.0%に対して「平等」は9.4%となっている。

男性は『男性優遇』が62.6%に対して「平等」は18.5%となっており、女性の方が男性よりも『男性優遇』との考えが強い傾向が顕著にみられる。

【経年比較】

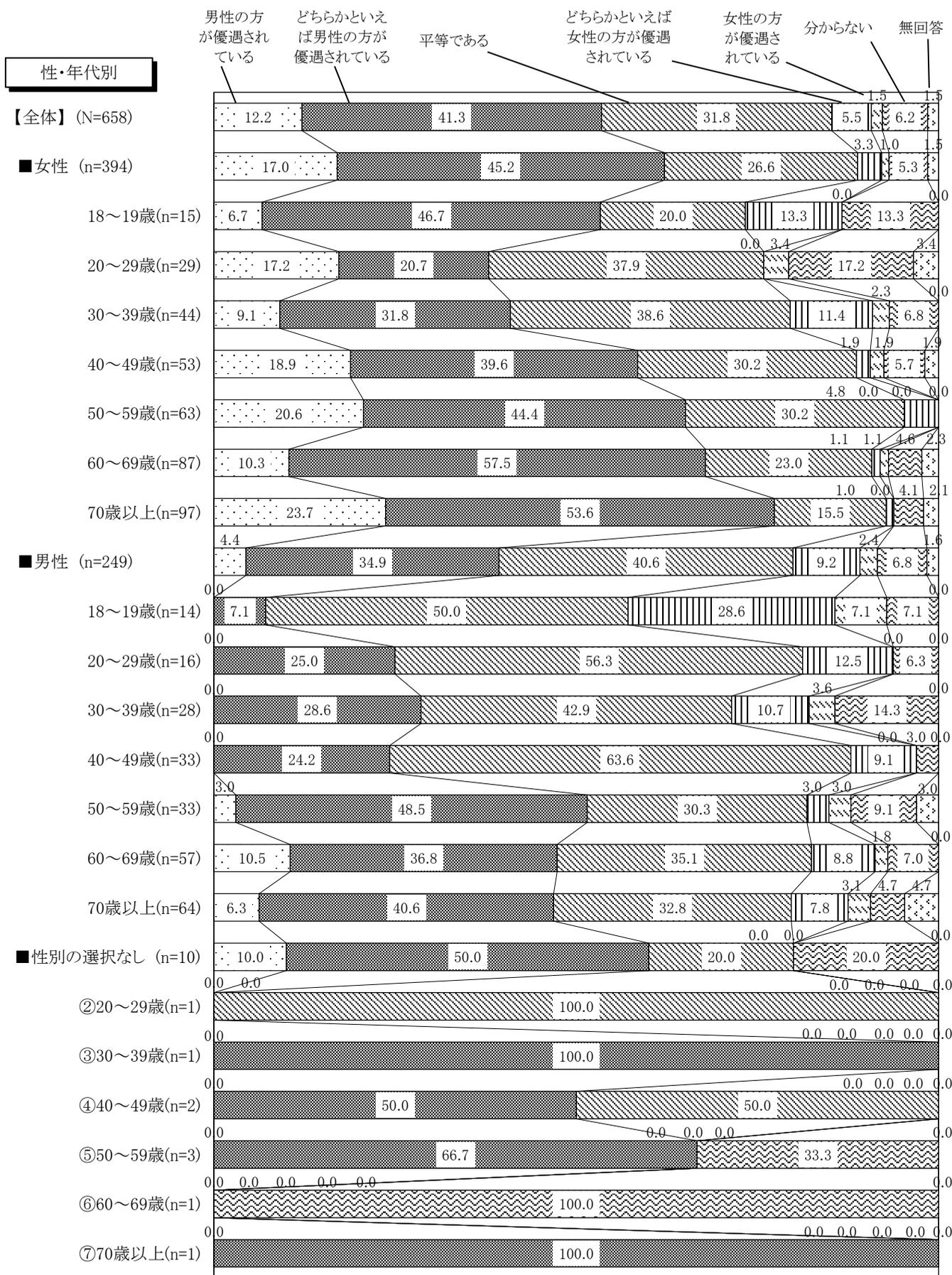
前回の調査結果と比較すると、全ての分野において「平等」の割合が減少し、また、「学校教育の場で」を除く3つの分野で『男性優遇』が増加している。

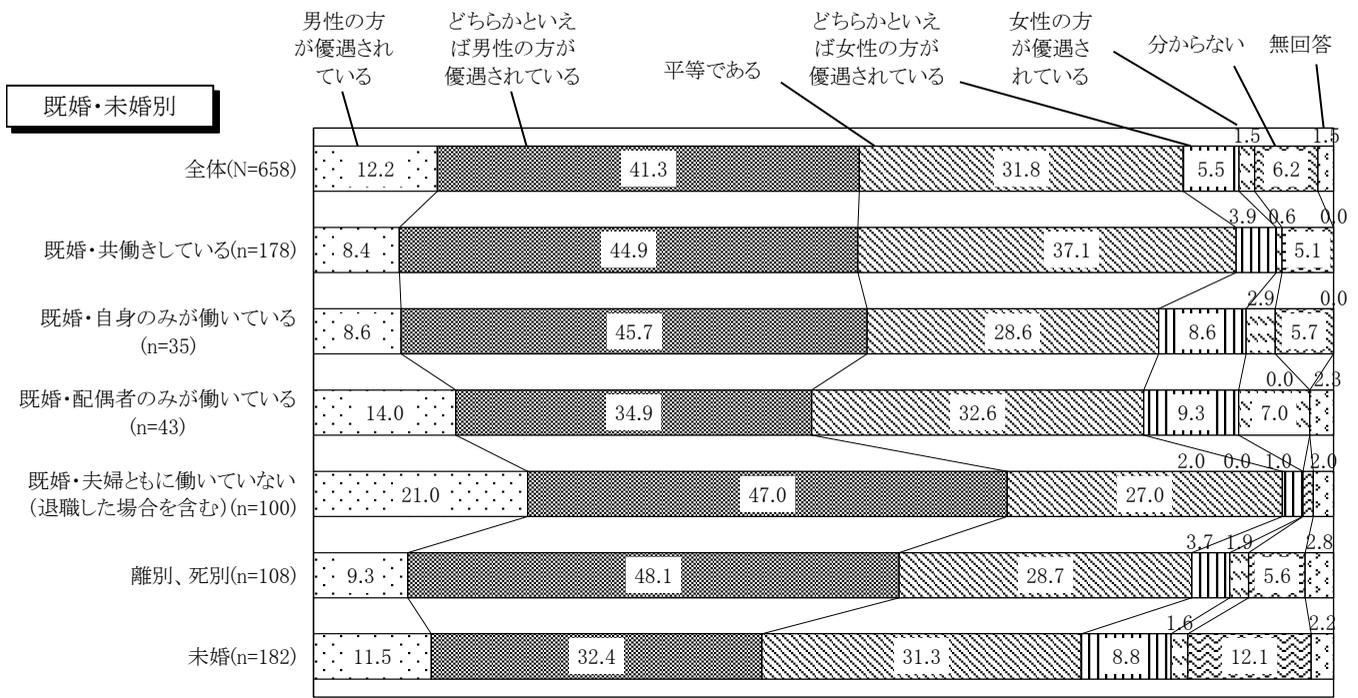
□ 男女の地位の平等に関する考えについて

問1

あなたは、次の分野において、男女の地位が平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください（それぞれ一つずつ）。

1 家庭生活の中で



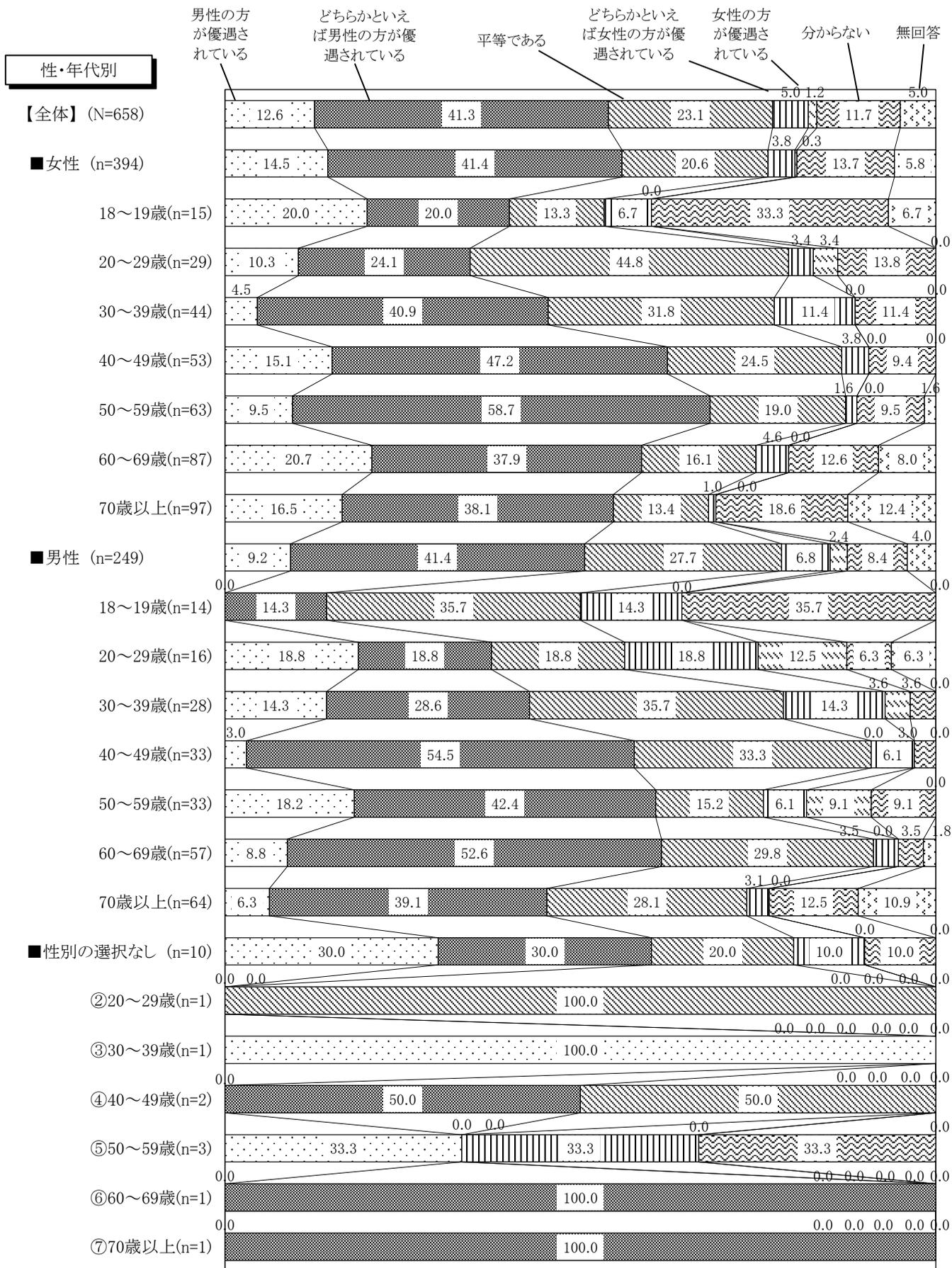


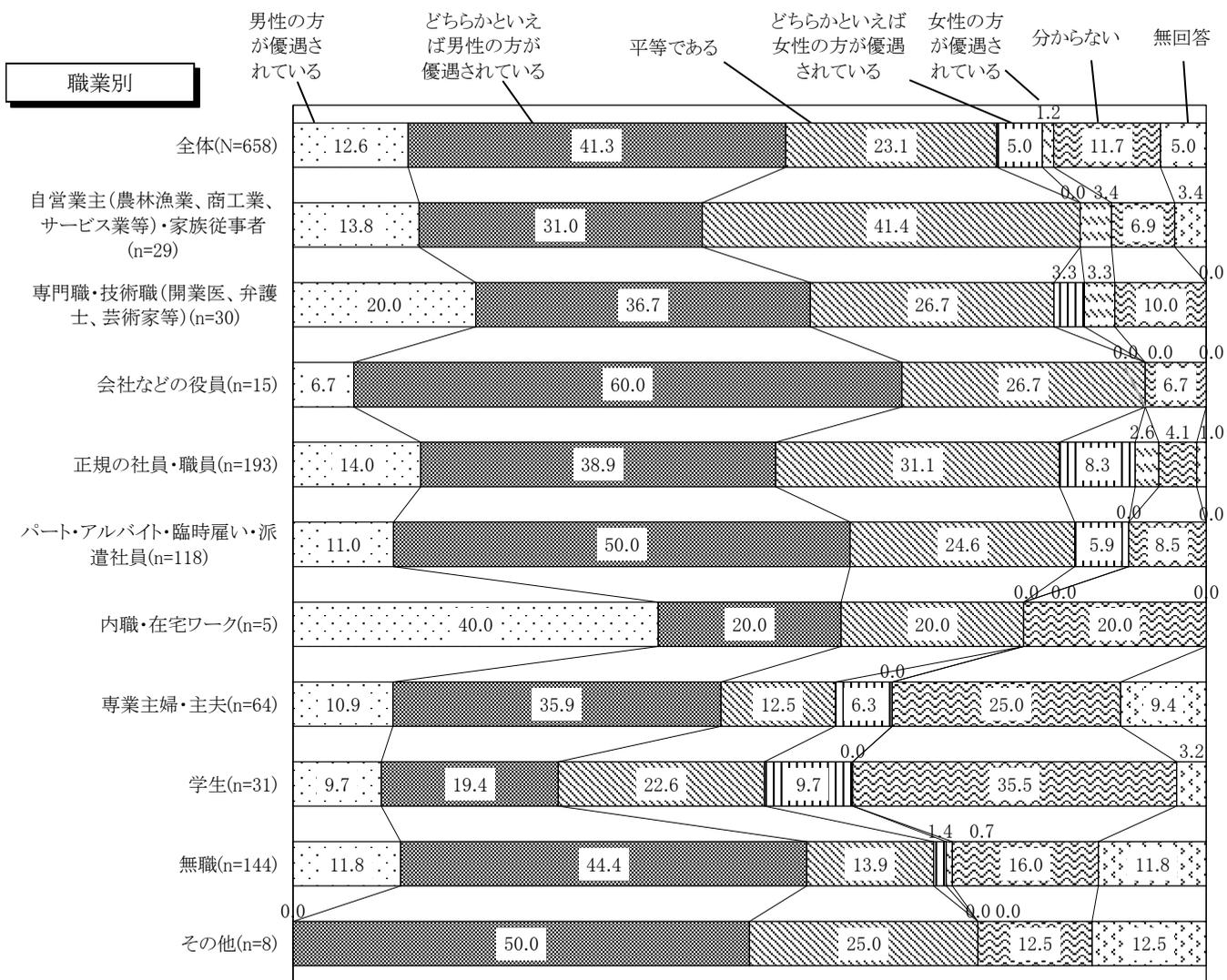
□ 男女の地位の平等に関する考えについて

問1

あなたは、次の分野において、男女の地位が平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください（それぞれ一つずつ）。

2 職場の中で



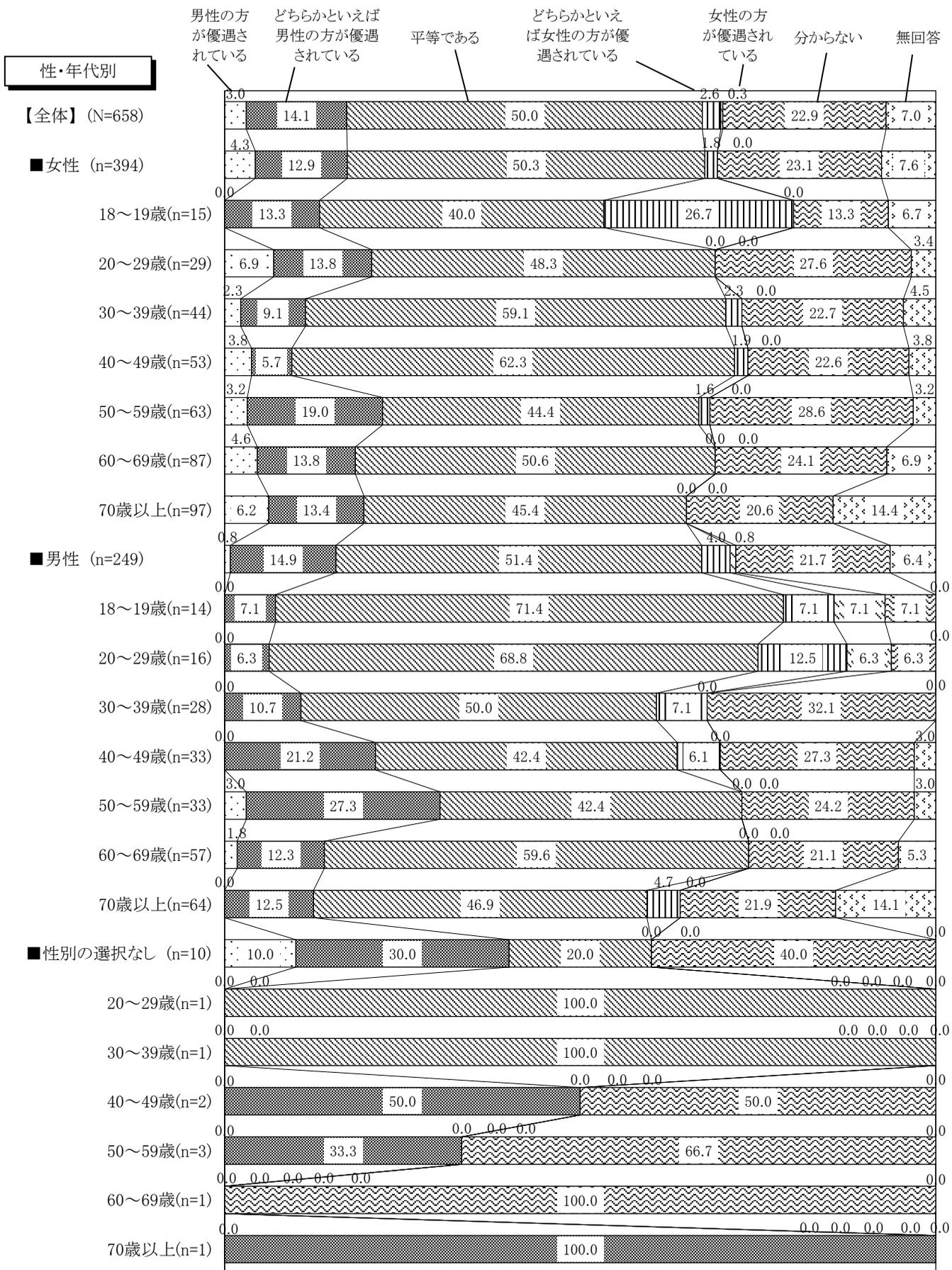


□ 男女の地位の平等に関する考えについて

問1

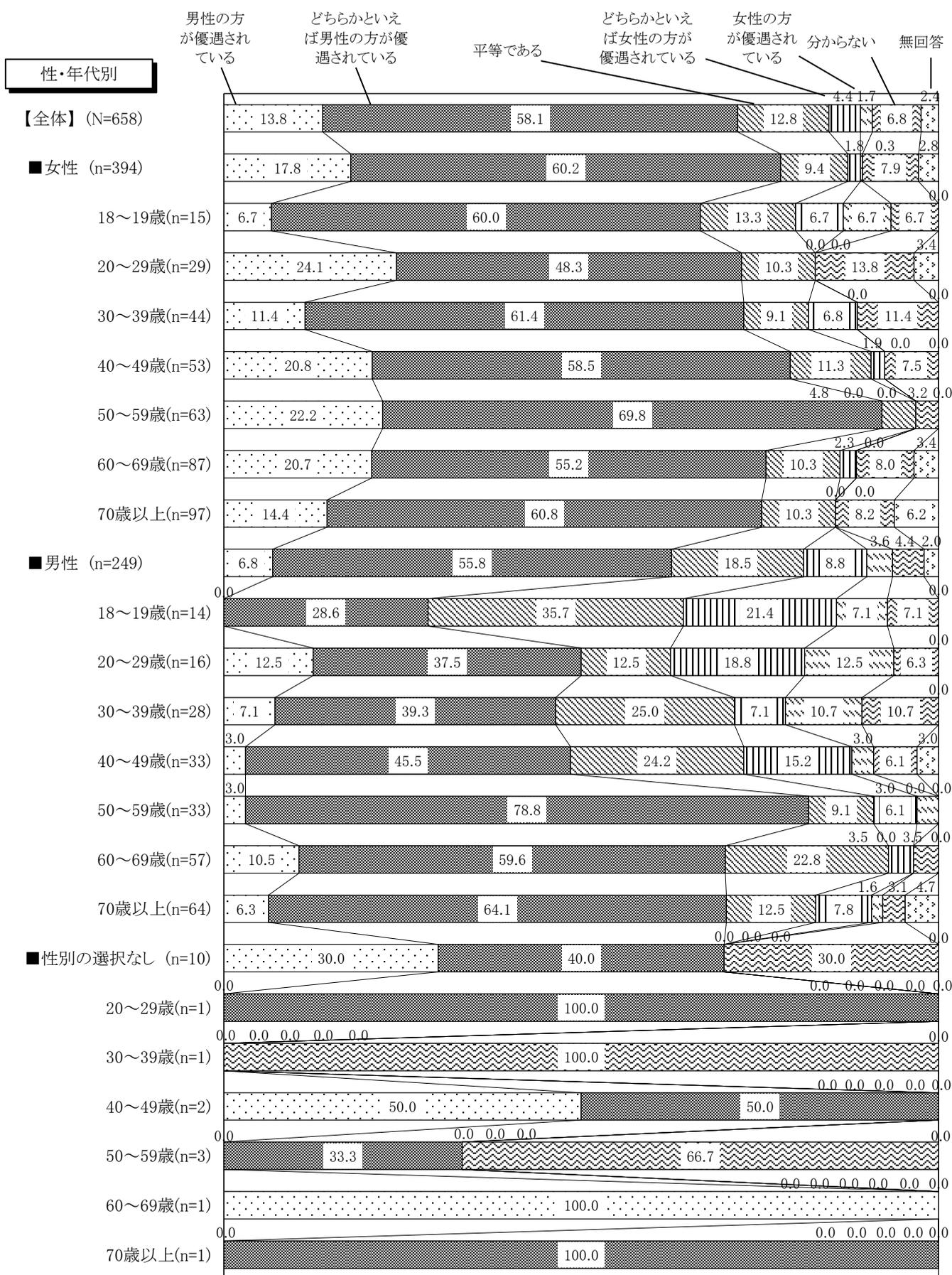
あなたは、次の分野において、男女の地位が平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください（それぞれ一つずつ）。

3 学校教育の場で



□ 男女の地位の平等に関する考えについて

問1
あなたは、次の分野において、男女の地位が平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください（それぞれ一つずつ）。
4 社会全体として

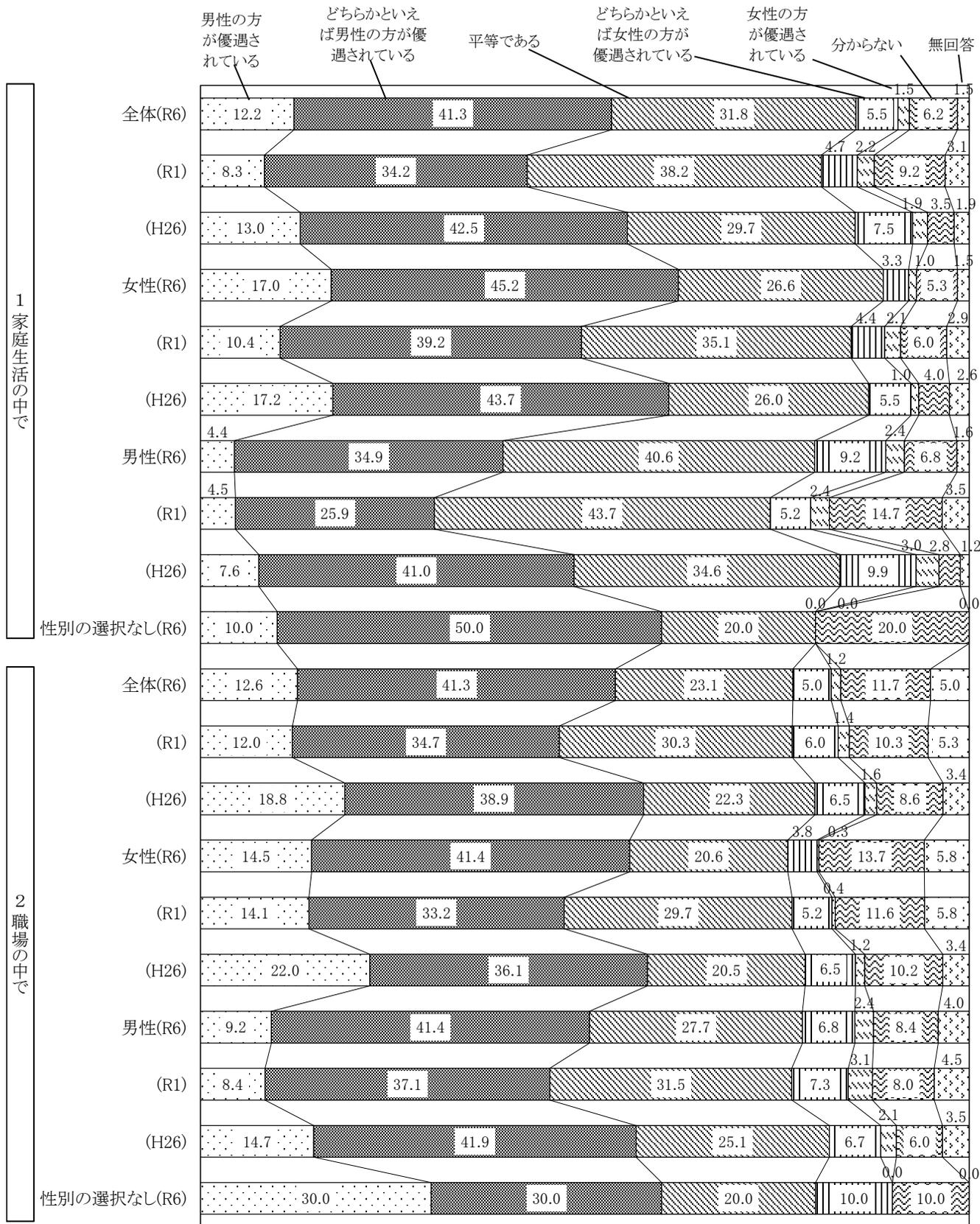


男女の地位の平等に関する考えについて

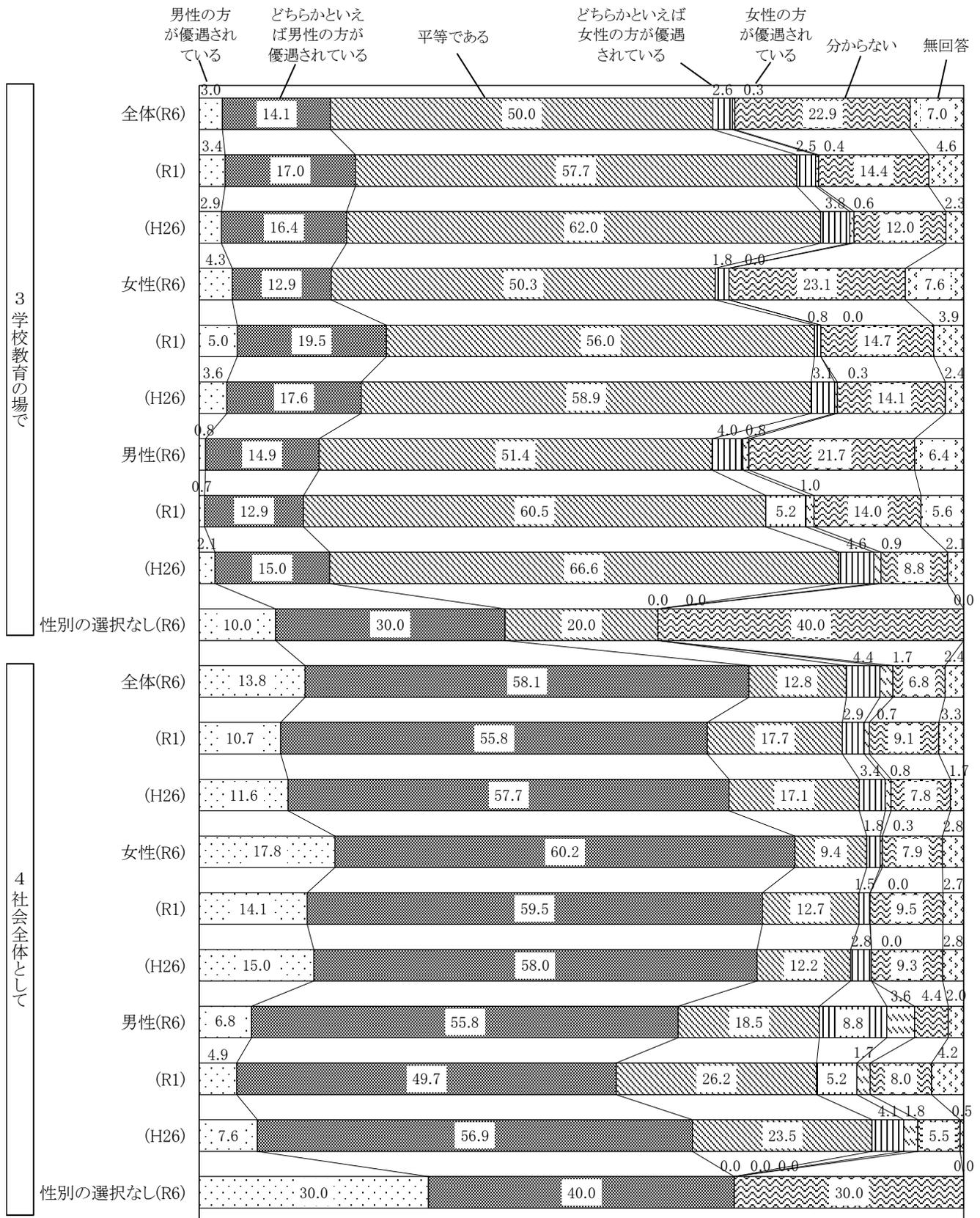
問1

あなたは、次の分野において、男女の地位が平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください（それぞれ一つずつ）。

分野別・経年



	全体	女性	男性	性別の選択なし
R6	(N=658)	(n=394)	(n=249)	(n=10)
R1	(N=769)	(n=482)	(n=286)	
H26	(N=1032)	(n=581)	(n=434)	

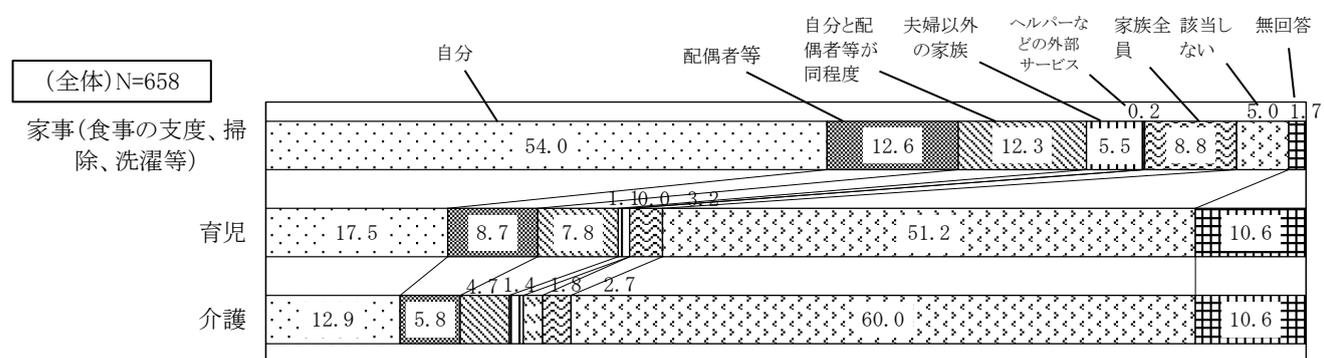


	全体	女性	男性	性別の選択なし
R6	(N=658)	(n=394)	(n=249)	(n=10)
R1	(N=769)	(n=482)	(n=286)	
H26	(N=1032)	(n=581)	(n=434)	

□ 家庭生活などに関する考えについて

問2

あなたのご家庭では、次の家事等を主にどなたが担当していますか（それぞれ一つずつ）。



【性別・年代別】

「家事（食事の支度、掃除、洗濯等）」

女性は10代を除く全ての年代で女性が主として担当している一方、男性は60代（38.6%）、70代（48.4%）で男性が担当する割合が高くなっている。

「育児」

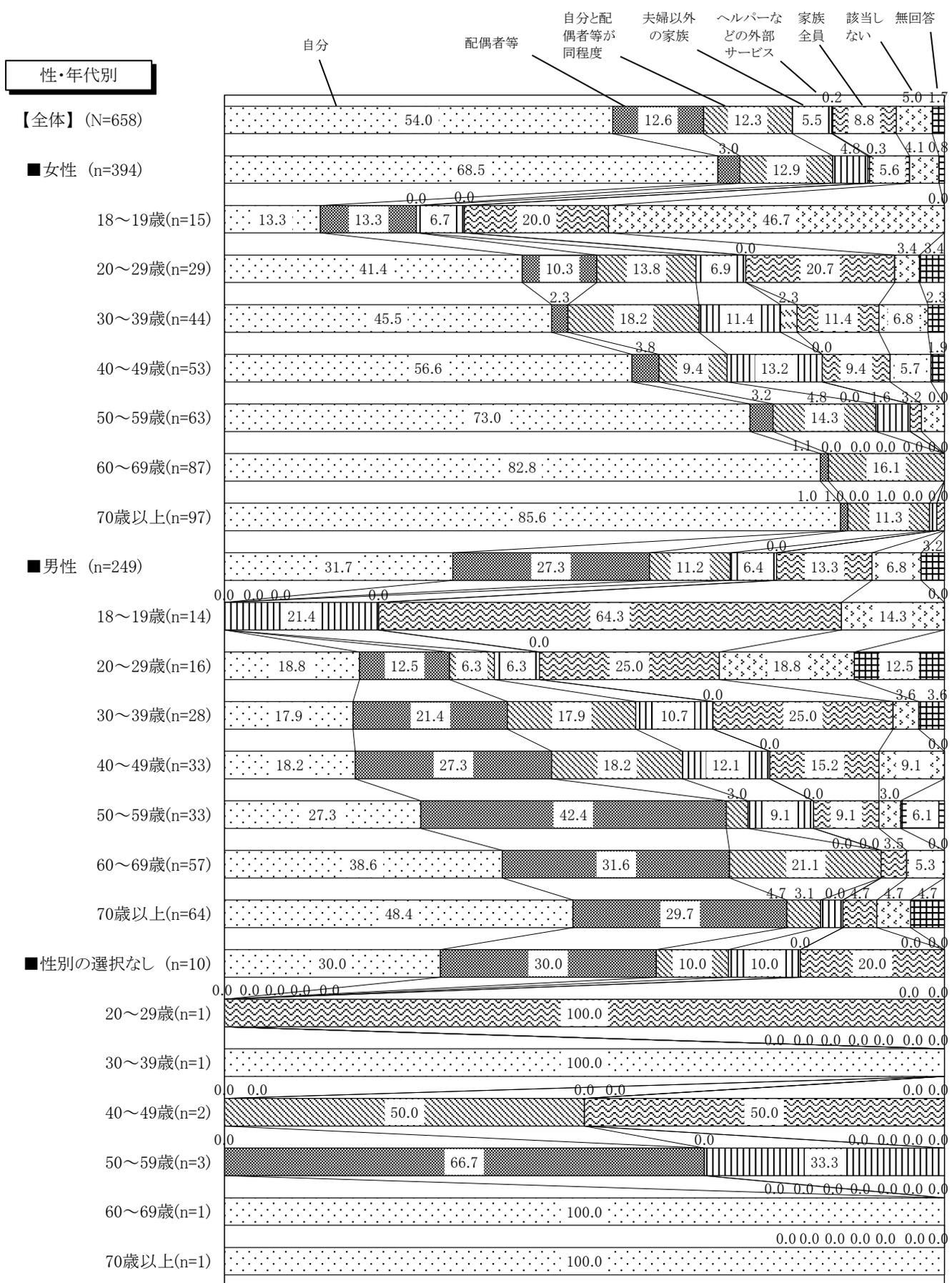
女性は10代を除く全ての年代で、育児機会に直面していない「該当しない」を除き、女性が主として担当する割合が最も多くなっている。一方、男性でも10代、20代を除く全ての年代で、育児機会に直面していない「該当しない」を除き、女性が主として担当する割合が最も多くなっている。

「介護」

女性は10代、20代を除く全ての年代で、介護機会に直面していない「該当しない」を除き、女性が主として担当する割合が最も多くなっている。一方、男性は10代において介護機会に直面していない「該当しない」を除き、「家族全員」で担当する割合が最も多くなっている。

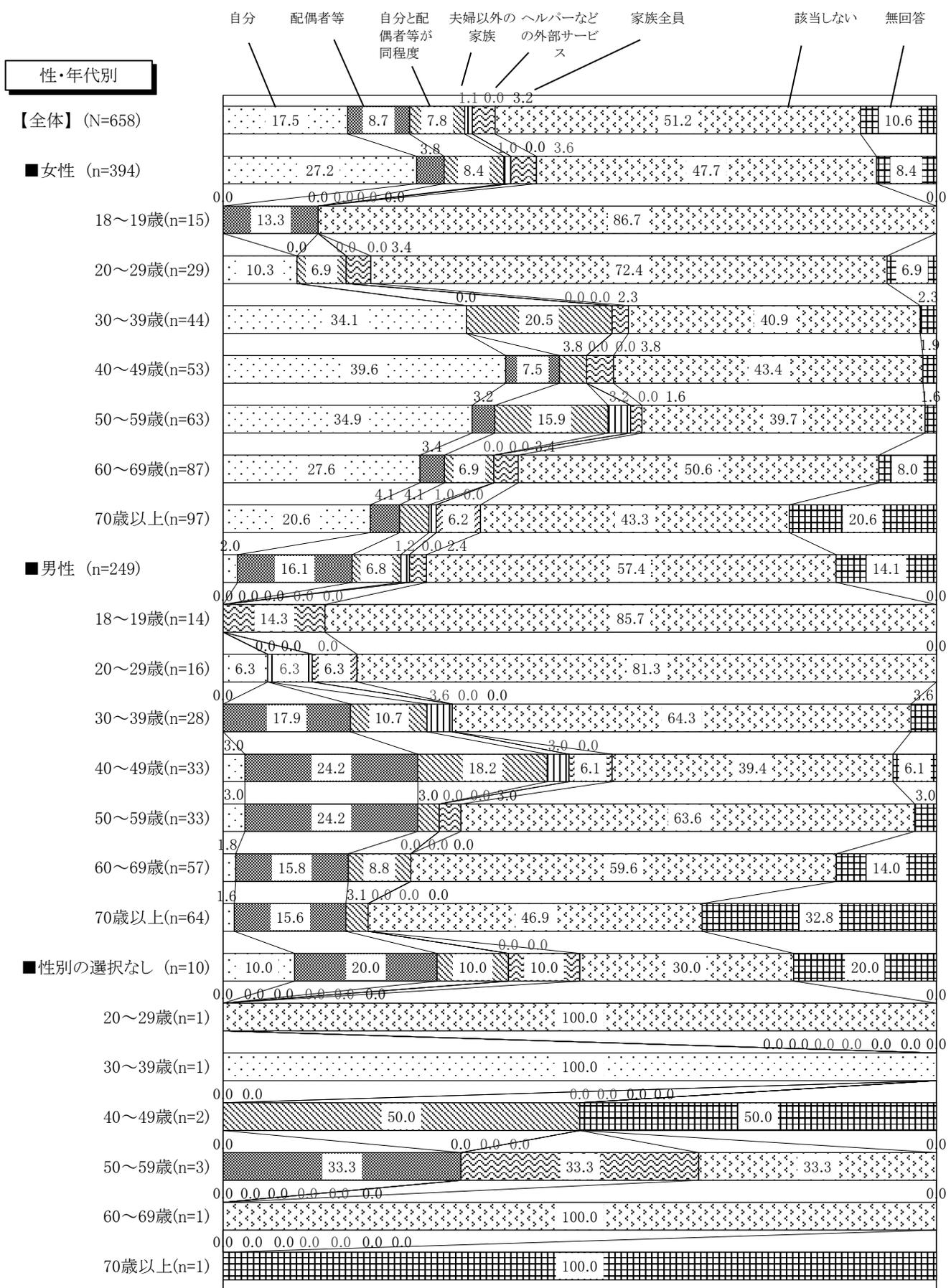
□ 家庭生活などに関する考えについて

問2
 あなたのご家庭では、次の家事等を主にどなたが担当していますか（それぞれ一つずつ）。
 1 家事（食事の支度、掃除、洗濯等）



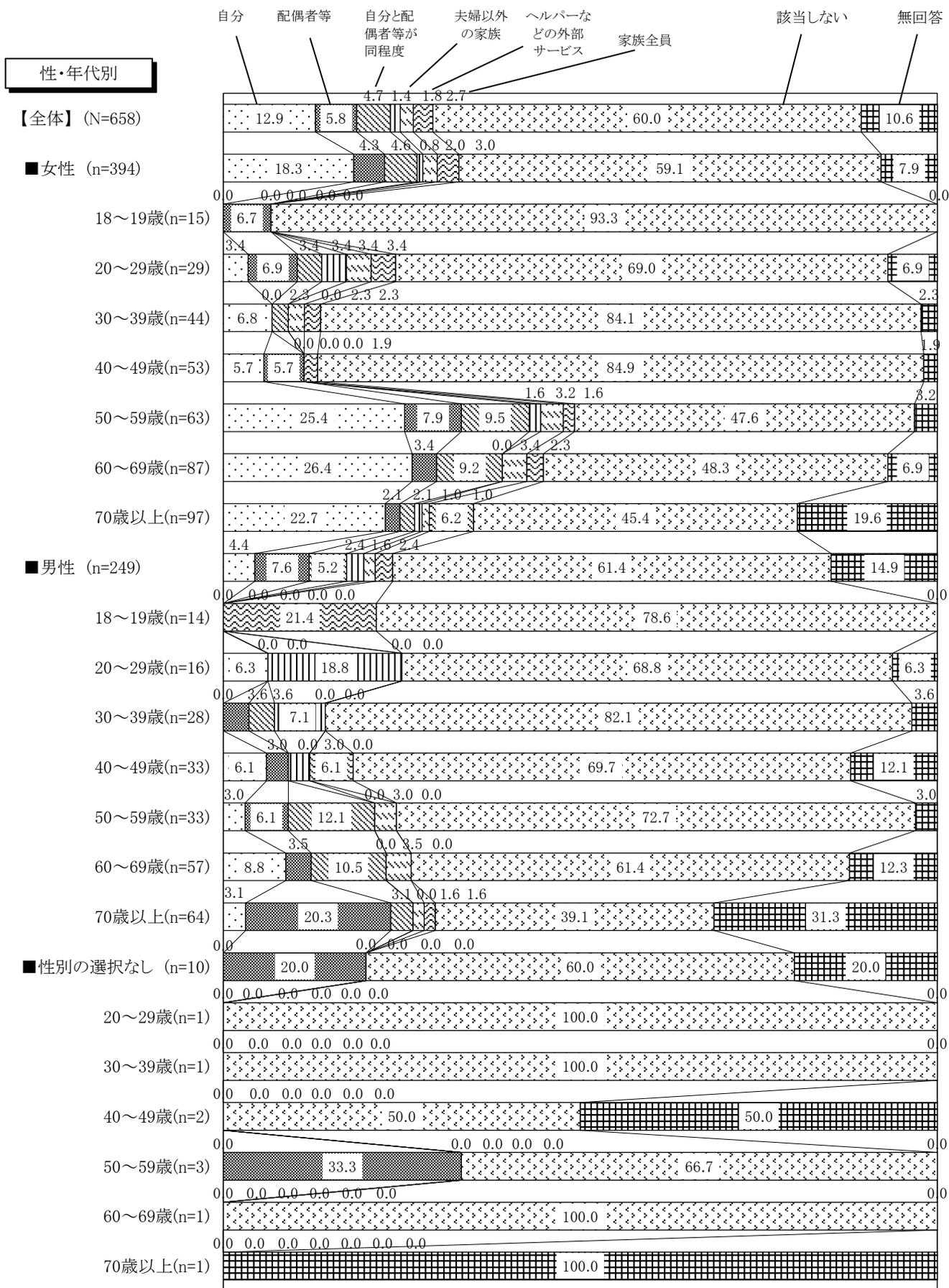
□ 家庭生活などに関する考えについて

問2
 あなたのご家庭では、次の家事等を主にどなたが担当していますか（それぞれ一つずつ）。
 2 育児



□ 家庭生活などに関する考えについて

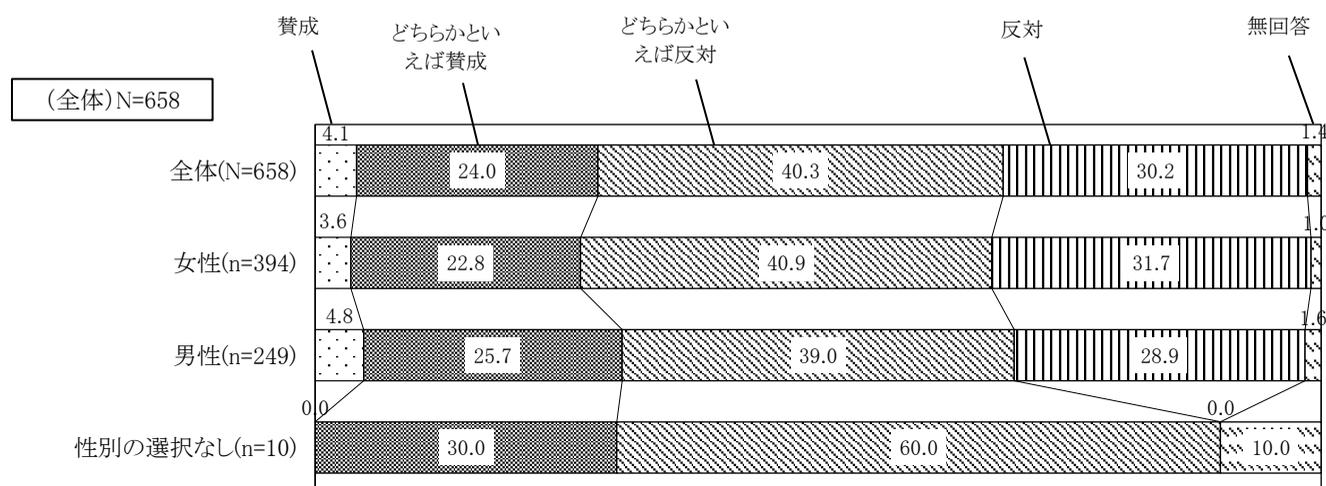
問2
 あなたのご家庭では、次の家事等を主にどなたが担当していますか（それぞれ一つずつ）。
 3 介護



□ 家庭生活などに関する考えについて

問3

夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるという考え方について、あなたはどのように思いますか。あなたのお考えに最も近いものを一つだけ選んでください。



【全体】

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、「反対」（30.2%）、「どちらかといえば反対」（40.3%）を合わせた『反対』の割合は70.5%で、「賛成」（4.1%）、「どちらかといえば賛成」（24.0%）を合わせた『賛成』の割合28.1%を42.4%上回っている。

【性別】

『反対』の割合は、女性72.6%、男性67.9%で、女性の方が高くなっている。

【年代別】

女性は全ての年代で『反対』が『賛成』を上回っており、男性は70代を除いた全ての年代で『反対』が『賛成』を上回っている。

【家族構成別】

「二世帯世帯」、「三世帯世帯」で『反対』が多くなっている。

【配偶関係別】

「未婚」、「既婚・共働きしている」で『反対』が多くなっている。

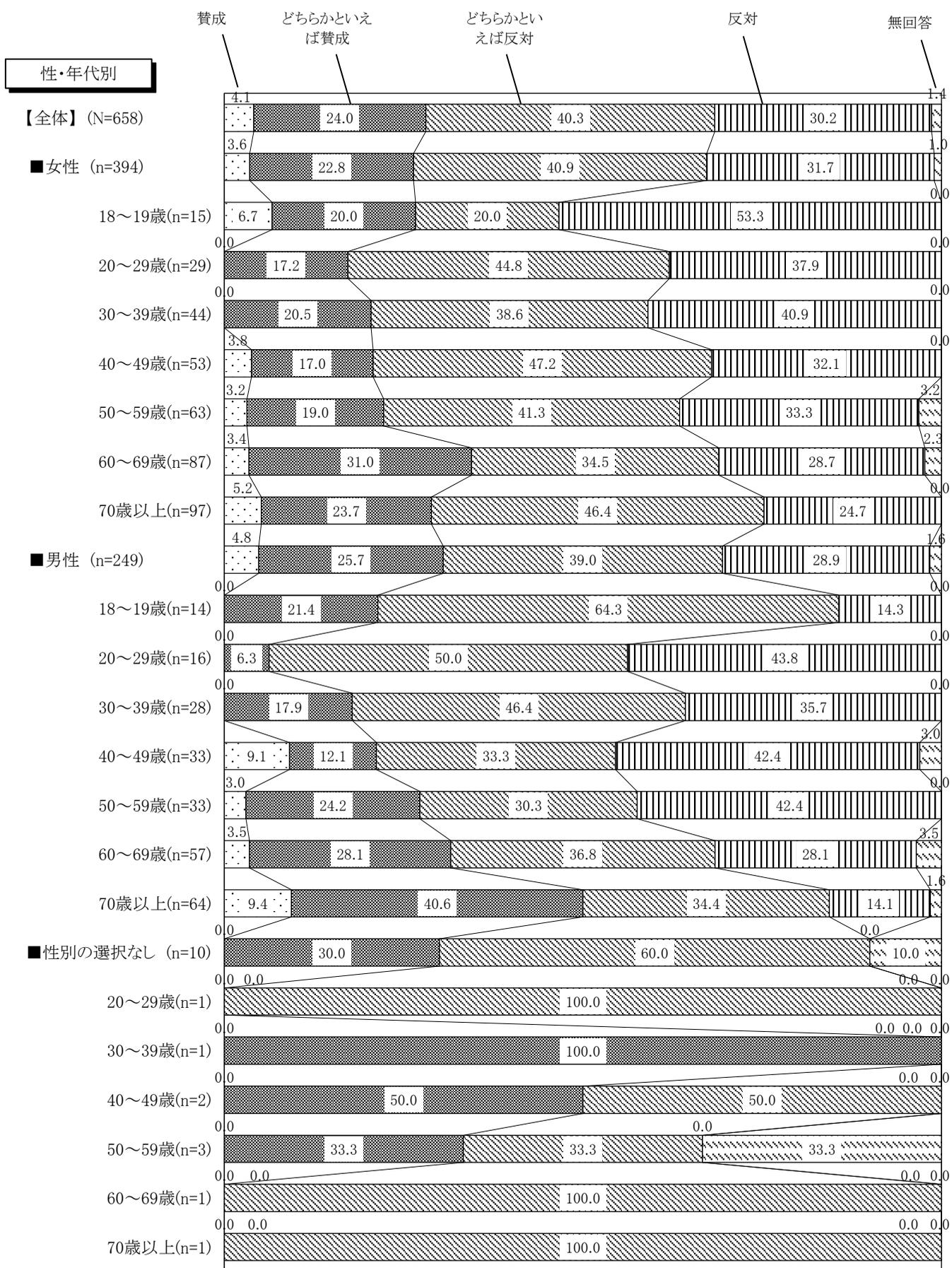
【経年比較】

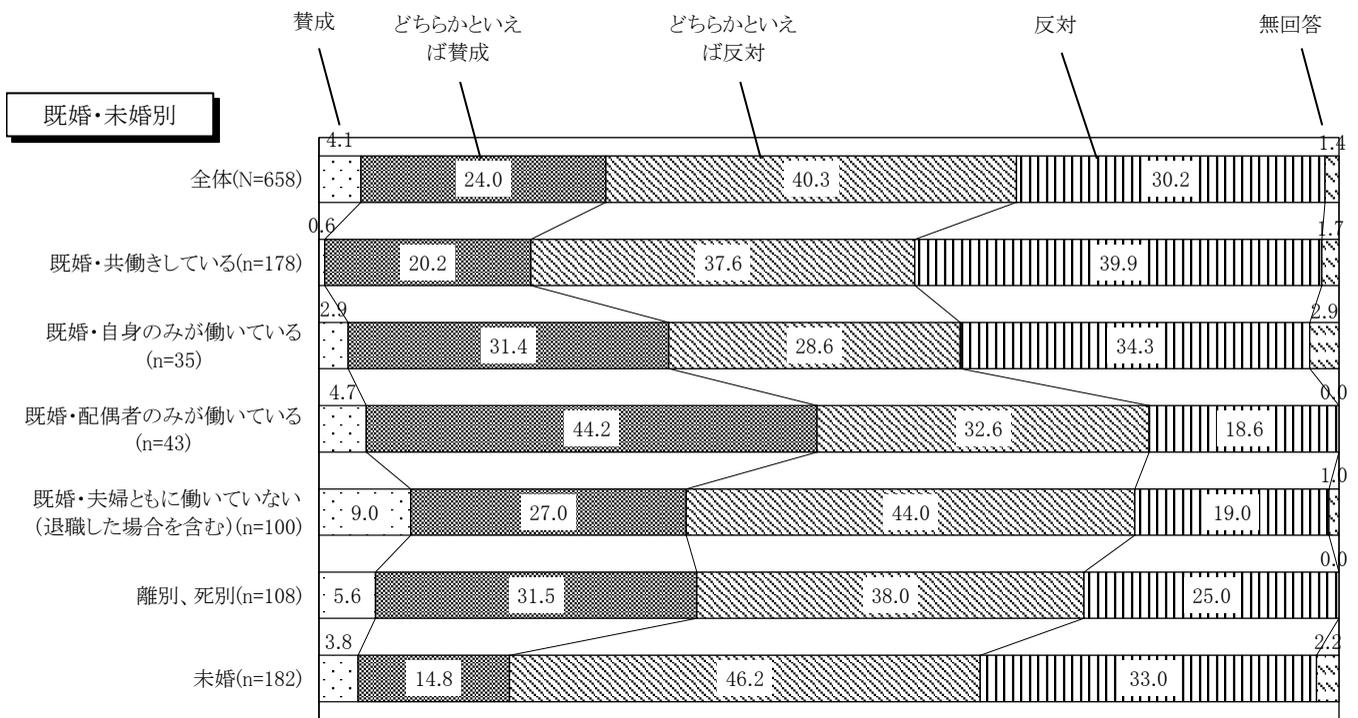
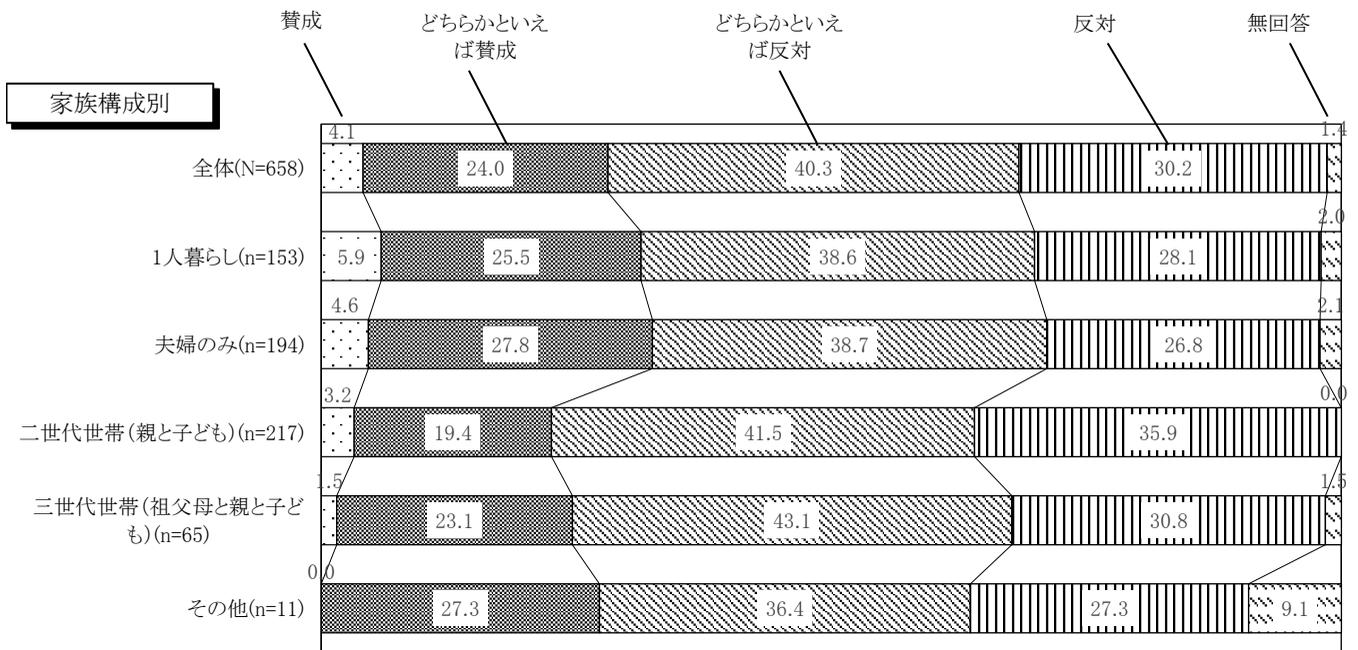
前回調査と比較し、『反対』が『賛成』を上回ってはいるものの、その差が少なくなっている。
(R1=51.7%、R6=42.4%)

□ 家庭生活などに関する考えについて

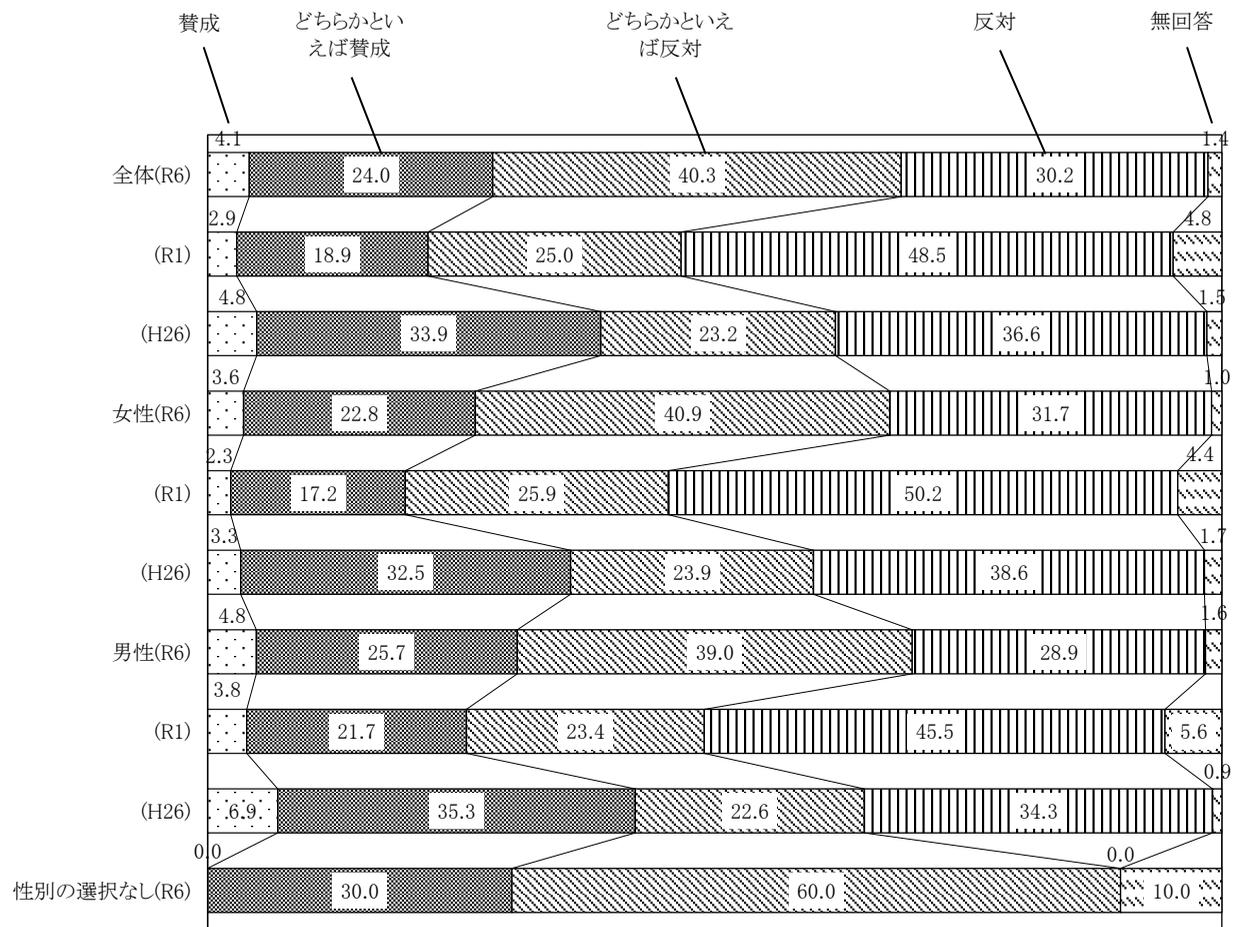
問3

夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるという考え方について、あなたはどのように思いますか。あなたのお考えに最も近いものを一つだけ選んでください。





性別経年

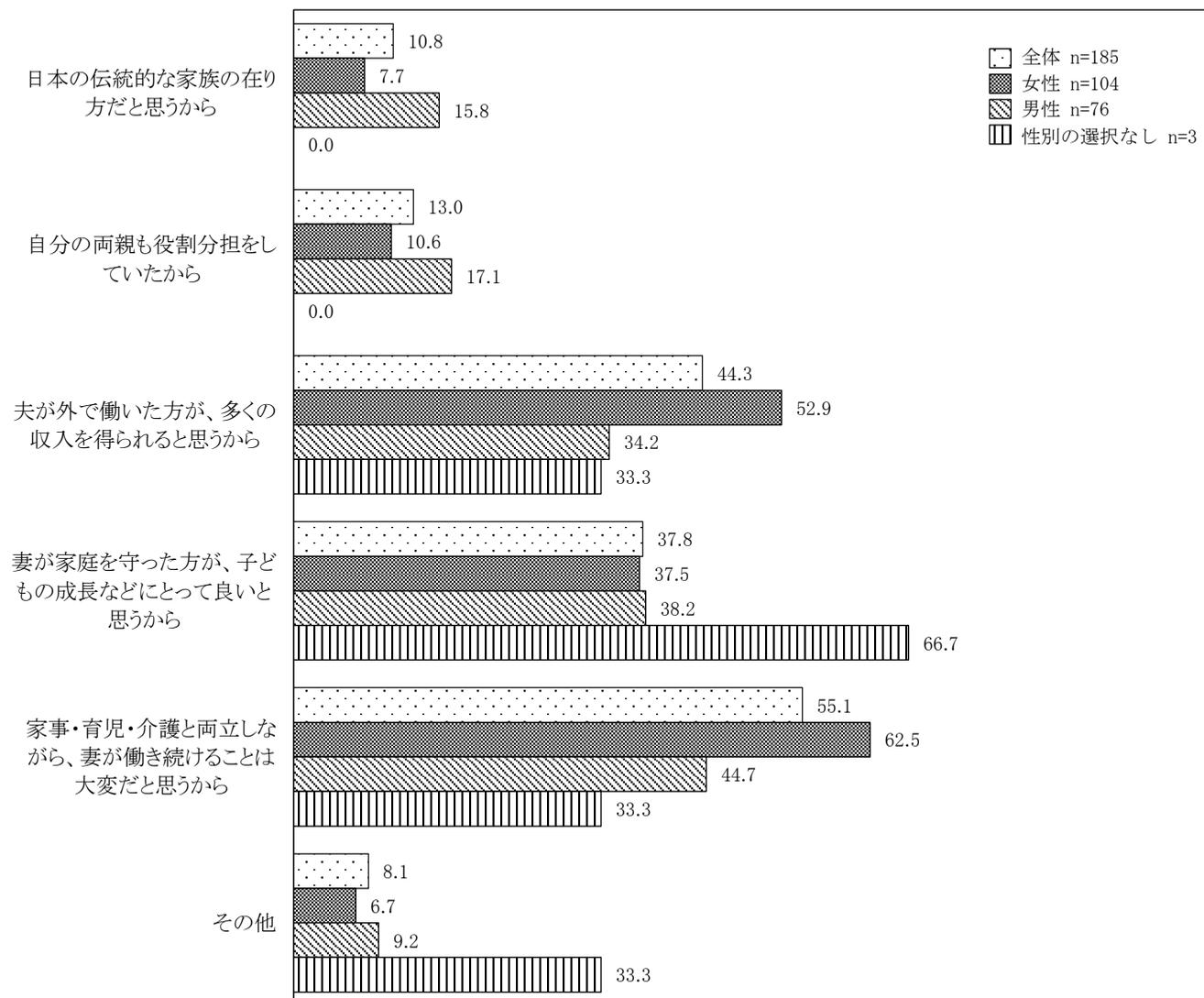


□ 家庭生活などに関する考えについて

問4

(問3で1または2を選んだ方のみ)

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考えに「賛成」「どちらかといえば賛成」と思うのはなぜですか(あてはまるもの全て)。



【全体】

「家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思っから」(55.1%)、「夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思っから」(44.3%)が多くなっている。

【性別】

女性は「家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思っから」(62.5%)、「夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思っから」(52.9%)が多く、男性は「家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思っから」(44.7%)、「妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思っから」(38.2%)の順となっている。

【年代別】

女性は50代を除いた全ての年代が「家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思っから」が最も多くなっている。一方、男性は最も多い回答が年代によってばらつきがみられる。

※問4 項目集計表 (性・年代別) [構成比(%) / 人数(人)]

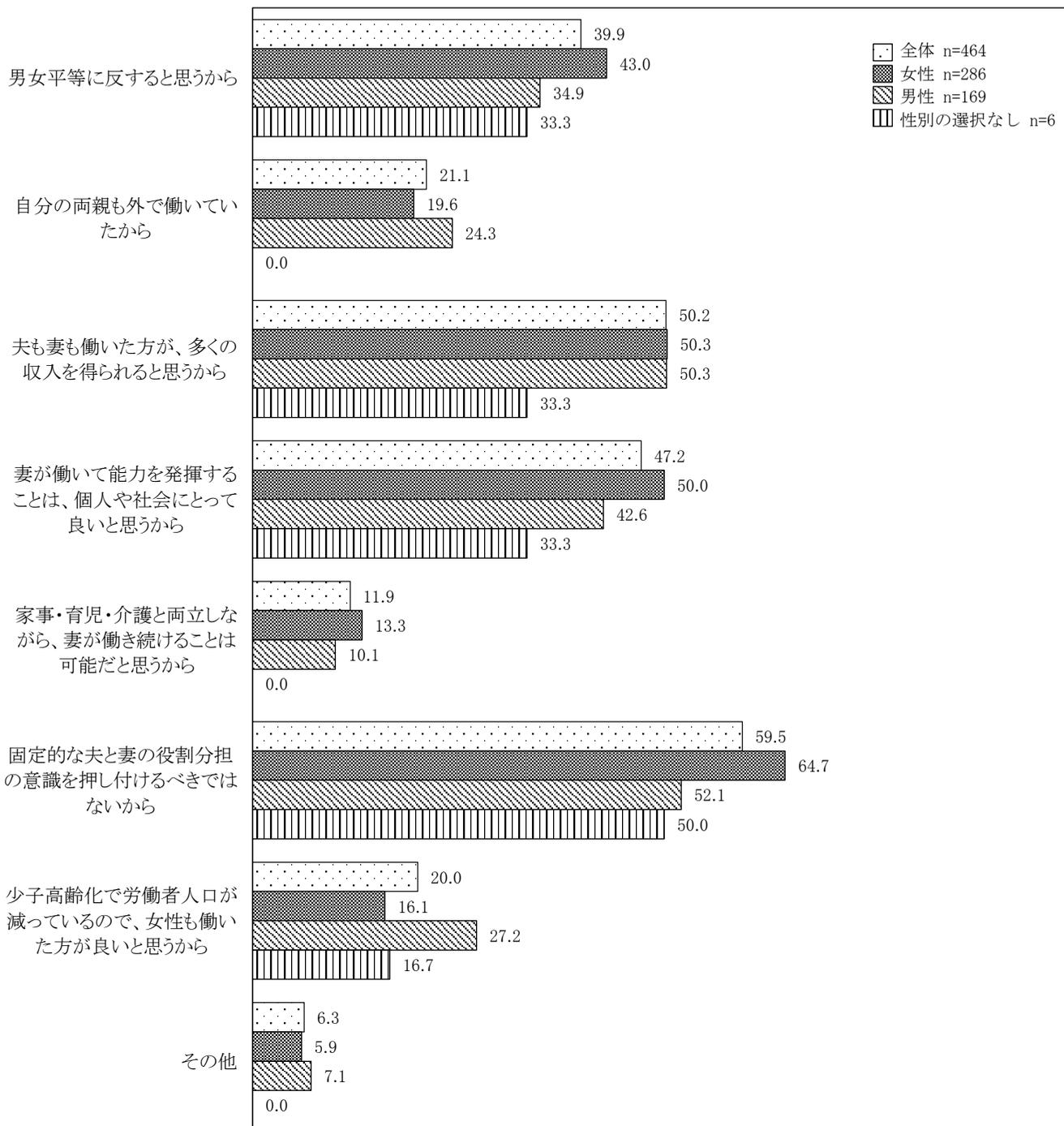
	う族日 かのの ら在の り伝 方統 だ的 たな 思家	ら分自 担分の をし て親 いも た役 か割	ら得が夫 られ、が れる多外 るとの働 思取い う入た かを方	い長方妻 となが、家 思どに子庭 うにとどを からつも守 らつてのつ 良成た	かと妻と家 らはが両事 は大働立・育 変きしな だ続け ら、 思るこ うこ	その他	無 回 答
【全体】 n=185	10.8 (20)	13.0 (24)	44.3 (82)	37.8 (70)	55.1 (102)	8.1 (15)	2.2 (4)
【女性】 n=104	7.7 (8)	10.6 (11)	52.9 (55)	37.5 (39)	62.5 (65)	6.7 (7)	1.9 (2)
【男性】 n=76	15.8 (12)	17.1 (13)	34.2 (26)	38.2 (29)	44.7 (34)	9.2 (7)	2.6 (2)
【性別の選択なし】 n=3	0.0 (0)	0.0 (0)	33.3 (1)	66.7 (2)	33.3 (1)	33.3 (1)	0.0 (0)
女性【18～19歳】 n=4	0.0 (0)	50.0 (2)	50.0 (2)	50.0 (2)	100.0 (4)	0.0 (0)	0.0 (0)
【20～29歳】 n=5	0.0 (0)	20.0 (1)	60.0 (3)	40.0 (2)	100.0 (5)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=9	0.0 (0)	0.0 (0)	55.6 (5)	11.1 (1)	77.8 (7)	22.2 (2)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=11	0.0 (0)	9.1 (1)	45.5 (5)	45.5 (5)	45.5 (5)	18.2 (2)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=14	28.6 (4)	7.1 (1)	71.4 (10)	57.1 (8)	64.3 (9)	0.0 (0)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=30	6.7 (2)	13.3 (4)	50.0 (15)	30.0 (9)	63.3 (19)	3.3 (1)	0.0 (0)
【70歳以上】 n=28	7.1 (2)	7.1 (2)	50.0 (14)	39.3 (11)	50.0 (14)	7.1 (2)	7.1 (2)
男性【18～19歳】 n=3	0.0 (0)	33.3 (1)	0.0 (0)	33.3 (1)	66.7 (2)	33.3 (1)	0.0 (0)
【20～29歳】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=5	0.0 (0)	20.0 (1)	20.0 (1)	60.0 (3)	40.0 (2)	20.0 (1)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=7	28.6 (2)	14.3 (1)	28.6 (2)	28.6 (2)	42.9 (3)	28.6 (2)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=9	11.1 (1)	11.1 (1)	44.4 (4)	44.4 (4)	33.3 (3)	22.2 (2)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=18	5.6 (1)	5.6 (1)	33.3 (6)	50.0 (9)	55.6 (10)	0.0 (0)	5.6 (1)
【70歳以上】 n=32	25.0 (8)	25.0 (8)	37.5 (12)	25.0 (8)	40.6 (13)	3.1 (1)	3.1 (1)
性別の選択なし 【30～39歳】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	100.0 (1)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)

□ 家庭生活などに関する考えについて

問5

(問3で3または4を選択した方のみ)

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考えに「どちらかといえば反対」「反対」と思うのはなぜですか(あてはまるもの全て)。



【全体】

女性、男性ともに「固定的な夫と妻の役割分担の意識を押し付けるべきではないから」「夫も妻も働いた方が、多くの収入を得られると思うから」の順に回答が多くなっている。

【性別・年代別】

女性の10代、20代では「男女平等に反すると思うから」が最も多く、30代から70代では「固定的な夫と妻の役割分担の意識を押し付けるべきではないから」、「夫も妻も働いた方が、多くの収入を得られると思うから」の順となっている。一方、男性は最も多い回答が年代によってばらつきがみられ、60代では「男女平等に反すると思うから」が最も多くなっている。

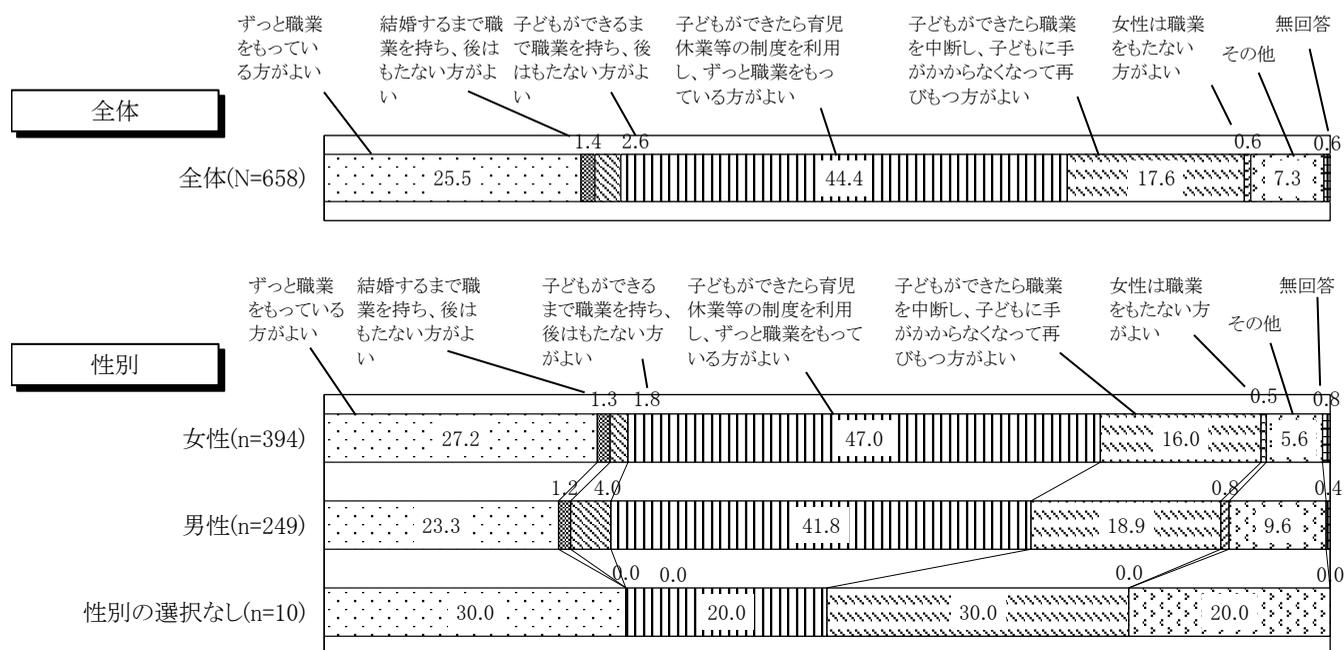
※問5 項目集計表(性・年代別) [構成比(%)／人数(人)]

	う男 か女 ら平 等に 反す ると 思	て自 分の 両親 も外 で働 い	と多 夫も 思の う妻 か収 ら入 を働 いた 方得 られ る	か会 らに とつ ては 良い と思 う	す妻 るが 働い ては 、能 力発 揮	思続 ける こと は、 可 能だ と	立家 事・ 育 児・ 介 護と 両	る分 担的 な夫 と妻 の役 割	と女 性が 働い たい 方 が良 い	口少 子高 齢化 で 労働 者人	そ の 他	無 回 答
【全体】 n=464	39.9 (185)	21.1 (98)	50.2 (233)	47.2 (219)	11.9 (55)	59.5 (276)	20.0 (93)	6.3 (29)	1.7 (8)			
【女性】 n=286	43.0 (123)	19.6 (56)	50.3 (144)	50.0 (143)	13.3 (38)	64.7 (185)	16.1 (46)	5.9 (17)	1.7 (5)			
【男性】 n=169	34.9 (59)	24.3 (41)	50.3 (85)	42.6 (72)	10.1 (17)	52.1 (88)	27.2 (46)	7.1 (12)	1.8 (3)			
【性別の選択なし】 n=6	33.3 (2)	0.0 (0)	33.3 (2)	33.3 (2)	0.0 (0)	50.0 (3)	16.7 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)			
女性【18～19歳】 n=11	72.7 (8)	54.5 (6)	54.5 (6)	36.4 (4)	18.2 (2)	72.7 (8)	9.1 (1)	9.1 (1)	0.0 (0)			
【20～29歳】 n=24	66.7 (16)	33.3 (8)	54.2 (13)	33.3 (8)	12.5 (3)	62.5 (15)	0.0 (0)	12.5 (3)	0.0 (0)			
【30～39歳】 n=35	37.1 (13)	31.4 (11)	62.9 (22)	31.4 (11)	11.4 (4)	60.0 (21)	14.3 (5)	5.7 (2)	0.0 (0)			
【40～49歳】 n=42	45.2 (19)	28.6 (12)	52.4 (22)	40.5 (17)	16.7 (7)	66.7 (28)	4.8 (2)	7.1 (3)	2.4 (1)			
【50～59歳】 n=47	36.2 (17)	8.5 (4)	48.9 (23)	55.3 (26)	12.8 (6)	66.0 (31)	12.8 (6)	6.4 (3)	4.3 (2)			
【60～69歳】 n=55	45.5 (25)	12.7 (7)	41.8 (23)	60.0 (33)	10.9 (6)	72.7 (40)	21.8 (12)	5.5 (3)	1.8 (1)			
【70歳以上】 n=69	33.3 (23)	10.1 (7)	50.7 (35)	59.4 (41)	14.5 (10)	56.5 (39)	27.5 (19)	2.9 (2)	1.4 (1)			
男性【18～19歳】 n=11	36.4 (4)	27.3 (3)	45.5 (5)	27.3 (3)	0.0 (0)	45.5 (5)	9.1 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)			
【20～29歳】 n=15	13.3 (2)	46.7 (7)	40.0 (6)	26.7 (4)	0.0 (0)	33.3 (5)	13.3 (2)	6.7 (1)	6.7 (1)			
【30～39歳】 n=23	30.4 (7)	30.4 (7)	69.6 (16)	39.1 (9)	8.7 (2)	65.2 (15)	17.4 (4)	13.0 (3)	0.0 (0)			
【40～49歳】 n=25	24.0 (6)	24.0 (6)	48.0 (12)	40.0 (10)	4.0 (1)	60.0 (15)	28.0 (7)	12.0 (3)	4.0 (1)			
【50～59歳】 n=24	41.7 (10)	29.2 (7)	50.0 (12)	58.3 (14)	20.8 (5)	62.5 (15)	37.5 (9)	4.2 (1)	4.2 (1)			
【60～69歳】 n=37	43.2 (16)	21.6 (8)	43.2 (16)	51.4 (19)	16.2 (6)	43.2 (16)	27.0 (10)	8.1 (3)	0.0 (0)			
【70歳以上】 n=31	41.9 (13)	9.7 (3)	58.1 (18)	41.9 (13)	9.7 (3)	51.6 (16)	38.7 (12)	3.2 (1)	0.0 (0)			
性別の選択なし 【20～29歳】 n=1	100.0 (1)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)			
【40～49歳】 n=1	100.0 (1)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)			
【50～59歳】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)			
【60～69歳】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)			
【70歳以上】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)			

□女性の活躍推進について

問6

あなたは、女性が職業をもつことについて、どのように考えますか。あなたのお考えに最も近いものを一つだけ選んでください。



【全体】

「女性が職業を持つ」ことについて、男女ともに「子どもができたら育児休業等の制度を利用し、ずっと職業をもっている方がよい」（女性47.0%、男性41.8%）が最も高くなっており、次いで「ずっと職業をもっている方がよい」（女性27.2%、男性23.3%）となっている。

【性別・年代別】

男女ともに全ての年代において「子どもができたら育児休業等の制度を利用し、ずっと職業をもっている方がよい」が最も多くなっている。

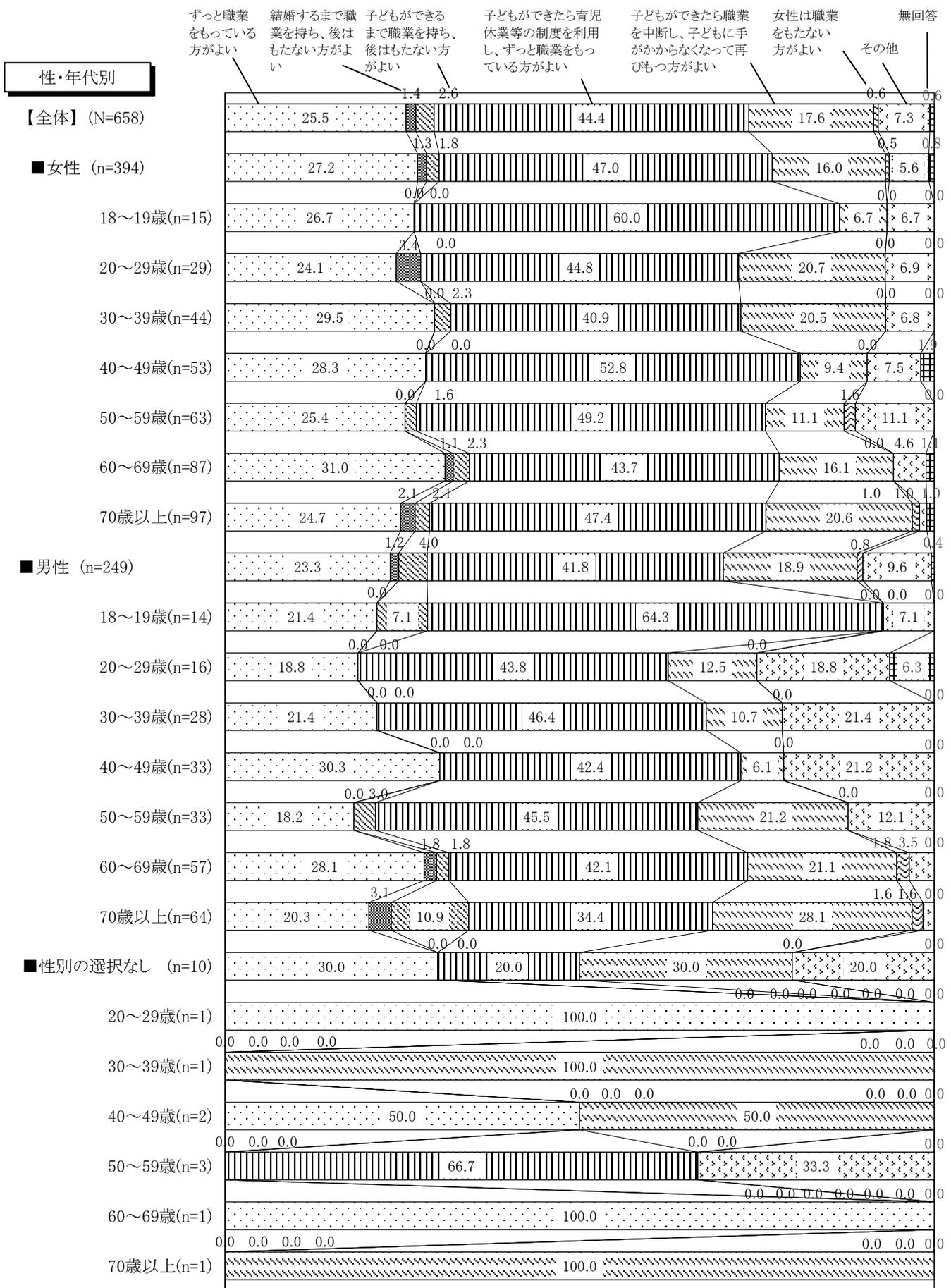
【経年比較】

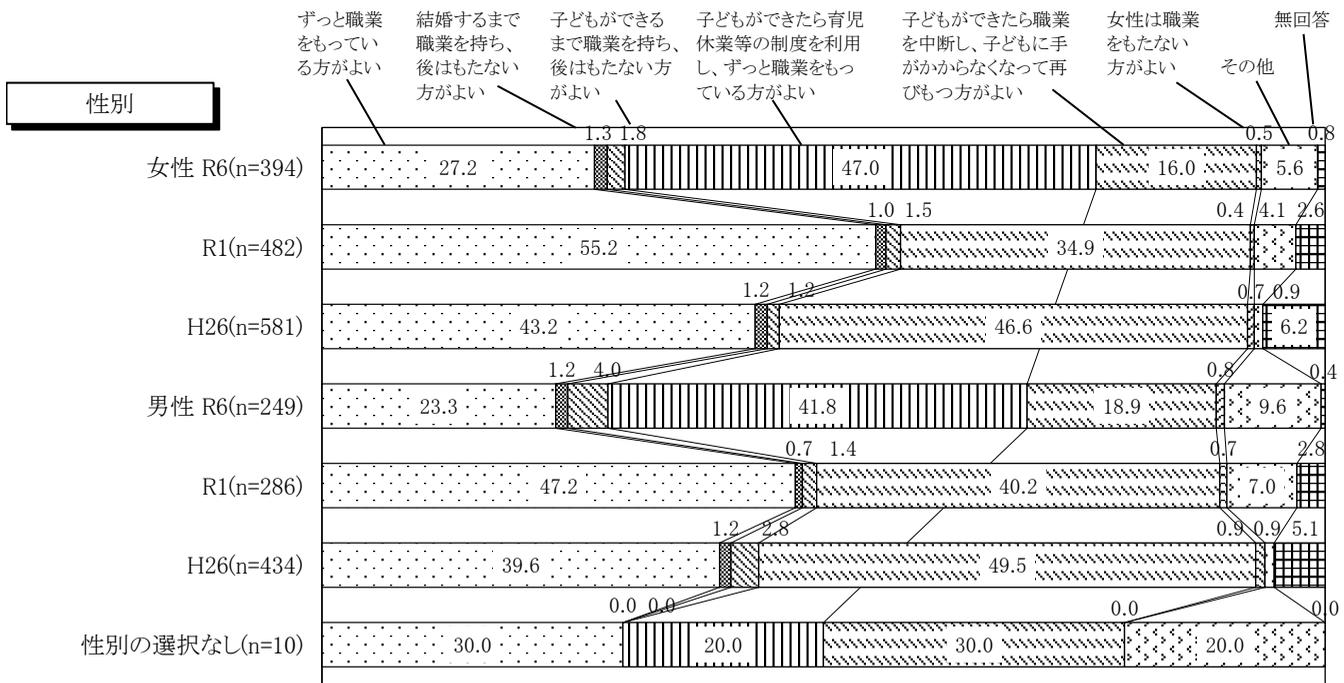
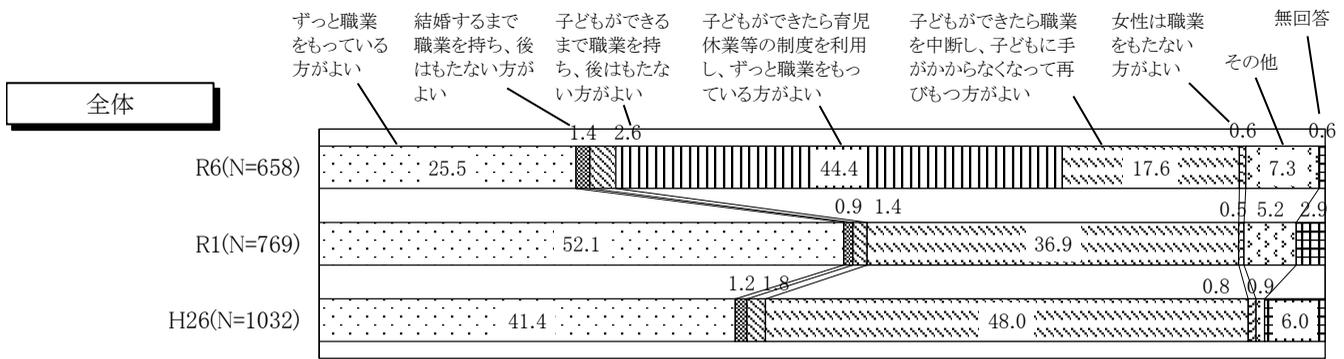
前は男女ともに「ずっと職業をもっている方がよい」（女性55.2%、男性47.2%）が最も多かったが、今回は新設された回答である「子どもができたら育児休業等の制度を利用し、ずっと職業をもっている方がよい」が男女ともに最も多くなっている。

女性活躍推進について

問6

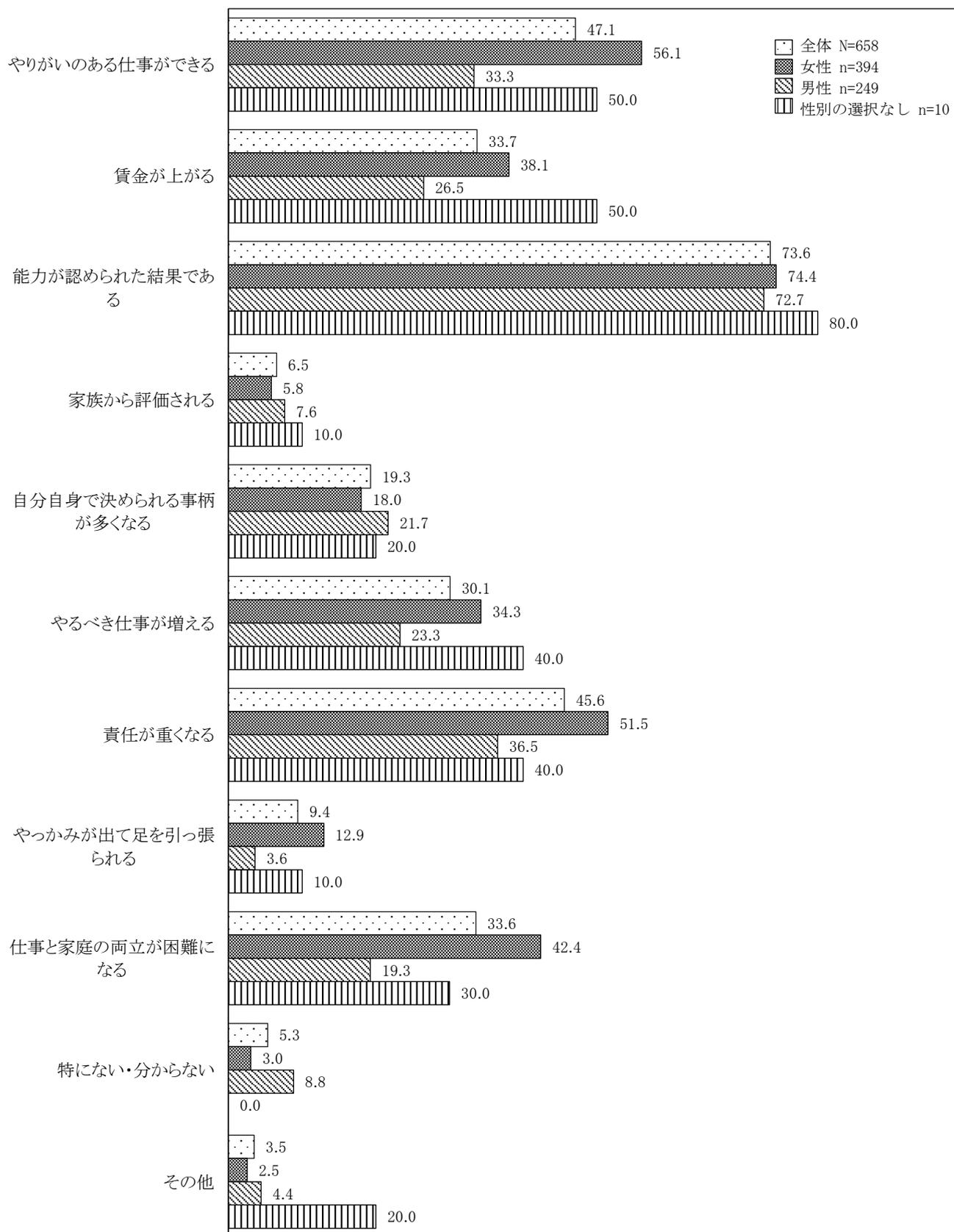
あなたは、女性が職業をもつことについて、どのように考えますか。あなたのお考えに最も近いもの一つだけを選んでください。





□ 女性の活躍推進について

問7
あなたは、女性が管理職以上に昇進することについて、どのようなイメージを抱いていますか（あてはまるもの全て）。



【全体】

「能力が認められた結果である」（73.6%）、「やりがいのある仕事ができる」（47.1%）、「責任が重くなる」（45.6%）の順に多くなっている。

【性別】

女性は「能力が認められた結果である」（74.4%）、「やりがいのある仕事ができる」（56.1%）の順に多くなっている。一方、男性は「能力が認められた結果である」（72.7%）、「責任が重くなる」（36.5%）順に多くなっている。

【年代別】

男女ともに全ての年代において「能力が認められた結果である」が最も多くなっている。

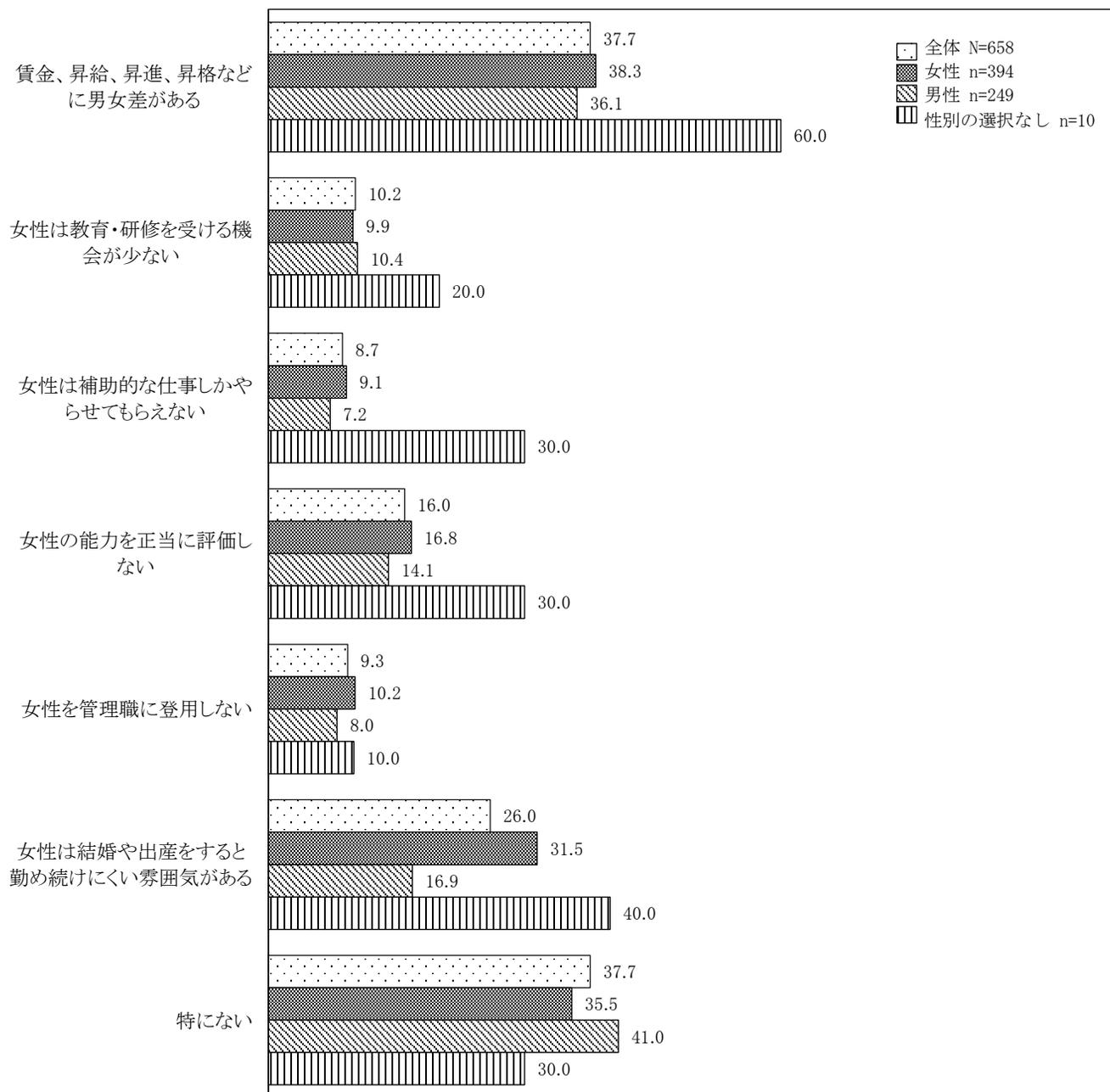
※問7 項目集計表(性・年代別) [構成比(%) / 人数(人)]

	がや でりが できる の ある 仕事	賃 金 が 上 がる	果 能 で あ る 結	家 族 か ら 評 価 さ れ る	自 分 自 身 で 決 め ら れ	る や る べ き 仕 事 が 増 え	責 任 が 重 く な る	引 つ 張 ら れ る 出 て 足 を	困 事 と 家 庭 の 両 立 が	い 特 に な い ・ 分 か ら な	そ の 他	無 回 答
【全体】 N=658	47.1 (310)	33.7 (222)	73.6 (484)	6.5 (43)	19.3 (127)	30.1 (198)	45.6 (300)	9.4 (62)	33.6 (221)	5.3 (35)	3.5 (23)	0.5 (3)
【女性】 n=394	56.1 (221)	38.1 (150)	74.4 (293)	5.8 (23)	18.0 (71)	34.3 (135)	51.5 (203)	12.9 (51)	42.4 (167)	3.0 (12)	2.5 (10)	0.8 (3)
【男性】 n=249	33.3 (83)	26.5 (66)	72.7 (181)	7.6 (19)	21.7 (54)	23.3 (58)	36.5 (91)	3.6 (9)	19.3 (48)	8.8 (22)	4.4 (11)	0.0 (0)
【性別の選択なし】 n=10	50.0 (5)	50.0 (5)	80.0 (8)	10.0 (1)	20.0 (2)	40.0 (4)	40.0 (4)	10.0 (1)	30.0 (3)	0.0 (0)	20.0 (2)	0.0 (0)
女性【18～19歳】 n=15	73.3 (11)	40.0 (6)	73.3 (11)	0.0 (0)	13.3 (2)	26.7 (4)	40.0 (6)	13.3 (2)	40.0 (6)	6.7 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【20～29歳】 n=29	55.2 (16)	48.3 (14)	69.0 (20)	10.3 (3)	10.3 (3)	37.9 (11)	58.6 (17)	0.0 (0)	37.9 (11)	3.4 (1)	3.4 (1)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=44	59.1 (26)	61.4 (27)	79.5 (35)	15.9 (7)	27.3 (12)	45.5 (20)	65.9 (29)	18.2 (8)	54.5 (24)	2.3 (1)	2.3 (1)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=53	49.1 (26)	50.9 (27)	75.5 (40)	5.7 (3)	22.6 (12)	41.5 (22)	39.6 (21)	28.3 (15)	49.1 (26)	0.0 (0)	5.7 (3)	1.9 (1)
【50～59歳】 n=63	55.6 (35)	44.4 (28)	79.4 (50)	1.6 (1)	25.4 (16)	47.6 (30)	55.6 (35)	17.5 (11)	54.0 (34)	0.0 (0)	1.6 (1)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=87	60.9 (53)	31.0 (27)	78.2 (68)	3.4 (3)	14.9 (13)	27.6 (24)	57.5 (50)	6.9 (6)	42.5 (37)	4.6 (4)	2.3 (2)	1.1 (1)
【70歳以上】 n=97	54.6 (53)	21.6 (21)	67.0 (65)	4.1 (4)	12.4 (12)	22.7 (22)	44.3 (43)	8.2 (8)	27.8 (27)	5.2 (5)	1.0 (1)	1.0 (1)
男性【18～19歳】 n=14	28.6 (4)	50.0 (7)	71.4 (10)	14.3 (2)	14.3 (2)	50.0 (7)	35.7 (5)	0.0 (0)	14.3 (2)	14.3 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)
【20～29歳】 n=16	25.0 (4)	37.5 (6)	56.3 (9)	12.5 (2)	18.8 (3)	6.3 (1)	12.5 (2)	0.0 (0)	6.3 (1)	25.0 (4)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=28	42.9 (12)	32.1 (9)	75.0 (21)	10.7 (3)	35.7 (10)	32.1 (9)	50.0 (14)	0.0 (0)	17.9 (5)	7.1 (2)	3.6 (1)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=33	24.2 (8)	27.3 (9)	72.7 (24)	9.1 (3)	18.2 (6)	21.2 (7)	42.4 (14)	9.1 (3)	15.2 (5)	9.1 (3)	18.2 (6)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=33	33.3 (11)	24.2 (8)	78.8 (26)	3.0 (1)	30.3 (10)	24.2 (8)	42.4 (14)	6.1 (2)	15.2 (5)	6.1 (2)	6.1 (2)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=57	26.3 (15)	21.1 (12)	66.7 (38)	1.8 (1)	15.8 (9)	26.3 (15)	36.8 (21)	5.3 (3)	22.8 (13)	10.5 (6)	1.8 (1)	0.0 (0)
【70歳以上】 n=64	45.3 (29)	23.4 (15)	78.1 (50)	9.4 (6)	21.9 (14)	17.2 (11)	32.8 (21)	1.6 (1)	25.0 (16)	4.7 (3)	1.6 (1)	0.0 (0)
性別の選択なし 【20～29歳】 n=1	100.0 (1)	100.0 (1)	100.0 (1)	0.0 (0)	100.0 (1)	100.0 (1)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=1	0.0 (0)	100.0 (1)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	100.0 (1)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=2	50.0 (1)	50.0 (1)	50.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	50.0 (1)	50.0 (1)	50.0 (1)	50.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=3	33.3 (1)	33.3 (1)	66.7 (2)	33.3 (1)	0.0 (0)	33.3 (1)	33.3 (1)	0.0 (0)	33.3 (1)	0.0 (0)	33.3 (1)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=1	100.0 (1)	100.0 (1)	100.0 (1)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【70歳以上】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)

□ 女性の活躍推進について

問 8

あなたの職場やあなたの周囲の方の職場では、仕事の内容や待遇面で、次のようなことがあると思いますか（あてはまるもの全て）。



【全体】

職場における男女差別の内容についてみると、「特になし」（37.7%）、「賃金、昇給、昇格などに男女差がある」（37.7%）が多くなっている。

【性別】

女性は「賃金、昇給、昇格などに男女差がある」（38.3%）、「特になし」（35.5%）の順に多くなっている。一方、男性は「特になし」（41.0%）、「賃金、昇給、昇格などに男女差がある」（36.1%）の順に多くなっている。

【年代別】

男女ともに10代、20代、30代において「特になし」が最も多く、男女差を感じていない傾向がうかがえた。一方、男女ともに60代、70代において「賃金、昇給、昇格などに男女差がある」が最も多く、職場において何らかの男女差を感じるという傾向がうかがえた。

【職業別】

「自営業主・家族従事者」（44.8%）、「無職」（42.4%）で「賃金、昇給、昇格などに男女差がある」が最も多く、「専業主婦・主夫」（54.7%）では「女性は結婚や出産をすると勤め続けにくい雰囲気がある」が最も多くなっているが、その他の業種においては全て「特になし」が最も多くなっている。

【従業員数別】

100人に満たない中小規模の事業所においては「賃金、昇給、昇格などに男女差がある」が多い傾向にあり、100人を超える規模の事業所においては「特になし」が多くなっている。

※問8 項目集計表 (性・年代別) [構成比(%) / 人数(人)]

	あ る 賃 金 、 昇 給 、 昇 進 、 男 女 差 が	受 け る 機 会 が 少 な い	な し 女 性 は 補 助 的 な 仕 事 を も ら え な い	評 価 し な い 女 性 の 能 力 を 正 当 に	し な い 女 性 を 管 理 職 に 登 用	い す 女 性 は 結 婚 や 出 産 を 躊 躇 し な い	特 に な い	無 回 答
【全体】 N=658	37.7 (248)	10.2 (67)	8.7 (57)	16.0 (105)	9.3 (61)	26.0 (171)	37.7 (248)	6.4 (42)
【女性】 n=394	38.3 (151)	9.9 (39)	9.1 (36)	16.8 (66)	10.2 (40)	31.5 (124)	35.5 (140)	5.8 (23)
【男性】 n=249	36.1 (90)	10.4 (26)	7.2 (18)	14.1 (35)	8.0 (20)	16.9 (42)	41.0 (102)	7.6 (19)
【性別の選択なし】 n=10	60.0 (6)	20.0 (2)	30.0 (3)	30.0 (3)	10.0 (1)	40.0 (4)	30.0 (3)	0.0 (0)
女性【18～19歳】 n=15	20.0 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	13.3 (2)	6.7 (1)	40.0 (6)	40.0 (6)	0.0 (0)
【20～29歳】 n=29	31.0 (9)	3.4 (1)	13.8 (4)	10.3 (3)	10.3 (3)	31.0 (9)	41.4 (12)	3.4 (1)
【30～39歳】 n=44	25.0 (11)	13.6 (6)	4.5 (2)	4.5 (2)	11.4 (5)	34.1 (15)	50.0 (22)	2.3 (1)
【40～49歳】 n=53	41.5 (22)	9.4 (5)	11.3 (6)	18.9 (10)	9.4 (5)	22.6 (12)	39.6 (21)	5.7 (3)
【50～59歳】 n=63	30.2 (19)	3.2 (2)	12.7 (8)	22.2 (14)	9.5 (6)	22.2 (14)	47.6 (30)	1.6 (1)
【60～69歳】 n=87	46.0 (40)	12.6 (11)	8.0 (7)	21.8 (19)	11.5 (10)	42.5 (37)	24.1 (21)	8.0 (7)
【70歳以上】 n=97	45.4 (44)	14.4 (14)	9.3 (9)	16.5 (16)	10.3 (10)	29.9 (29)	27.8 (27)	9.3 (9)
男性【18～19歳】 n=14	7.1 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	7.1 (1)	14.3 (2)	78.6 (11)	7.1 (1)
【20～29歳】 n=16	18.8 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	6.3 (1)	6.3 (1)	6.3 (1)	62.5 (10)	6.3 (1)
【30～39歳】 n=28	25.0 (7)	0.0 (0)	7.1 (2)	3.6 (1)	3.6 (1)	10.7 (3)	60.7 (17)	3.6 (1)
【40～49歳】 n=33	30.3 (10)	3.0 (1)	9.1 (3)	6.1 (2)	6.1 (2)	6.1 (2)	57.6 (19)	3.0 (1)
【50～59歳】 n=33	42.4 (14)	12.1 (4)	12.1 (4)	18.2 (6)	18.2 (6)	24.2 (8)	36.4 (12)	3.0 (1)
【60～69歳】 n=57	38.6 (22)	14.0 (8)	8.8 (5)	15.8 (9)	7.0 (4)	12.3 (7)	36.8 (21)	5.3 (3)
【70歳以上】 n=64	51.6 (33)	20.3 (13)	6.3 (4)	23.4 (15)	7.8 (5)	29.7 (19)	15.6 (10)	15.6 (10)
性別の選択なし 【20～29歳】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=1	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=2	50.0 (1)	50.0 (1)	50.0 (1)	100.0 (2)	0.0 (0)	100.0 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=3	33.3 (1)	0.0 (0)	33.3 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	33.3 (1)	66.7 (2)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=1	100.0 (1)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【70歳以上】 n=1	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)

※問 8 項目集計表 (職業別) [構成比(%) / 人数(人)]

	あど昇賃 るに進金、 男昇昇 女差格給 がな	機研女 会修性 がをは 少受教 なけ育 いる・	ならな女 いせ仕性 て事は もし補 らか助 えや的	な正女 い当性 にの 評価力 しを	に女 登性 用を し管 ない職	るい勤出女 券め産性 困統をは 気けす結 がにる婚 あくとかや	特 に ない	無 回 答
【全体】 N=658	37.7 (5)	10.2 (1)	8.7 (0)	16.0 (1)	9.3 (2)	26.0 (4)	37.7 (6)	6.4 (6)
【自営業主(農林漁業、 商工業、サービス業 等)・家族従事者】 n=29	44.8 (13)	17.2 (5)	3.4 (1)	24.1 (7)	3.4 (1)	34.5 (10)	31.0 (9)	3.4 (1)
【専門職・技術職(開業 医、弁護士、芸術家 等)】 n=30	20.0 (6)	0.0 (0)	6.7 (2)	16.7 (5)	10.0 (3)	6.7 (2)	63.3 (19)	6.7 (2)
【会社などの役員】 n=15	33.3 (5)	20.0 (3)	20.0 (3)	6.7 (1)	13.3 (2)	20.0 (3)	40.0 (6)	0.0 (0)
【正規の社員・職員】 n=193	37.3 (72)	8.8 (17)	10.9 (21)	15.5 (30)	9.8 (19)	17.6 (34)	43.5 (84)	2.6 (5)
【パート・アルバイト・ 臨時雇い・派遣社員】 n=118	39.8 (47)	7.6 (9)	11.0 (13)	17.8 (21)	5.1 (6)	25.4 (30)	44.1 (52)	2.5 (3)
【内職・在宅ワーク】 n=5	20.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	20.0 (1)	40.0 (2)	40.0 (2)	0.0 (0)
【専業主婦・主夫】 n=64	42.2 (27)	15.6 (10)	7.8 (5)	7.8 (5)	10.9 (7)	54.7 (35)	21.9 (14)	9.4 (6)
【学生】 n=31	9.7 (3)	0.0 (0)	3.2 (1)	6.5 (2)	9.7 (3)	22.6 (7)	58.1 (18)	3.2 (1)
【無職】 n=144	42.4 (61)	13.9 (20)	7.6 (11)	22.9 (33)	11.1 (16)	29.2 (42)	21.5 (31)	12.5 (18)
【その他】 n=8	100.0 (8)	25.0 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	12.5 (1)	25.0 (2)	87.5 (7)	0.0 (0)

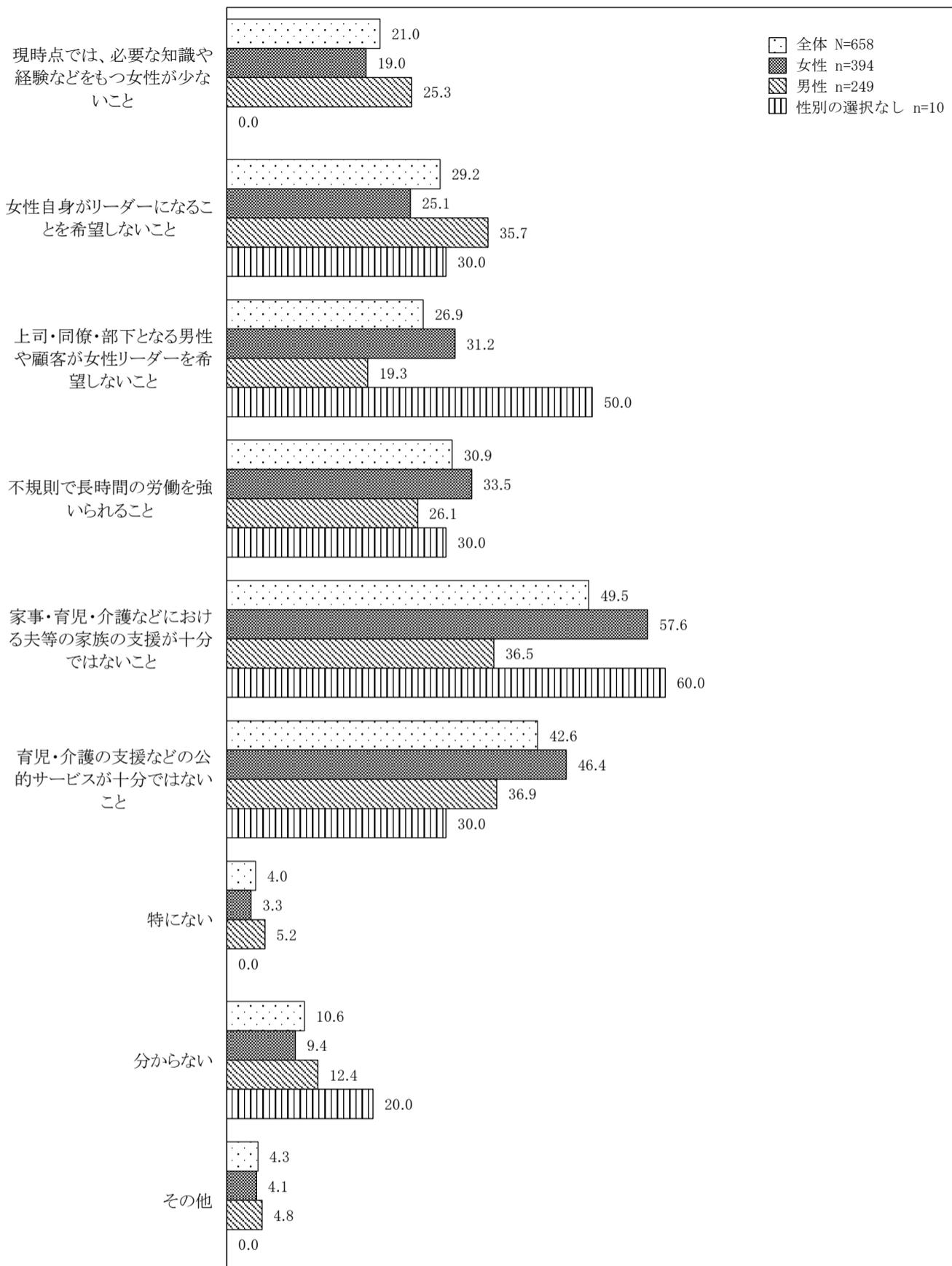
※問 8 項目集計表 (従業員数別) [構成比(%) / 人数(人)]

	あど昇賃 るに進金、 男昇昇 女差格給 がな	機研女 会修性 がをは 少受教 なけ育 いる・	ならな女 いせ仕性 て事は もし補 らか助 えや的	な正女 い当性 にの 評価力 しを	に女 登性 用を し管 ない職	るい勤出女 券め産性 困統をは 気けす結 がにる婚 あくとかや	特 に ない	無 回 答
【全体】 N=658	37.7 (248)	10.2 (67)	8.7 (57)	16.0 (105)	9.3 (61)	26.0 (171)	37.7 (248)	6.4 (42)
【29人以下】 n=94	44.7 (42)	9.6 (9)	11.7 (11)	24.5 (23)	9.6 (9)	21.3 (20)	39.4 (37)	2.1 (2)
【30～49人】 n=26	34.6 (9)	11.5 (3)	3.8 (1)	7.7 (2)	3.8 (1)	11.5 (3)	53.8 (14)	3.8 (1)
【50～99人】 n=46	47.8 (22)	8.7 (4)	19.6 (9)	15.2 (7)	6.5 (3)	19.6 (9)	30.4 (14)	2.2 (1)
【100～299人】 n=44	38.6 (17)	6.8 (3)	13.6 (6)	15.9 (7)	11.4 (5)	18.2 (8)	40.9 (18)	4.5 (2)
【300～499人】 n=20	20.0 (4)	5.0 (1)	5.0 (1)	5.0 (1)	5.0 (1)	25.0 (5)	60.0 (12)	5.0 (1)
【500人以上】 n=105	29.5 (31)	5.7 (6)	5.7 (6)	13.3 (14)	9.5 (10)	21.0 (22)	50.5 (53)	1.0 (1)
【分からない】 n=38	31.6 (12)	7.9 (3)	7.9 (3)	13.2 (5)	7.9 (3)	21.1 (8)	63.2 (24)	0.0 (0)

□女性の活躍推進について

問9

あなたは、政治・経済・地域などの各分野において、女性のリーダーを増やす妨げとなるものは何だと思えますか（あてはまるもの全て）。



【全体】

家事・育児・介護などにおける夫等の家族の支援が十分ではないこと（49.5%）、「育児・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」（42.6%）の順に多くなっている。

【性別】

女性は「家事・育児・介護などにおける夫等の家族の支援が十分ではないこと」（57.6%）、育児・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと（46.4%）の順に多くなっている。一方、男性は「育児・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」（36.9%）、「家事・育児・介護などにおける夫等の家族の支援が十分ではないこと」（36.5%）の順となっている。

【年代別】

女性は10代のみ「上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと」が最も多く、それ以外の年代は全て「家事・育児・介護などにおける夫等の家族の支援が十分ではないこと」が最も多くなっている。一方、男性は年代によって最多回答にばらつきがみられた。

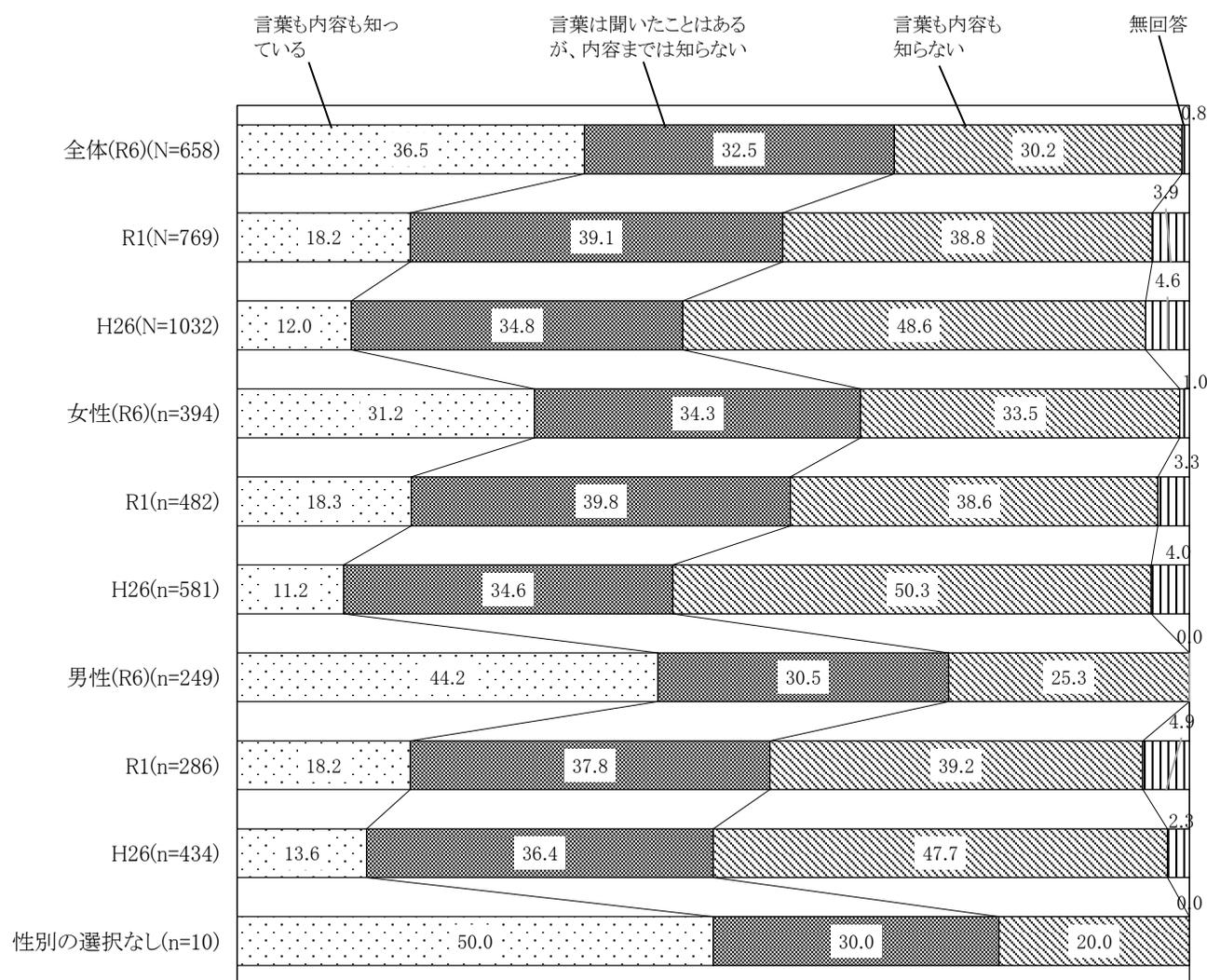
※問9 項目集計表 (性・年代別) [構成比(%) / 人数(人)]

	つ知現 女識時 性が点 少経で 験は、 ない必 こと要 とも	なに女 なる性 こと自 と身が をリ 希望 し	なに性 なる司 こと男 と性・ と同僚 を顧・ 希望客 し部下 と女	働不 を規 強則 いで ら長 れる時 間この と労	な族ど家 いのに事 こと支お・ と援け育 がる児 十分は でない ことサ の支 育公・ 児介 の護 のサ の支 援が な	特に ない	分 から ない	そ の 他	無 回 答	
【全体】 N=658	21.0 (138)	29.2 (192)	26.9 (177)	30.9 (203)	49.5 (326)	42.6 (280)	4.0 (26)	10.6 (70)	4.3 (28)	1.4 (9)
【女性】 n=394	19.0 (75)	25.1 (99)	31.2 (123)	33.5 (132)	57.6 (227)	46.4 (183)	3.3 (13)	9.4 (37)	4.1 (16)	1.0 (4)
【男性】 n=249	25.3 (63)	35.7 (89)	19.3 (48)	26.1 (65)	36.5 (91)	36.9 (92)	5.2 (13)	12.4 (31)	4.8 (12)	1.6 (4)
【性別の選択なし】 n=10	0.0 (0)	30.0 (3)	50.0 (5)	30.0 (3)	60.0 (6)	30.0 (3)	0.0 (0)	20.0 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)
女性【18～19歳】 n=15	13.3 (2)	20.0 (3)	60.0 (9)	6.7 (1)	46.7 (7)	40.0 (6)	0.0 (0)	13.3 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)
【20～29歳】 n=29	17.2 (5)	24.1 (7)	34.5 (10)	31.0 (9)	65.5 (19)	44.8 (13)	0.0 (0)	13.8 (4)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=44	15.9 (7)	22.7 (10)	29.5 (13)	29.5 (13)	50.0 (22)	50.0 (22)	2.3 (1)	9.1 (4)	9.1 (4)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=53	15.1 (8)	22.6 (12)	43.4 (23)	28.3 (15)	62.3 (33)	43.4 (23)	0.0 (0)	7.5 (4)	9.4 (5)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=63	22.2 (14)	30.2 (19)	34.9 (22)	44.4 (28)	65.1 (41)	57.1 (36)	3.2 (2)	3.2 (2)	1.6 (1)	1.6 (1)
【60～69歳】 n=87	17.2 (15)	24.1 (21)	33.3 (29)	39.1 (34)	64.4 (56)	52.9 (46)	2.3 (2)	9.2 (8)	4.6 (4)	1.1 (1)
【70歳以上】 n=97	23.7 (23)	26.8 (26)	16.5 (16)	30.9 (30)	46.4 (45)	35.1 (34)	8.2 (8)	13.4 (13)	2.1 (2)	2.1 (2)
男性【18～19歳】 n=14	14.3 (2)	14.3 (2)	14.3 (2)	7.1 (1)	28.6 (4)	7.1 (1)	7.1 (1)	21.4 (3)	14.3 (2)	7.1 (1)
【20～29歳】 n=16	18.8 (3)	25.0 (4)	18.8 (3)	6.3 (1)	43.8 (7)	37.5 (6)	12.5 (2)	6.3 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=28	28.6 (8)	39.3 (11)	10.7 (3)	25.0 (7)	28.6 (8)	46.4 (13)	3.6 (1)	14.3 (4)	0.0 (0)	3.6 (1)
【40～49歳】 n=33	15.2 (5)	39.4 (13)	27.3 (9)	27.3 (9)	33.3 (11)	39.4 (13)	9.1 (3)	15.2 (5)	12.1 (4)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=33	30.3 (10)	57.6 (19)	24.2 (8)	18.2 (6)	54.5 (18)	36.4 (12)	3.0 (1)	3.0 (1)	6.1 (2)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=57	21.1 (12)	38.6 (22)	15.8 (9)	36.8 (21)	33.3 (19)	40.4 (23)	5.3 (3)	12.3 (7)	5.3 (3)	0.0 (0)
【70歳以上】 n=64	34.4 (22)	28.1 (18)	21.9 (14)	29.7 (19)	37.5 (24)	37.5 (24)	3.1 (2)	12.5 (8)	1.6 (1)	1.6 (1)
性別の選択なし 【20～29歳】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	100.0 (1)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=2	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (2)	50.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=3	0.0 (0)	33.3 (1)	33.3 (1)	33.3 (1)	33.3 (1)	33.3 (1)	0.0 (0)	66.7 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=1	0.0 (0)	100.0 (1)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【70歳以上】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)

□ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問10

あなたは、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）という言葉を知っていますか。



全体 R6 (N=658)	女性 R6 (n=394)	男性 R6 (n=249)	性別の選択なし R6 (n=10)
R1 (N=769)	R1 (n=482)	R1 (n=286)	
H26 (N=1032)	H26 (n=581)	H26 (n=434)	

【全体】

「言葉も内容も知っている」（36.5%）、「言葉は聞いたことはあるが、内容までは知らない」（32.5%）の順となっている。

【性別】

女性は言葉は聞いたことはあるが、内容までは知らない（34.3%）、「言葉も内容も知らない」（33.5%）の順となっている。一方、男性は「言葉も内容も知っている」（44.2%）、「言葉は聞いたことはあるが、内容までは知らない」（30.5%）の順となり、言葉の認知度において男性の方が女性より高い状況となっている。

【年代別】

女性では10代、30代において「言葉も内容も知っている」が約60%を占め、逆に60代、70代の認知度が低い状況となっている。一方、男性では70代のみ20%を下回っているものの、その他の年代は全て40%を上回り、特に10代、20代では70%を超えている。

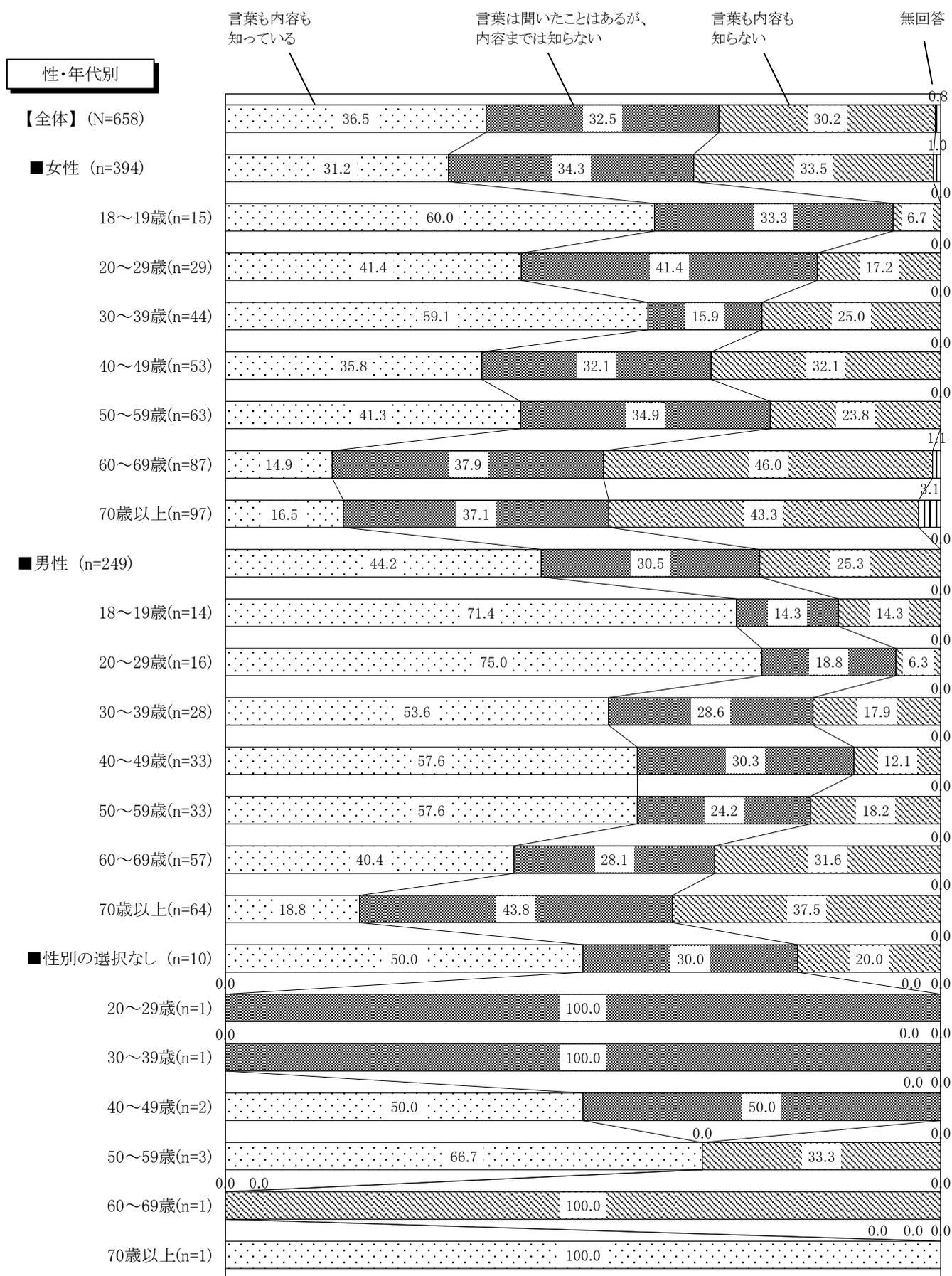
【経年比較】

前回調査と比較し、「言葉も内容も知っている」が、倍増している。（R1=18.2%、R6=36.5%）中でも男性の割合が大幅に増加している。（R1=18.2%、R6=44.2%）

□ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

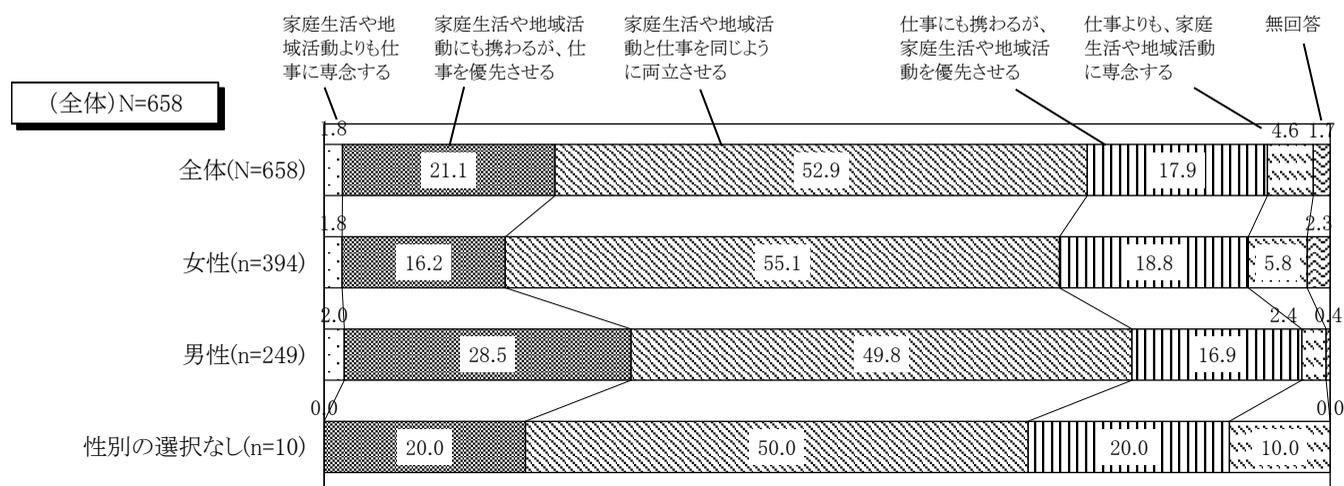
問10

あなたは、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）という言葉を知っていますか。



□ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問11
仕事と家庭生活や地域活動のバランスについて、あなたの「理想」に最も近いものを一つだけ選んでください。



【全体】

理想では「家庭生活や地域活動と仕事を同じように両立させる」（52.9%）、「家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先させる」（21.1%）、「仕事にも携わるが、家庭生活や地域活動を優先させる」（17.9%）の順となっている。

【性別】

女性は「家庭生活や地域活動と仕事を同じように両立させる」（55.1%）、「仕事にも携わるが、家庭生活や地域活動を優先させる」（18.8%）の順となっている。一方、男性は「家庭生活や地域活動と仕事を同じように両立させる」（49.8%）、「家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先させる」（28.5%）の順となっており、男女間で仕事の優先度合いに差がみられる。

【年代別】

男女の全ての年代で「家庭生活や地域活動と仕事を同じように両立させる」が最多となっている。また、男性の働き盛りの年代（50～70代）では、仕事の優先度合いが高い状況となっている。

【配偶関係別】

全てのグループで「家庭生活や地域活動と仕事を同じように両立させる」が最多となっており、中でも「既婚・自身のみが働いている」では70%を超えている。

【職業別】

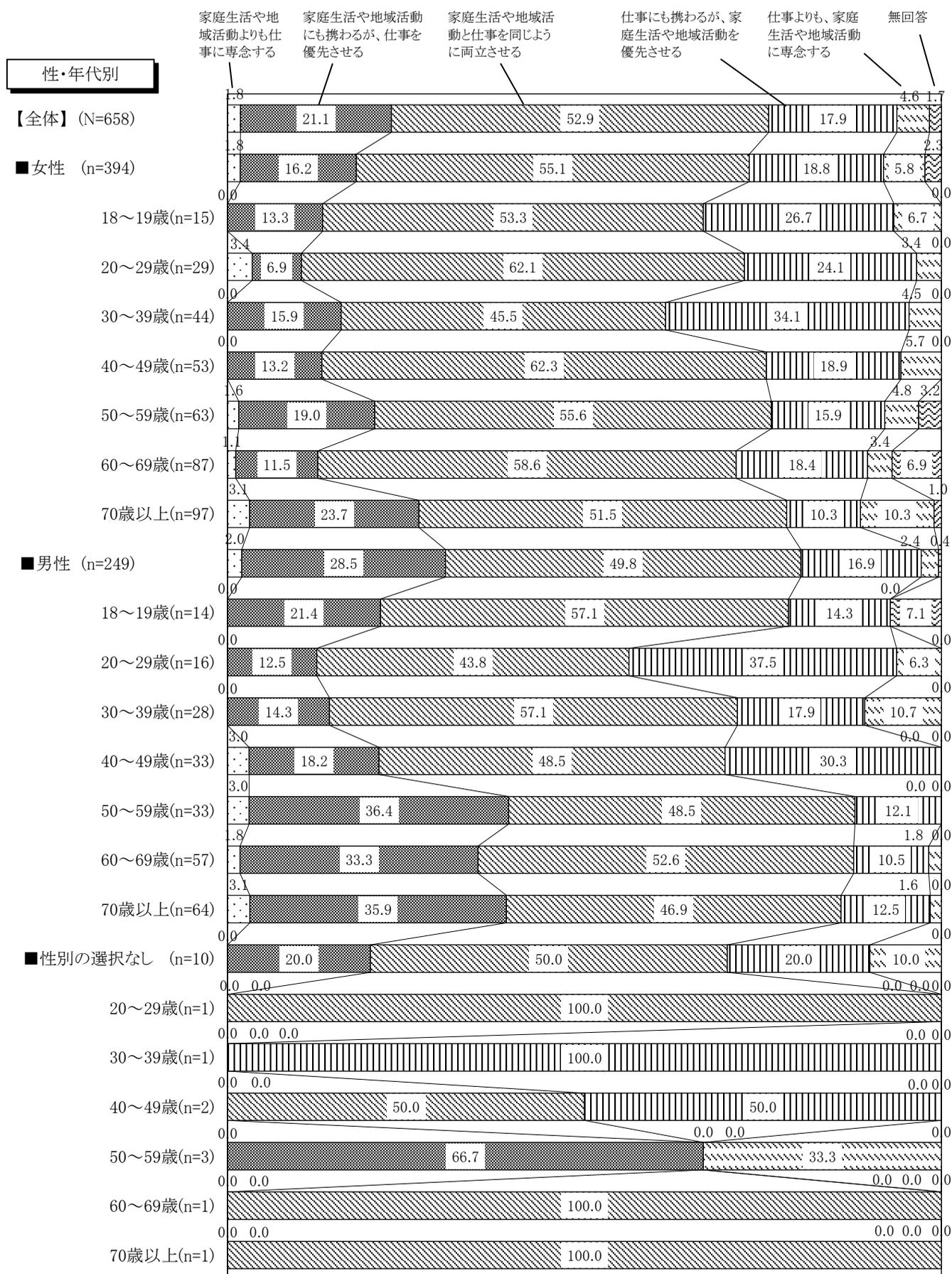
「専門職・技術職」（63.3%）と「学生」（61.3%）において「家庭生活や地域活動と仕事を同じように両立させる」が60%を超えている。また、「会社などの役員」（40.0%）、「内職・在宅ワーク」（40.0%）で「家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先させる」の割合が他より高くなっている。

【従業員数別】

全てのグループで「家庭生活や地域活動と仕事を同じように両立させる」が最も高くなっている。

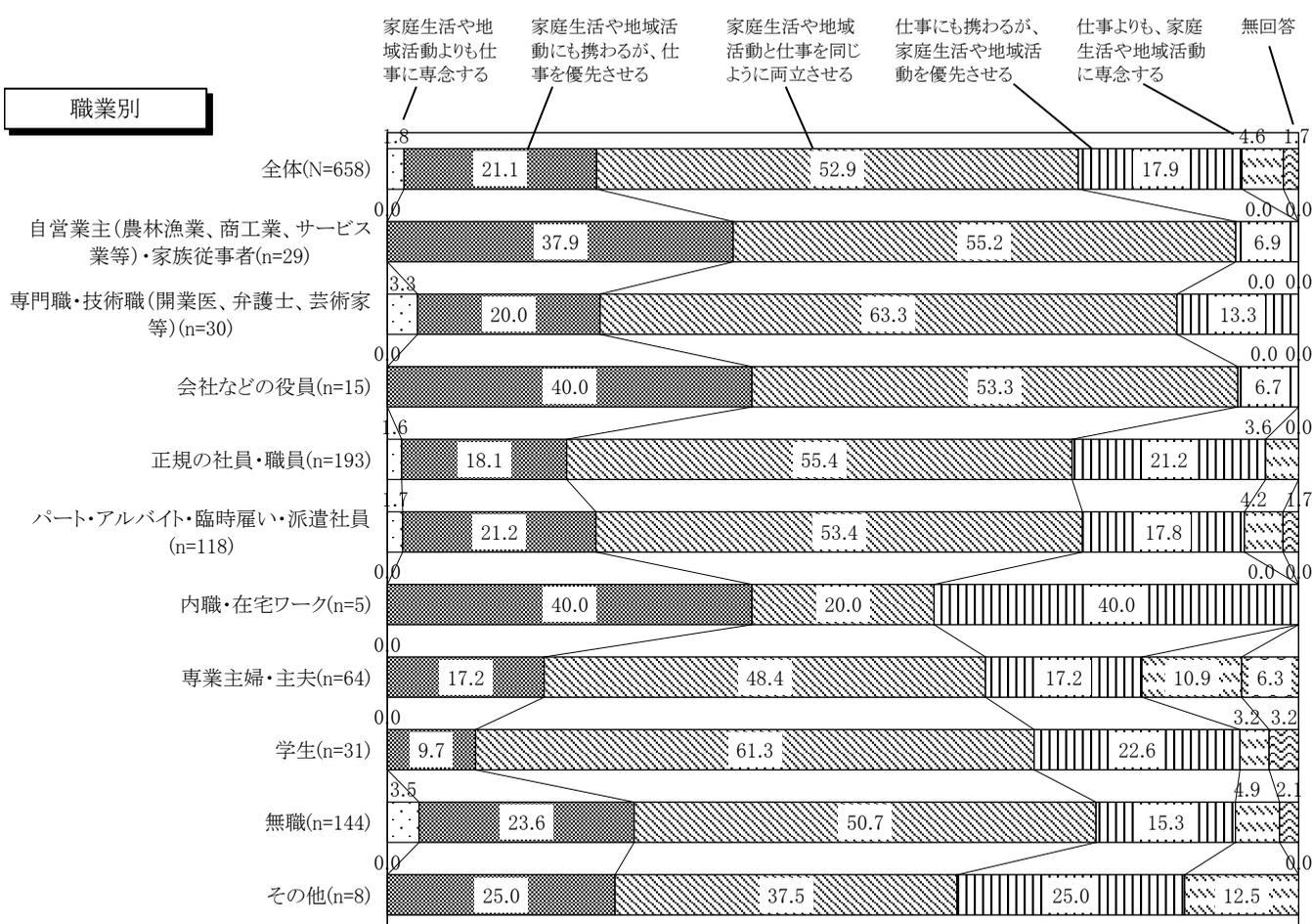
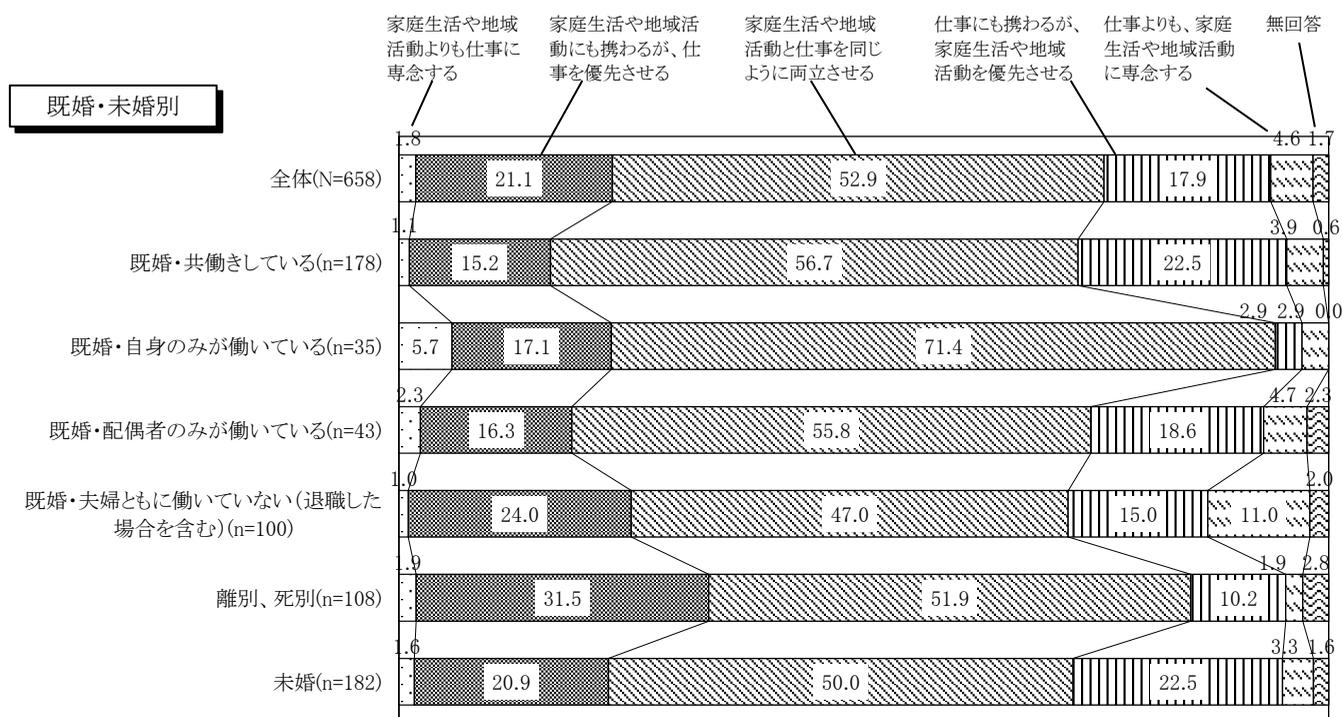
□ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

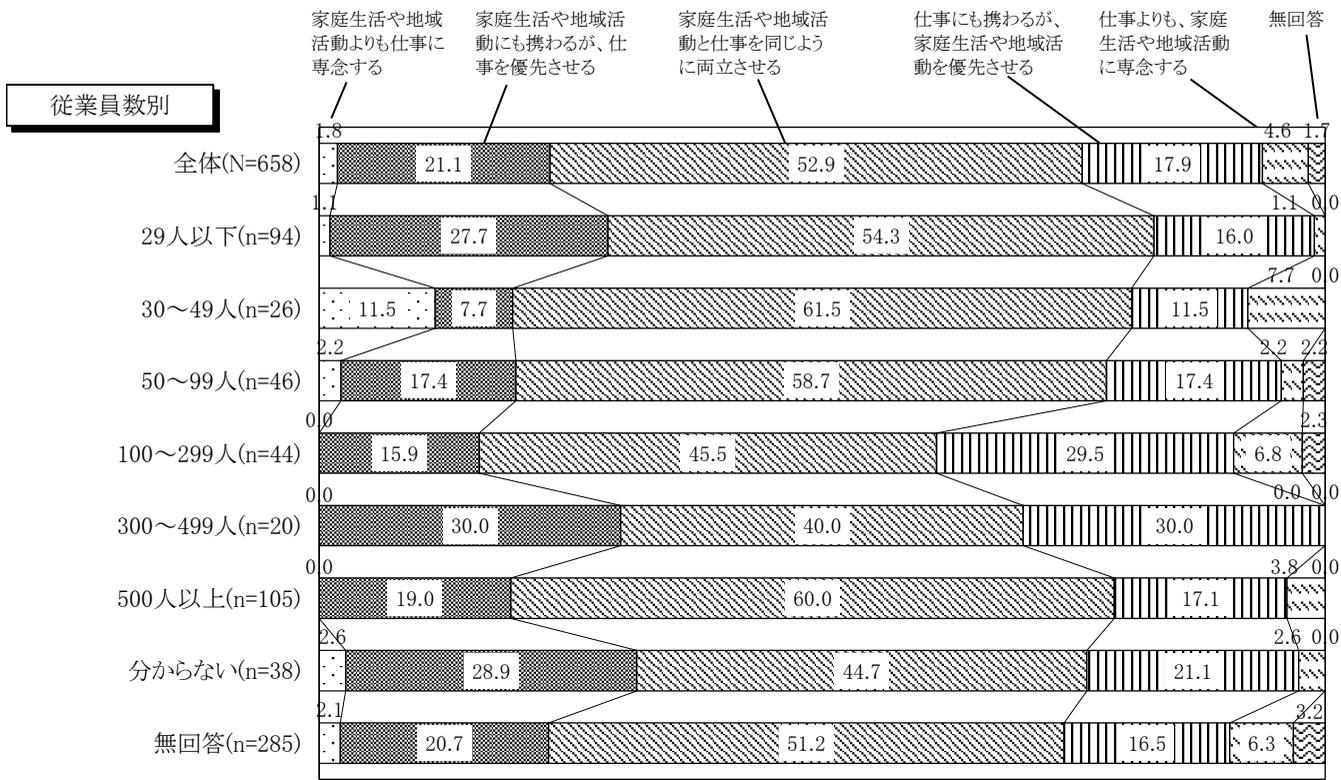
問 1 1
仕事と家庭生活や地域活動のバランスについて、あなたの「理想」に最も近いものを一つだけ選んでください。



□ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

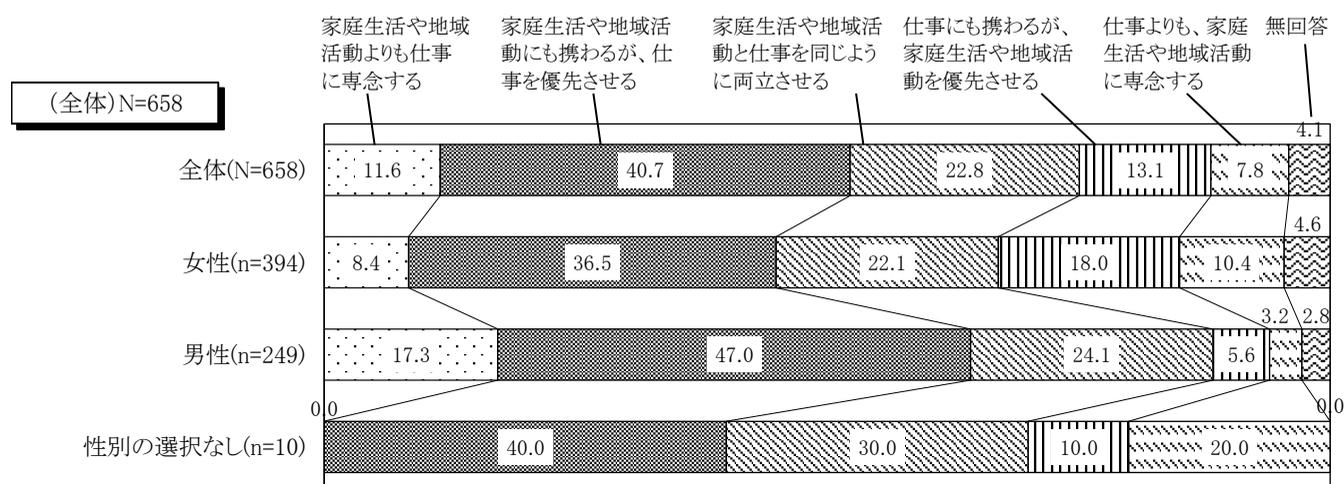
問 1 1
仕事と家庭生活や地域活動のバランスについて、あなたの「理想」に最も近いものを一つだけ選んでください。





□ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問12
仕事と家庭生活や地域活動のバランスについて、あなたの「現実」に最も近いものを一つだけ選んでください。



【全体】

現実では「家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先させる」（40.7%）、「家庭生活や地域活動と仕事を同じように両立させる」（22.8%）の順となっている。

【性別】

女性では「家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先させる」（36.5%）、「家庭生活や地域活動と仕事を同じように両立させる」（22.1%）の順となっている。一方、男性も同じく「家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先させる」（47.0%）、「家庭生活や地域活動と仕事を同じように両立させる」（24.1%）の順となっている。ただ、「家庭生活や地域活動よりも仕事に専念する」については女性が8.4%に対し、男性が17.3%と高くなっている。

【年代別】

女性の10代（46.7%）、男性の10代（42.9%）、20代（43.8%）で「家庭生活や地域活動と仕事を同じように両立させる」が最も高くなっているものの、男女ともその他の年代は「家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先させる」が最も高くなっている。また、男性の働き盛り世代といえる30代（28.6%）、40代（33.3%）、50代（21.2%）では「家庭生活や地域活動よりも仕事に専念する」の割合が他より高くなっている。

【配偶関係別】

「既婚・配偶者のみが働いている」で家庭生活や地域活動を優先する傾向が高いものの、それ以外のグループでは「家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先させる」が最も高くなっている。

【職業別】

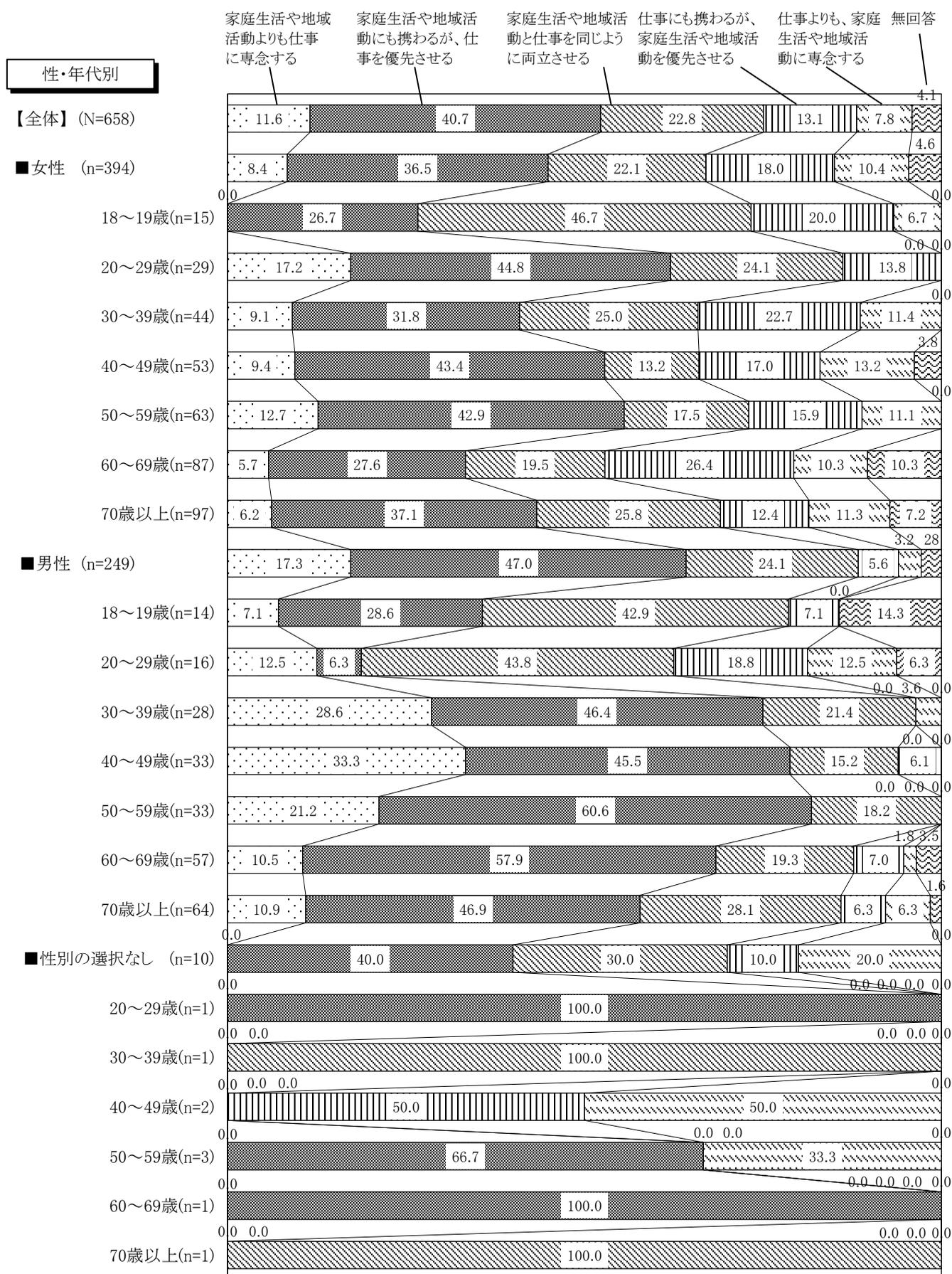
「内職・在宅ワーク」「学生」で家庭生活や地域活動を優先する傾向が高いものの、それ以外のグループでは「家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先させる」が最も高くなっている。

【従業員数別】

全てのグループで「家庭生活や地域活動にも携わるが、仕事を優先させる」が最も高くなっている。

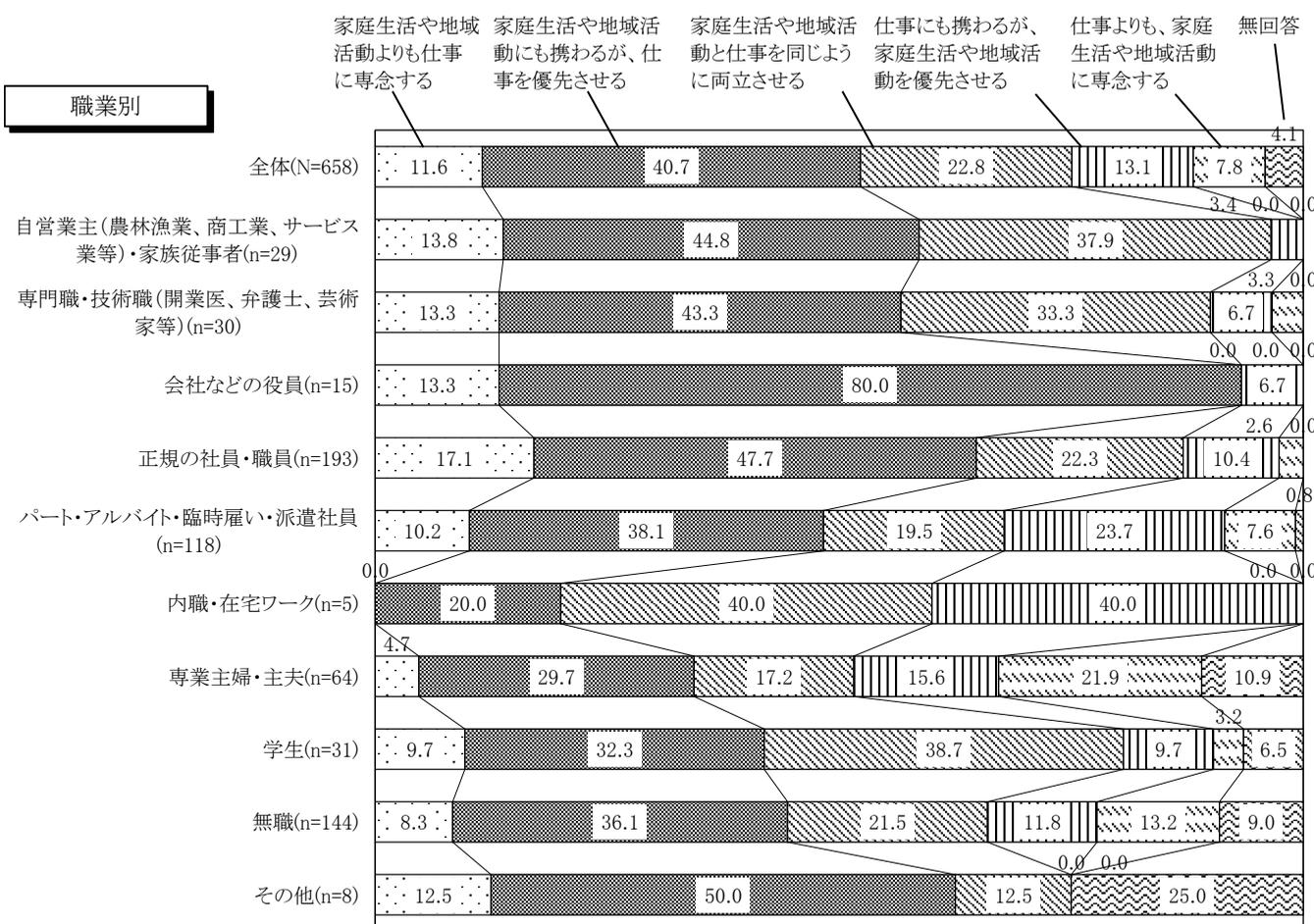
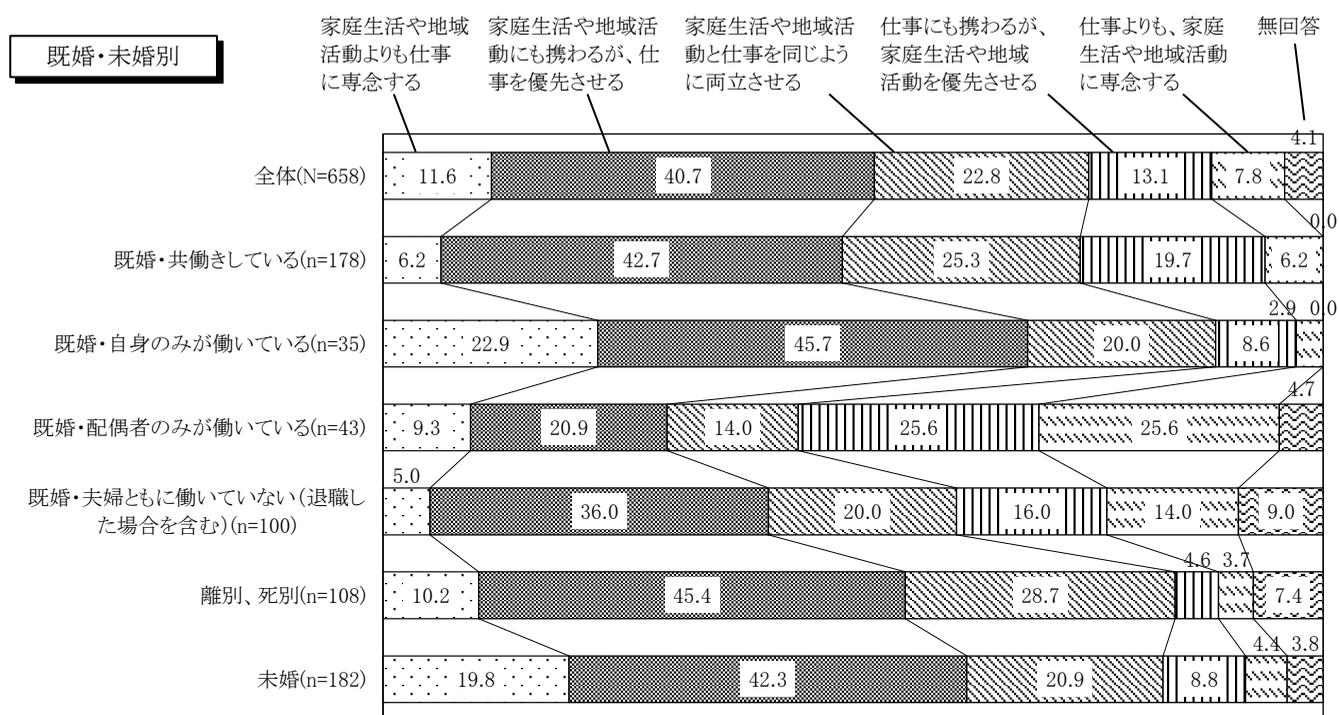
□ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

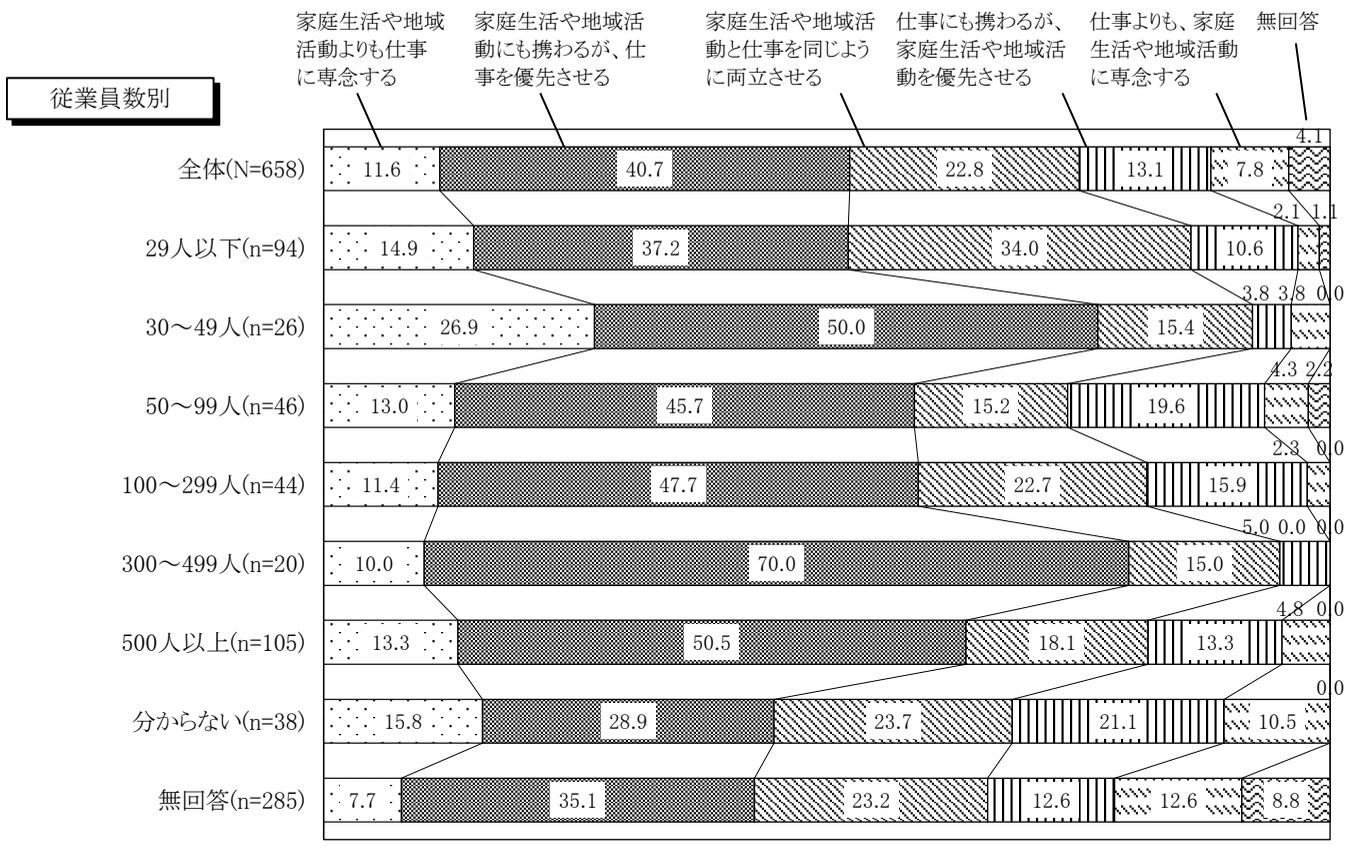
問 1 2
仕事と家庭生活や地域活動のバランスについて、あなたの「現実」に最も近いものを一つだけ選んでください。



□ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

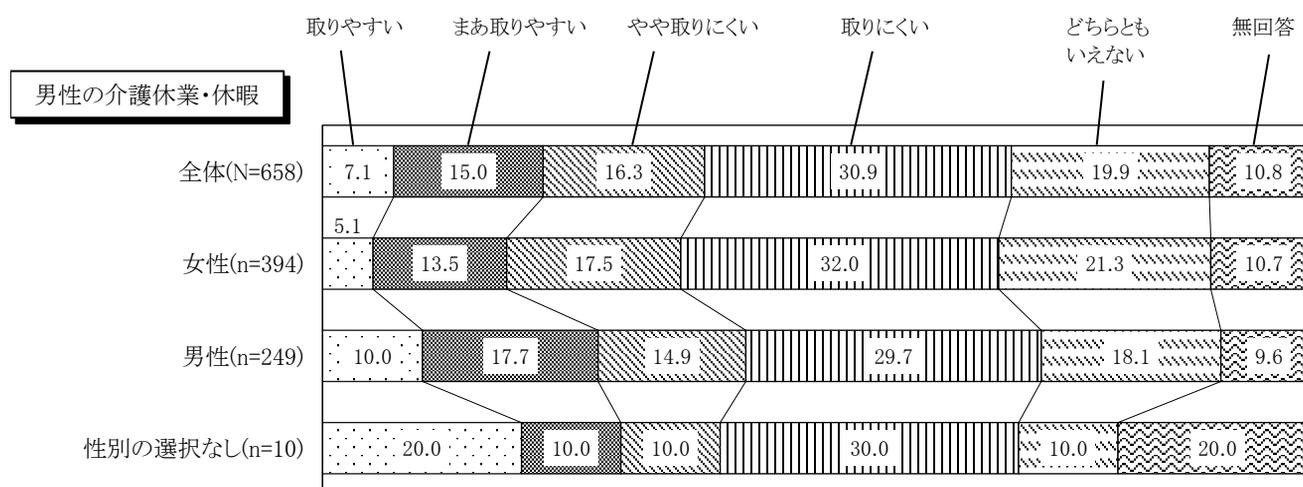
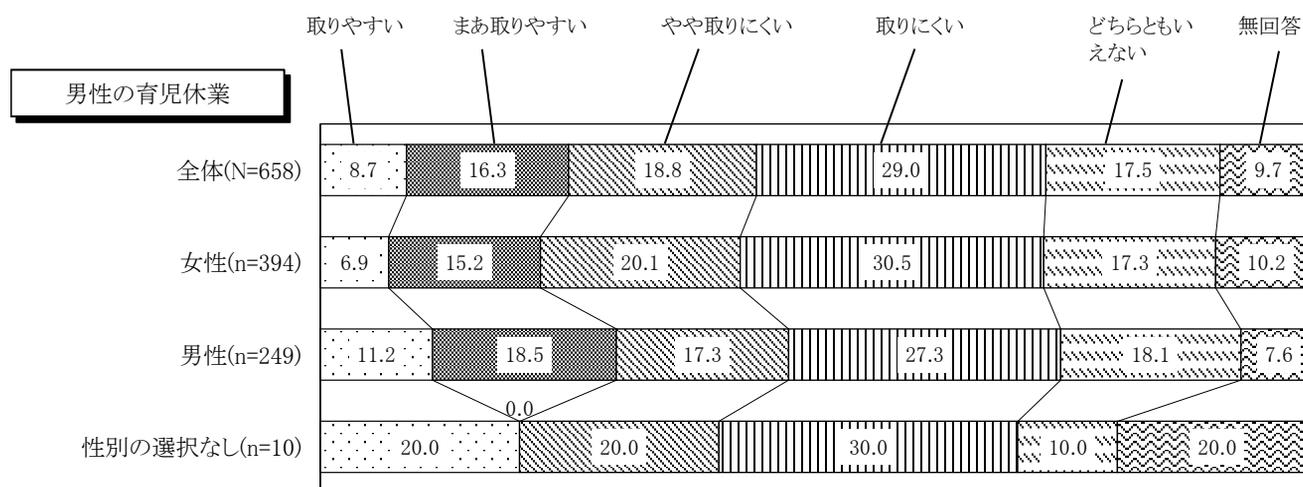
問12
仕事と家庭生活や地域活動のバランスについて、あなたの「現実」に最も近いものを一つだけ選んでください。





□ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問13
 あなたの職場やあなたの周囲の方の職場では、男性の育児・介護休業等を取りやすいと思いますか。あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ一つずつ選んでください。



【育児休業・全体】

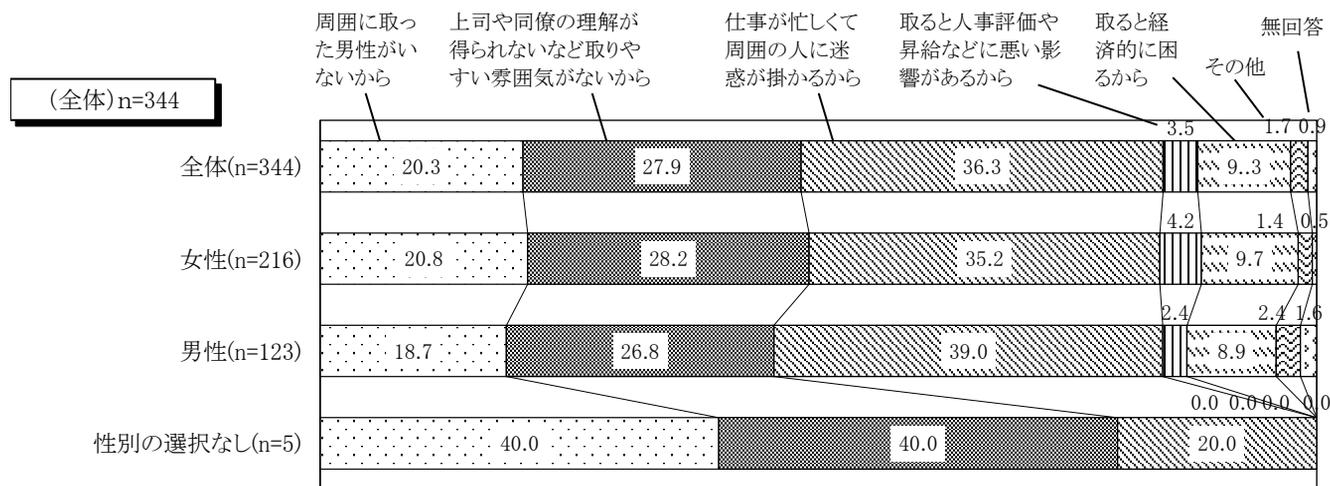
『取りやすい』（「取りやすい」＋「まあ取りやすい」）が25.0%、『取りにくい』（「取りにくい」＋「やや取りにくい」）が47.8%となっている。

【介護休業・全体】

『取りやすい』（「取りやすい」＋「まあ取りやすい」）が22.1%、『取りにくい』（「取りにくい」＋「やや取りにくい」）が47.2%となっている。

□ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問 1 4
 (問 1 3 で 3 または 4 を 選 択 し た 方 の み)
 「やや取りにくい」「取りにくい」と思うのはなぜですか。あなたのお考えに最も近いものを一つだけ選んでください。



【全体】

仕事が忙しくて周囲の人に迷惑が掛かるから（36.3%）、「上司や同僚の理解が得られないなど取りやすい雰囲気がないから」（27.9%）の順となっている。

【性別】

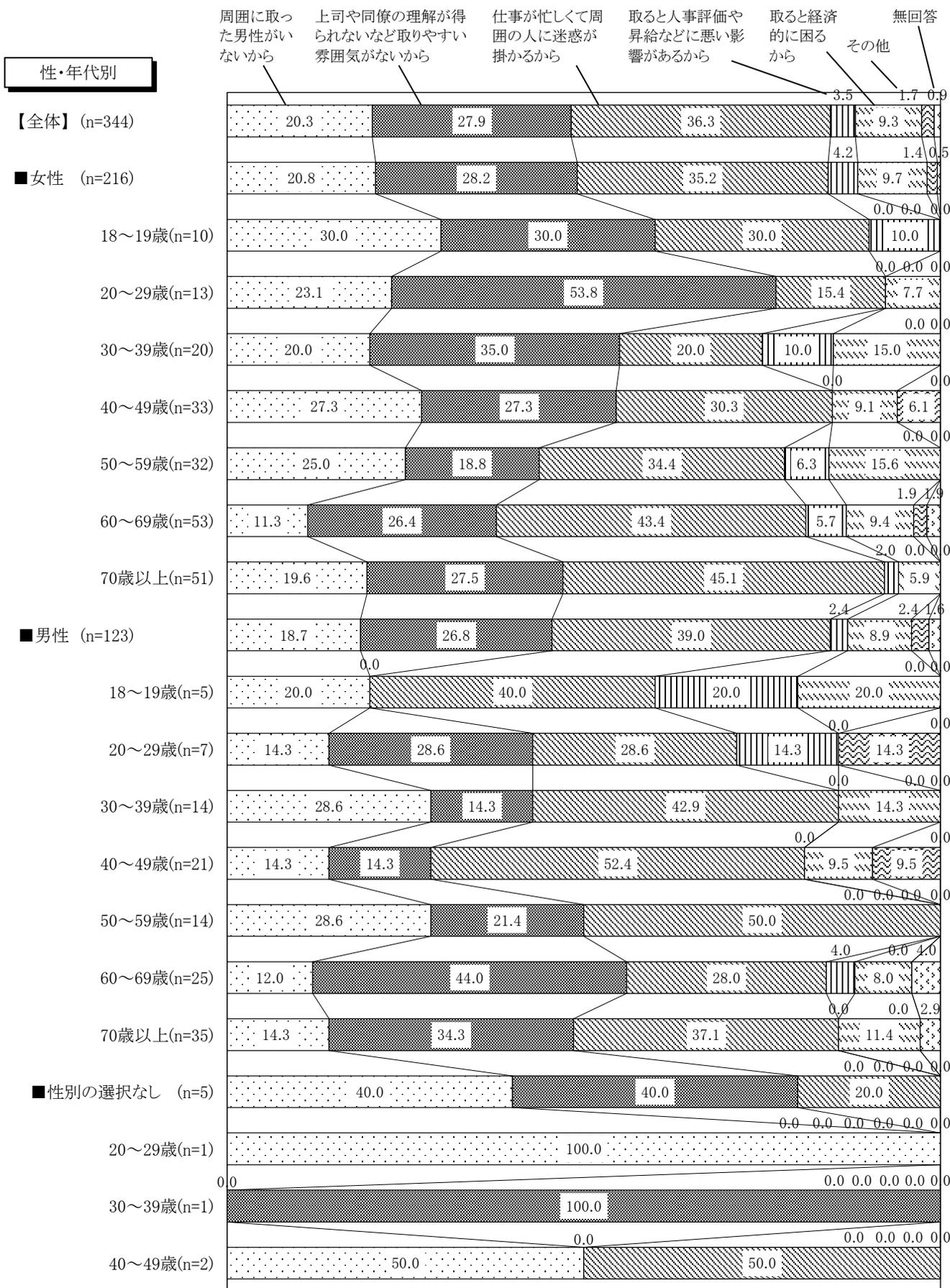
男女ともに「仕事が忙しくて周囲の人に迷惑が掛かるから」（女性35.2%、男性39.0%）、「上司や同僚の理解が得られないなど取りやすい雰囲気がないから」（女性28.2%、男性26.8%）の順となっている。

【年代別】

女性は10代～30代までは「上司や同僚の理解が得られないなど取りやすい雰囲気がないから」が最も高く、40代～70代では「仕事が忙しくて周囲の人に迷惑が掛かるから」が最も高くなっている。一方、男性では60代のみ「上司や同僚の理解が得られないなど取りやすい雰囲気がないから」が最も高く、その他の年代は「仕事が忙しくて周囲の人に迷惑が掛かるから」が最も高くなっている。

□ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

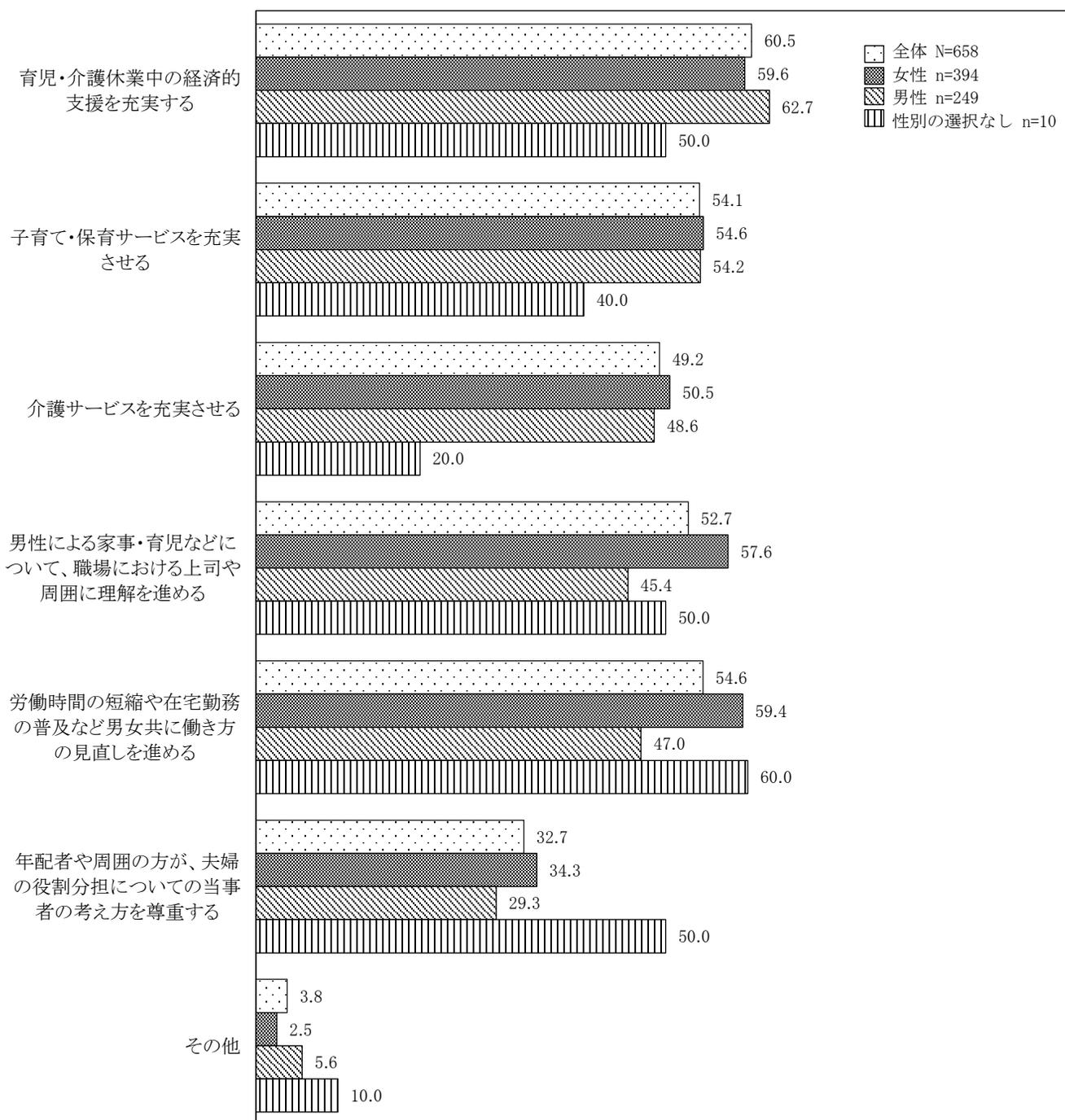
問 1 4
 (問 1 3 で 3 または 4 を 選 択 し た 方 の み)
 「やや取りにくい」「取りにくい」と思うのはなぜですか。あなたのお考えに最も近いものを一つだけ選んでください。



□ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問15

あなたは、男性と女性がともに仕事と家庭生活を両立させていく環境をつくるためにはどのようなことが必要だと思いますか（あてはまるもの全て）。



【全体】

男女ともに「育児・介護休業中の経済的支援を充実する」（女性59.6%、男性62.7%）が最も多くなっている。次いで女性は「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める」（59.4%）、男性は「子育て・保育サービスを充実させる」（54.2%）となっている。

【女性就労別】

「結婚するまでは職業を持ち、後はもたない方がよい」と考えるグループは「男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲に理解を進める」が、「子どもができるまで職業を持ち、後はもたない方がよい」と考えるグループは「子育て・保育サービスを充実させる」が最も多く、その他のグループについては「育児・介護休業中の経済的支援を充実する」が最も多くなっている。

【職業別】

「育児・介護休業中の経済的支援を充実する」、「子育て・保育サービスを充実させる」、「男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲に理解を進める」などが多くなっている。

【従業員数別】

「育児・介護休業中の経済的支援を充実する」が最も多く、次いで「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める」が多くなっている。

※問 1 5 項目集計表 (女性就労別) [構成比(%) / 人数(人)]

	る経育 済児 的・支 介援 を休 充業 実中 すの	子育 を充 実さ させ る	さ介 護サ ービ スを 充実	困場 場児 にに 理お けど による つる 進上 め司 めや 周職 育	し女 宅勤 務時 間の 普の 及短 縮な どや 見直 男在	考に が年 えつ 配夫 方い をて 尊の 重当 事役 割の 者分 の担	そ の 他	無 回 答
【全体】 N=658	60.5 (398)	54.1 (356)	49.2 (324)	52.7 (347)	54.6 (359)	32.7 (215)	3.8 (25)	2.3 (15)
【ずっと職業をもっている方がよい】 n=168	62.5 (105)	55.4 (93)	55.4 (93)	50.0 (84)	56.0 (94)	34.5 (58)	5.4 (9)	1.2 (2)
【結婚するまで職業を持ち、後はもたない方がよい】 n=9	22.2 (2)	33.3 (3)	33.3 (3)	44.4 (4)	33.3 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	11.1 (1)
【子どもができるまで職業を持ち、後はもたない方がよい】 n=17	35.3 (6)	58.8 (10)	41.2 (7)	29.4 (5)	17.6 (3)	35.3 (6)	5.9 (1)	0.0 (0)
【子どもができたなら育児休業等の制度を利用し、ずっと職業をもっている方がよい】 n=292	65.8 (192)	57.9 (169)	48.3 (141)	59.2 (173)	57.2 (167)	32.5 (95)	1.7 (5)	1.4 (4)
【子どもができたなら職業を中断し、子どもに手がかからなくなって再びもつ方がよい】 n=116	55.2 (64)	43.1 (50)	46.6 (54)	46.6 (54)	46.6 (54)	28.4 (33)	2.6 (3)	4.3 (5)
【女性は職業をもたない方がよい】 n=4	50.0 (2)	25.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	25.0 (1)	25.0 (1)	0.0 (0)	25.0 (1)
【その他】 n=48	56.3 (27)	58.3 (28)	52.1 (25)	50.0 (24)	75.0 (36)	43.8 (21)	14.6 (7)	2.1 (1)

※問15 項目集計表（職業別） [構成比(%)／人数(人)]

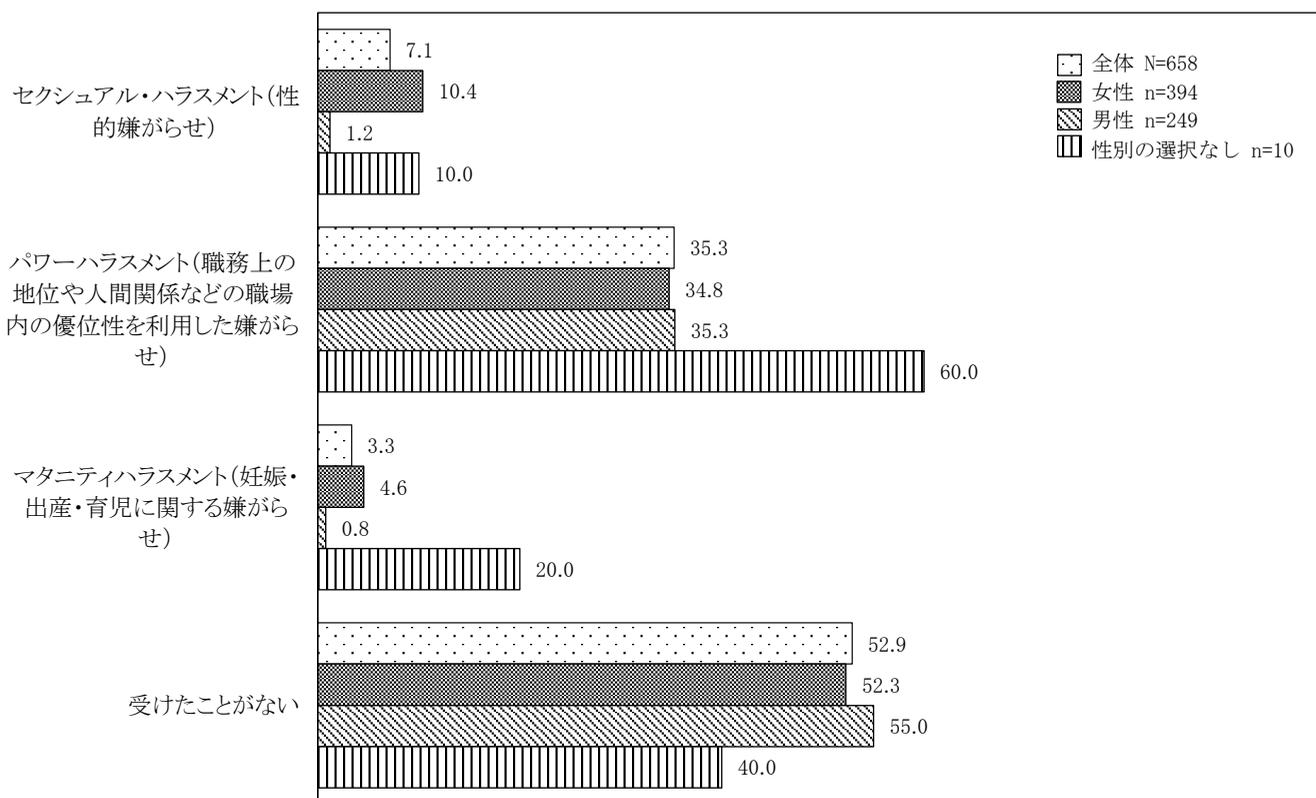
	る経育 済児的・ 支介護 援を休 業中 すの	子を育 て充 実さ せる 保 育サ ービ	さ介 せ護 サ ー ビ ス を 充 実	困場児男 にに 理おどに 解けによ るつる 進上い家 め司て事 るや・ 周職育	し女宅労 を共勤働 進に務時 め働の間 るき普の 方及短 見な縮 どや 直男在	考にが年 えつ、配 方い夫者 をて婦や 尊のの周 重当役困 す事割の る者分方 の担	そ の 他	無 回 答
【全体】 N=658	60.5 (398)	54.1 (356)	49.2 (324)	52.7 (347)	54.6 (359)	32.7 (215)	3.8 (25)	2.3 (15)
【自営業主（農林漁業、 商工業、サービス業 等）・家族従事者】 n=29	58.6 (17)	55.2 (16)	55.2 (16)	34.5 (10)	48.3 (14)	37.9 (11)	6.9 (2)	0.0 (0)
【専門職・技術職（開業 医、弁護士、芸術家 等）】 n=30	60.0 (18)	56.7 (17)	56.7 (17)	60.0 (18)	76.7 (23)	33.3 (10)	10.0 (3)	3.3 (1)
【会社などの役員】 n=15	66.7 (10)	53.3 (8)	20.0 (3)	20.0 (3)	46.7 (7)	20.0 (3)	6.7 (1)	6.7 (1)
【正規の社員・職員】 n=193	67.9 (131)	59.1 (114)	49.2 (95)	54.4 (105)	58.0 (112)	31.1 (60)	6.2 (12)	0.0 (0)
【パート・アルバイト・ 臨時雇い・派遣社員】 n=118	65.3 (77)	51.7 (61)	55.1 (65)	53.4 (63)	56.8 (67)	31.4 (37)	2.5 (3)	5.1 (6)
【内職・在宅ワーク】 n=5	40.0 (2)	60.0 (3)	20.0 (1)	60.0 (3)	80.0 (4)	80.0 (4)	40.0 (2)	0.0 (0)
【専業主婦・主夫】 n=64	54.7 (35)	51.6 (33)	46.9 (30)	57.8 (37)	53.1 (34)	29.7 (19)	1.6 (1)	0.0 (0)
【学生】 n=31	58.1 (18)	45.2 (14)	45.2 (14)	74.2 (23)	48.4 (15)	38.7 (12)	0.0 (0)	3.2 (1)
【無職】 n=144	53.5 (77)	55.6 (80)	49.3 (71)	52.8 (76)	50.7 (73)	33.3 (48)	0.7 (1)	1.4 (2)
【その他】 n=8	50.0 (4)	50.0 (4)	50.0 (4)	25.0 (2)	50.0 (4)	37.5 (3)	0.0 (0)	12.5 (1)

※問15 項目集計表（従業員数別） [構成比(%)／人数(人)]

	る経育 済児的・ 支介護 援を休 業中 すの	子を育 て充 実さ せる 保 育サ ービ	さ介 せ護 サ ー ビ ス を 充 実	困場児男 にに 理おどに 解けによ るつる 進上い家 め司て事 るや・ 周職育	し女宅労 を共勤働 進に務時 め働の間 るき普の 方及短 見な縮 どや 直男在	考にが年 えつ、配 方い夫者 をて婦や 尊のの周 重当役困 す事割の る者分方 の担	そ の 他	無 回 答
【全体】 N=658	60.5 (398)	54.1 (356)	49.2 (324)	52.7 (347)	54.6 (359)	32.7 (215)	3.8 (25)	2.3 (15)
【29人以下】 n=94	61.7 (58)	57.4 (54)	43.6 (41)	48.9 (46)	55.3 (52)	39.4 (37)	6.4 (6)	1.1 (1)
【30～49人】 n=26	53.8 (14)	42.3 (11)	46.2 (12)	53.8 (14)	57.7 (15)	34.6 (9)	3.8 (1)	3.8 (1)
【50～99人】 n=46	56.5 (26)	50.0 (23)	54.3 (25)	45.7 (21)	52.2 (24)	21.7 (10)	6.5 (3)	6.5 (3)
【100～299人】 n=44	68.2 (30)	61.4 (27)	52.3 (23)	52.3 (23)	50.0 (22)	27.3 (12)	2.3 (1)	2.3 (1)
【300～499人】 n=20	75.0 (15)	70.0 (14)	50.0 (10)	65.0 (13)	80.0 (16)	30.0 (6)	5.0 (1)	0.0 (0)
【500人以上】 n=105	69.5 (73)	61.0 (64)	54.3 (57)	54.3 (57)	65.7 (69)	34.3 (36)	6.7 (7)	0.0 (0)
【分からない】 n=38	71.1 (27)	52.6 (20)	50.0 (19)	60.5 (23)	71.1 (27)	31.6 (12)	10.5 (4)	2.6 (1)

□ 男女の人権について

問16
お仕事をされている方（または以前されていた方）にお聞きします。
あなたは職場において、次のようなハラスメントを受けたことがありますか（あてはまるもの全て）。



【全体】

ハラスメント経験については、男女ともに「ない」（女性52.3%、男性55.0%）が最も多くなっているが、次いでは男女ともに「パワーハラスメント」（女性34.8%、男性35.3%）が多くなっている。

【年代別】

女性の40代、男性の30代、40代で「パワハラ」が最も多くなっているが、男女あわせてその他の全ての世代では「ない」が最も多くなっている。

※問16 項目集計表（性・年代別） [構成比(%)／人数(人)]

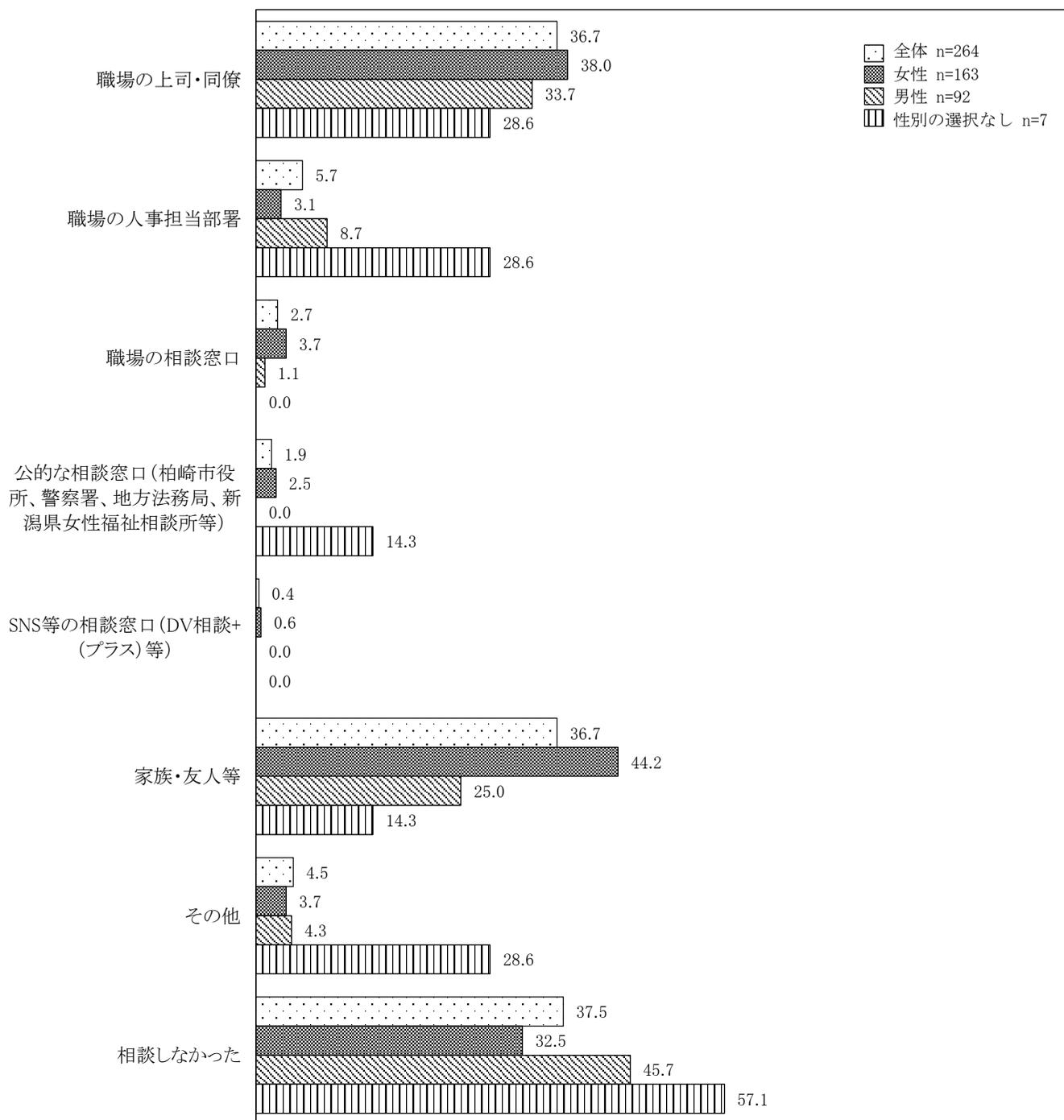
	セメンク トシユ アル 嫌・ハ ラス	セ位関 性係職 をな 利用 した 場内 嫌の が優 間	にトマ 関(妊 する 嫌 が ら せ)	受 け た こ と が な い	無 回 答
【全体】 N=658	7.1 (47)	35.3 (232)	3.3 (22)	52.9 (348)	8.7 (57)
【女性】 n=394	10.4 (41)	34.8 (137)	4.6 (18)	52.3 (206)	7.9 (31)
【男性】 n=249	1.2 (3)	35.3 (88)	0.8 (2)	55.0 (137)	9.6 (24)
【性別の選択なし】 n=10	10.0 (1)	60.0 (6)	20.0 (2)	40.0 (4)	0.0 (0)
女性【18～19歳】 n=15	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	26.7 (4)	73.3 (11)
【20～29歳】 n=29	10.3 (3)	34.5 (10)	3.4 (1)	55.2 (16)	6.9 (2)
【30～39歳】 n=44	20.5 (9)	38.6 (17)	6.8 (3)	47.7 (21)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=53	18.9 (10)	45.3 (24)	7.5 (4)	43.4 (23)	1.9 (1)
【50～59歳】 n=63	12.7 (8)	41.3 (26)	6.3 (4)	54.0 (34)	1.6 (1)
【60～69歳】 n=87	6.9 (6)	36.8 (32)	2.3 (2)	52.9 (46)	8.0 (7)
【70歳以上】 n=97	5.2 (5)	26.8 (26)	4.1 (4)	60.8 (59)	8.2 (8)
男性【18～19歳】 n=14	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	35.7 (5)	64.3 (9)
【20～29歳】 n=16	0.0 (0)	6.3 (1)	0.0 (0)	62.5 (10)	31.3 (5)
【30～39歳】 n=28	0.0 (0)	57.1 (16)	0.0 (0)	42.9 (12)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=33	0.0 (0)	69.7 (23)	6.1 (2)	30.3 (10)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=33	9.1 (3)	39.4 (13)	0.0 (0)	60.6 (20)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=57	0.0 (0)	35.1 (20)	0.0 (0)	57.9 (33)	7.0 (4)
【70歳以上】 n=64	0.0 (0)	20.3 (13)	0.0 (0)	70.3 (45)	9.4 (6)
性別の選択なし 【20～29歳】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=1	0.0 (0)	100.0 (1)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=2	0.0 (0)	100.0 (2)	50.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=3	33.3 (1)	33.3 (1)	0.0 (0)	66.7 (2)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=1	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【70歳以上】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)

□ 男女の人権について

問 1 7

(問 1 6 で 1 ~ 3 を選択した方のみ)

あなたは、そのときどこ (だれ) に相談しましたか (あてはまるもの全て)。



【全体】

ハラスメントを受けた際の相談先をみると、女性は「家族・友人等」(44.2%)が、男性は「相談しなかった」(45.7%)が最も多くなっている。次いで男女共に「職場の上司・同僚」(女性38.0%、男性33.7%)となっている。

【年代別】

女性の20・30・40代の相談先として「家族・友人等」が最も多く、50・60代では「職場の上司・同僚」となり、70代では「相談しなかった」が最も多くなっている。一方、男性では働き盛りの30・40・50代で「職場の上司・同僚」が最も多くなっている。

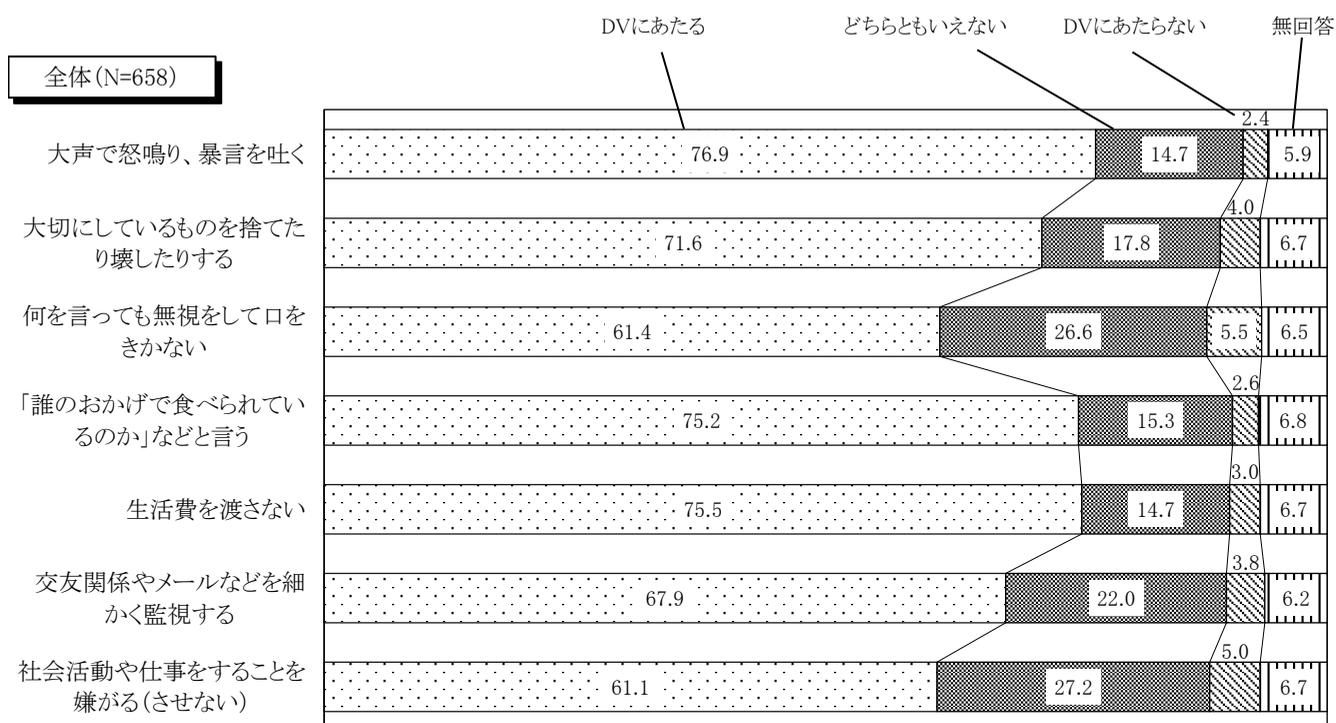
※問17 項目集計表(性・年代別) [構成比(%)／人数(人)]

	職場の上 司・同僚	職場の 人事担 当部署	職場の 相談窓 口	社務所、 新潟県 女性福 祉相 談所等	公的相 談窓 口(柏 崎地 方)	市役所、 警察署、 新潟県 女性福 祉相 談所等	法的相 談窓 口(相 談窓 口)	SNS等 (DV相 談+プ ラ ス)	家族・ 友人等	その他	相談し なかつ た	無回 答
【全体】 n=264	36.7 (97)	5.7 (15)	2.7 (7)	1.9 (5)	0.4 (1)	36.7 (97)	4.5 (12)	37.5 (99)	0.4 (1)			
【女性】 n=163	38.0 (62)	3.1 (5)	3.7 (6)	2.5 (4)	0.6 (1)	44.2 (72)	3.7 (6)	32.5 (53)	0.6 (1)			
【男性】 n=92	33.7 (31)	8.7 (8)	1.1 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	25.0 (23)	4.3 (4)	45.7 (42)	0.0 (0)			
【性別の選択なし】 n=7	28.6 (2)	28.6 (2)	0.0 (0)	14.3 (1)	0.0 (0)	14.3 (1)	28.6 (2)	57.1 (4)	0.0 (0)			
女性【20～29歳】 n=11	36.4 (4)	9.1 (1)	9.1 (1)	9.1 (1)	0.0 (0)	36.4 (4)	0.0 (0)	27.3 (3)	0.0 (0)			
【30～39歳】 n=23	34.8 (8)	4.3 (1)	4.3 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	60.9 (14)	4.3 (1)	21.7 (5)	0.0 (0)			
【40～49歳】 n=29	55.2 (16)	0.0 (0)	0.0 (0)	6.9 (2)	0.0 (0)	58.6 (17)	3.4 (1)	31.0 (9)	0.0 (0)			
【50～59歳】 n=30	36.7 (11)	6.7 (2)	10.0 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	33.3 (10)	6.7 (2)	33.3 (10)	0.0 (0)			
【60～69歳】 n=36	44.4 (16)	2.8 (1)	2.8 (1)	2.8 (1)	0.0 (0)	36.1 (13)	0.0 (0)	33.3 (12)	0.0 (0)			
【70歳以上】 n=32	21.9 (7)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	3.1 (1)	40.6 (13)	6.3 (2)	40.6 (13)	3.1 (1)			
男性【18～19歳】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)			
【20～29歳】 n=2	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)			
【30～39歳】 n=17	64.7 (11)	17.6 (3)	5.9 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	23.5 (4)	0.0 (0)	29.4 (5)	0.0 (0)			
【40～49歳】 n=23	43.5 (10)	4.3 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	34.8 (8)	4.3 (1)	30.4 (7)	0.0 (0)			
【50～59歳】 n=13	46.2 (6)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	30.8 (4)	7.7 (1)	23.1 (3)	0.0 (0)			
【60～69歳】 n=20	15.0 (3)	15.0 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	20.0 (4)	5.0 (1)	60.0 (12)	0.0 (0)			
【70歳以上】 n=14	7.1 (1)	7.1 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	7.1 (1)	7.1 (1)	85.7 (12)	0.0 (0)			
性別の選択なし 【30～39歳】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)			
【40～49歳】 n=2	50.0 (1)	50.0 (1)	0.0 (0)	50.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	50.0 (1)	0.0 (0)			
【50～59歳】 n=2	50.0 (1)	50.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	50.0 (1)	0.0 (0)			
【60～69歳】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)			

□ 男女の人権について

問18

配偶者等や交際相手から受ける暴力をDV（ドメスティック・バイオレンス）といいます。1～7のようなことが行われた場合、それをDVだと思いますか（それぞれ一つずつ）。



【全体】

全ての項目において「DVにあたる」が多くなっている。

【性別】

「DVだと思うか」について、概ね全てのグループで女性の割合が男性を上回っている。特に「生活費を渡さない」（女性79.9%、男性69.5%）は女性が10%以上上回っている。

【年代別】

全ての項目において、男女ともに全ての年代で「DVにあたる」が最も多くなっている。

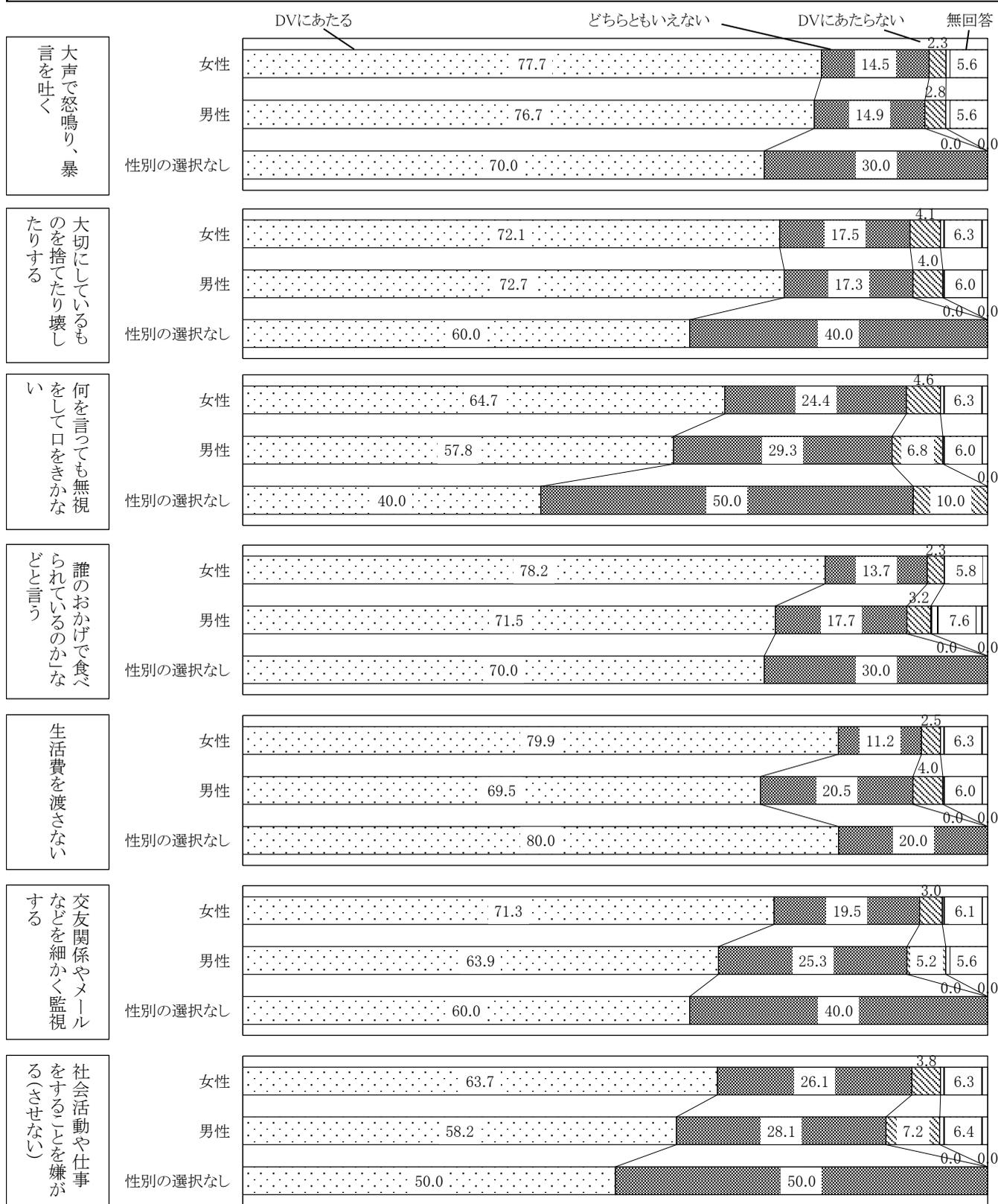
【経年比較】

「DVにあたる」と思う人の割合は全ての項目で増加している。一方、「DVにあたらぬ」と思う人の割合は、「大声で怒鳴り、暴言を吐く」を除き、全ての項目で減少している。

□ 男女の人権について

問 18

配偶者等や交際相手から受ける暴力をDV（ドメスティック・バイオレンス）といいます。1～7のようなことが行われた場合、それをDVだと思いますか（それぞれ一つずつ）。



全体 N=658
 女性 n=394
 男性 n=249
 性別の選択なし n=10

・DVだと思いますか

※表は全て性・年代別で集計し、構成比(%) / 人数(人)で表示

※(1) 大声で怒鳴り、暴言を吐く

	たD るV にあ	いもど いち えら など	たD らV ない にあ	無 回 答
【全体】 N=658	76.9 (506)	14.7 (97)	2.4 (16)	5.9 (39)
【女性】 n=394	77.7 (306)	14.5 (57)	2.3 (9)	5.6 (22)
【男性】 n=249	76.7 (191)	14.9 (37)	2.8 (7)	5.6 (14)
【性別の選択なし】 n=10	70.0 (7)	30.0 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)
女性【18～19歳】 n=15	80.0 (12)	13.3 (2)	0.0 (0)	6.7 (1)
【20～29歳】 n=29	72.4 (21)	13.8 (4)	3.4 (1)	10.3 (3)
【30～39歳】 n=44	81.8 (36)	13.6 (6)	0.0 (0)	4.5 (2)
【40～49歳】 n=53	83.0 (44)	15.1 (8)	0.0 (0)	1.9 (1)
【50～59歳】 n=63	88.9 (56)	9.5 (6)	1.6 (1)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=87	74.7 (65)	19.5 (17)	2.3 (2)	3.4 (3)
【70歳以上】 n=97	69.1 (67)	13.4 (13)	5.2 (5)	12.4 (12)
男性【18～19歳】 n=14	64.3 (9)	28.6 (4)	0.0 (0)	7.1 (1)
【20～29歳】 n=16	93.8 (15)	6.3 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=28	75.0 (21)	21.4 (6)	3.6 (1)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=33	90.9 (30)	6.1 (2)	3.0 (1)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=33	75.8 (25)	21.2 (7)	3.0 (1)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=57	77.2 (44)	15.8 (9)	1.8 (1)	5.3 (3)
【70歳以上】 n=64	68.8 (44)	12.5 (8)	4.7 (3)	14.1 (9)
性別の選択なし 【20～29歳】 n=1	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=1	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=2	100.0 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=3	66.7 (2)	33.3 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=1	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【70歳以上】 n=1	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)

※(2) 大切にしているものを捨てたり壊したりする

	たD るV にあ	いもど いち えら など	たD らV ない にあ	無 回 答
【全体】 N=658	71.6 (471)	17.8 (117)	4.0 (26)	6.7 (44)
【女性】 n=394	72.1 (284)	17.5 (69)	4.1 (16)	6.3 (25)
【男性】 n=249	72.7 (181)	17.3 (43)	4.0 (10)	6.0 (15)
【性別の選択なし】 n=10	60.0 (6)	40.0 (4)	0.0 (0)	0.0 (0)
女性【18～19歳】 n=15	66.7 (10)	20.0 (3)	6.7 (1)	6.7 (1)
【20～29歳】 n=29	72.4 (21)	13.8 (4)	3.4 (1)	10.3 (3)
【30～39歳】 n=44	84.1 (37)	11.4 (5)	2.3 (1)	2.3 (1)
【40～49歳】 n=53	81.1 (43)	15.1 (8)	3.8 (2)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=63	84.1 (53)	14.3 (9)	1.6 (1)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=87	67.8 (59)	25.3 (22)	2.3 (2)	4.6 (4)
【70歳以上】 n=97	56.7 (55)	18.6 (18)	8.2 (8)	16.5 (16)
男性【18～19歳】 n=14	50.0 (7)	28.6 (4)	0.0 (0)	21.4 (3)
【20～29歳】 n=16	93.8 (15)	0.0 (0)	6.3 (1)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=28	82.1 (23)	10.7 (3)	7.1 (2)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=33	90.9 (30)	6.1 (2)	3.0 (1)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=33	78.8 (26)	15.2 (5)	6.1 (2)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=57	71.9 (41)	21.1 (12)	3.5 (2)	3.5 (2)
【70歳以上】 n=64	57.8 (37)	26.6 (17)	1.6 (1)	14.1 (9)
性別の選択なし 【20～29歳】 n=1	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=1	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=2	100.0 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=3	66.7 (2)	33.3 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=1	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【70歳以上】 n=1	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)

※（３）何を言っても無視をして口をきかない

	た D る V にあ	いもど い えら など	た D ら V ない にあ	無 回 答
【全体】 N=658	61.4 (404)	26.6 (175)	5.5 (36)	6.5 (43)
【女性】 n=394	64.7 (255)	24.4 (96)	4.6 (18)	6.3 (25)
【男性】 n=249	57.8 (144)	29.3 (73)	6.8 (17)	6.0 (15)
【性別の選択なし】 n=10	40.0 (4)	50.0 (5)	10.0 (1)	0.0 (0)
女性【18～19歳】 n=15	53.3 (8)	40.0 (6)	0.0 (0)	6.7 (1)
【20～29歳】 n=29	58.6 (17)	20.7 (6)	10.3 (3)	10.3 (3)
【30～39歳】 n=44	79.5 (35)	15.9 (7)	2.3 (1)	2.3 (1)
【40～49歳】 n=53	64.2 (34)	28.3 (15)	5.7 (3)	1.9 (1)
【50～59歳】 n=63	74.6 (47)	20.6 (13)	4.8 (3)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=87	62.1 (54)	32.2 (28)	2.3 (2)	3.4 (3)
【70歳以上】 n=97	58.8 (57)	19.6 (19)	5.2 (5)	16.5 (16)
男性【18～19歳】 n=14	57.1 (8)	35.7 (5)	0.0 (0)	7.1 (1)
【20～29歳】 n=16	68.8 (11)	18.8 (3)	12.5 (2)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=28	71.4 (20)	25.0 (7)	3.6 (1)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=33	75.8 (25)	18.2 (6)	6.1 (2)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=33	60.6 (20)	21.2 (7)	15.2 (5)	3.0 (1)
【60～69歳】 n=57	56.1 (32)	35.1 (20)	3.5 (2)	5.3 (3)
【70歳以上】 n=64	42.2 (27)	35.9 (23)	7.8 (5)	14.1 (9)
性別の選択なし 【20～29歳】 n=1	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=1	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=2	50.0 (1)	0.0 (0)	50.0 (1)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=3	66.7 (2)	33.3 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=1	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【70歳以上】 n=1	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)

※（４）「誰のおかげで食べられているのか」などと言う

	た D る V にあ	いもど い えら など	た D ら V ない にあ	無 回 答
【全体】 N=658	75.2 (495)	15.3 (101)	2.6 (17)	6.8 (45)
【女性】 n=394	78.2 (308)	13.7 (54)	2.3 (9)	5.8 (23)
【男性】 n=249	71.5 (178)	17.7 (44)	3.2 (8)	7.6 (19)
【性別の選択なし】 n=10	70.0 (7)	30.0 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)
女性【18～19歳】 n=15	80.0 (12)	20.0 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)
【20～29歳】 n=29	72.4 (21)	6.9 (2)	6.9 (2)	13.8 (4)
【30～39歳】 n=44	86.4 (38)	11.4 (5)	0.0 (0)	2.3 (1)
【40～49歳】 n=53	88.7 (47)	9.4 (5)	1.9 (1)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=63	90.5 (57)	7.9 (5)	1.6 (1)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=87	74.7 (65)	21.8 (19)	0.0 (0)	3.4 (3)
【70歳以上】 n=97	66.0 (64)	13.4 (13)	5.2 (5)	15.5 (15)
男性【18～19歳】 n=14	42.9 (6)	42.9 (6)	0.0 (0)	14.3 (2)
【20～29歳】 n=16	68.8 (11)	18.8 (3)	6.3 (1)	6.3 (1)
【30～39歳】 n=28	75.0 (21)	17.9 (5)	3.6 (1)	3.6 (1)
【40～49歳】 n=33	90.9 (30)	6.1 (2)	3.0 (1)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=33	69.7 (23)	18.2 (6)	6.1 (2)	6.1 (2)
【60～69歳】 n=57	82.5 (47)	10.5 (6)	1.8 (1)	5.3 (3)
【70歳以上】 n=64	59.4 (38)	23.4 (15)	3.1 (2)	14.1 (9)
性別の選択なし 【20～29歳】 n=1	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=1	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=2	100.0 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=3	66.7 (2)	33.3 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=1	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【70歳以上】 n=1	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)

※（５）生活費を渡さない

	た る V に あ	い も ど い ち え ら な と	た D ら V に あ	無 回 答
【全体】 N=658	75.5 (497)	14.7 (97)	3.0 (20)	6.7 (44)
【女性】 n=394	79.9 (315)	11.2 (44)	2.5 (10)	6.3 (25)
【男性】 n=249	69.5 (173)	20.5 (51)	4.0 (10)	6.0 (15)
【性別の選択なし】 n=10	80.0 (8)	20.0 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)
女性【18～19歳】 n=15	53.3 (8)	33.3 (5)	0.0 (0)	13.3 (2)
【20～29歳】 n=29	69.0 (20)	10.3 (3)	6.9 (2)	13.8 (4)
【30～39歳】 n=44	90.9 (40)	6.8 (3)	0.0 (0)	2.3 (1)
【40～49歳】 n=53	84.9 (45)	9.4 (5)	3.8 (2)	1.9 (1)
【50～59歳】 n=63	93.7 (59)	4.8 (3)	1.6 (1)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=87	79.3 (69)	16.1 (14)	1.1 (1)	3.4 (3)
【70歳以上】 n=97	70.1 (68)	11.3 (11)	4.1 (4)	14.4 (14)
男性【18～19歳】 n=14	64.3 (9)	28.6 (4)	0.0 (0)	7.1 (1)
【20～29歳】 n=16	62.5 (10)	25.0 (4)	12.5 (2)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=28	67.9 (19)	28.6 (8)	3.6 (1)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=33	84.8 (28)	12.1 (4)	3.0 (1)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=33	81.8 (27)	15.2 (5)	3.0 (1)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=57	75.4 (43)	15.8 (9)	3.5 (2)	5.3 (3)
【70歳以上】 n=64	56.3 (36)	23.4 (15)	4.7 (3)	15.6 (10)
性別の選択なし 【20～29歳】 n=1	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=1	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=2	100.0 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=3	66.7 (2)	33.3 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=1	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【70歳以上】 n=1	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)

※（６）交友関係やメールなどを細かく監視する

	た る V に あ	い も ど い ち え ら な と	た D ら V に あ	無 回 答
【全体】 N=658	67.9 (447)	22.0 (145)	3.8 (25)	6.2 (41)
【女性】 n=394	71.3 (281)	19.5 (77)	3.0 (12)	6.1 (24)
【男性】 n=249	63.9 (159)	25.3 (63)	5.2 (13)	5.6 (14)
【性別の選択なし】 n=10	60.0 (6)	40.0 (4)	0.0 (0)	0.0 (0)
女性【18～19歳】 n=15	86.7 (13)	6.7 (1)	6.7 (1)	0.0 (0)
【20～29歳】 n=29	58.6 (17)	24.1 (7)	6.9 (2)	10.3 (3)
【30～39歳】 n=44	77.3 (34)	15.9 (7)	4.5 (2)	2.3 (1)
【40～49歳】 n=53	77.4 (41)	22.6 (12)	0.0 (0)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=63	71.4 (45)	27.0 (17)	1.6 (1)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=87	80.5 (70)	14.9 (13)	0.0 (0)	4.6 (4)
【70歳以上】 n=97	58.8 (57)	18.6 (18)	6.2 (6)	16.5 (16)
男性【18～19歳】 n=14	57.1 (8)	35.7 (5)	0.0 (0)	7.1 (1)
【20～29歳】 n=16	62.5 (10)	18.8 (3)	18.8 (3)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=28	71.4 (20)	21.4 (6)	3.6 (1)	3.6 (1)
【40～49歳】 n=33	69.7 (23)	24.2 (8)	6.1 (2)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=33	51.5 (17)	42.4 (14)	6.1 (2)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=57	71.9 (41)	17.5 (10)	7.0 (4)	3.5 (2)
【70歳以上】 n=64	60.9 (39)	23.4 (15)	1.6 (1)	14.1 (9)
性別の選択なし 【20～29歳】 n=1	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=1	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=2	50.0 (1)	50.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=3	66.7 (2)	33.3 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=1	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【70歳以上】 n=1	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)

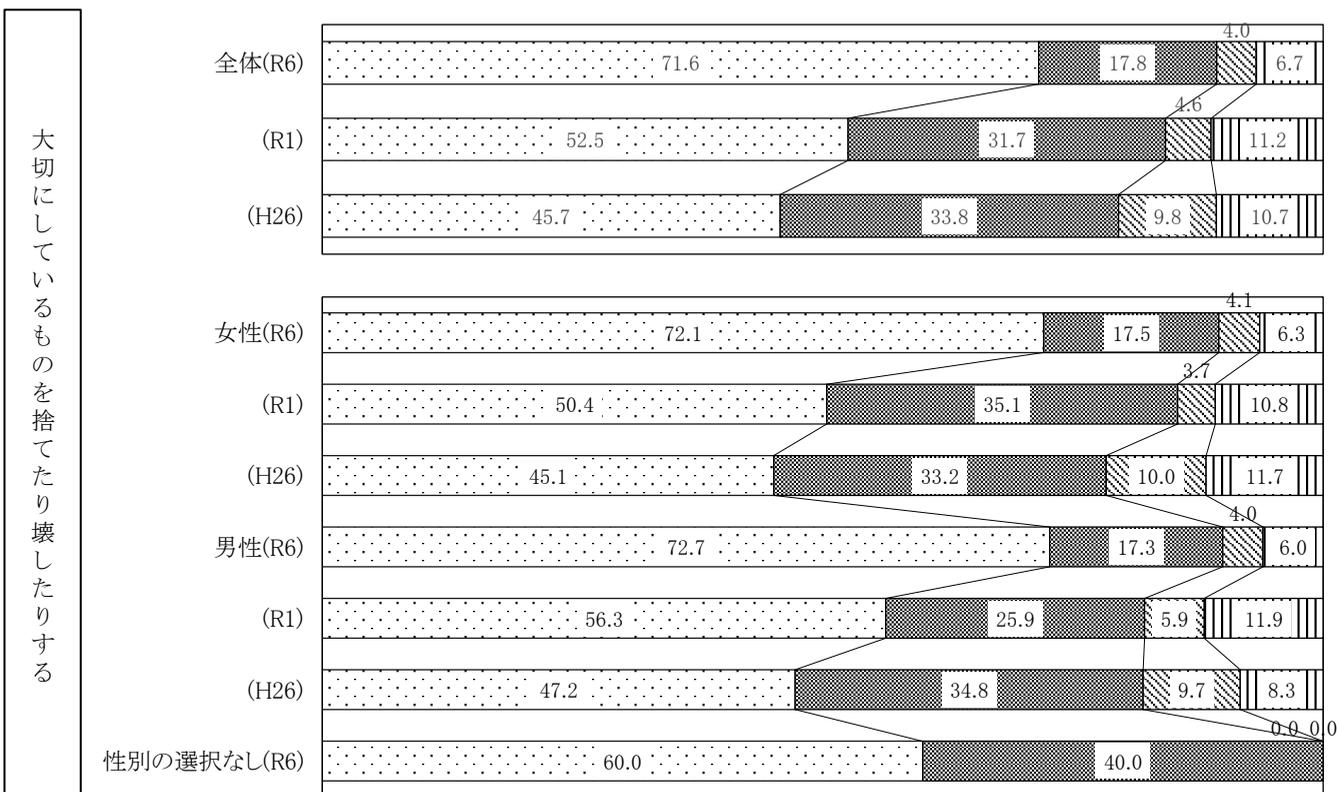
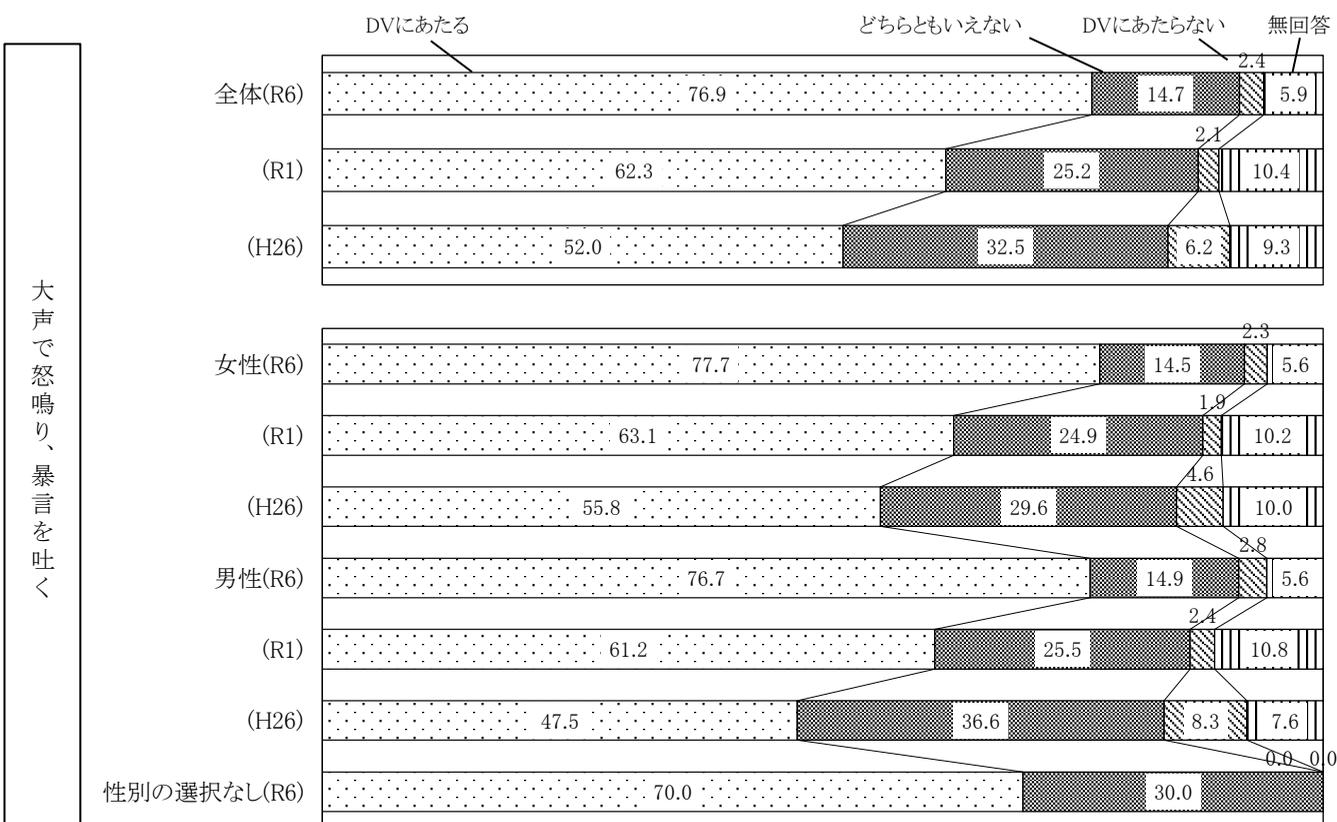
※（7）社会活動や仕事をするのを嫌がる（させない）

	た D る V にあ	いもど いち えら など	た D ら V ない にあ	無 回 答
【全体】 N=658	61.1 (402)	27.2 (179)	5.0 (33)	6.7 (44)
【女性】 n=394	63.7 (251)	26.1 (103)	3.8 (15)	6.3 (25)
【男性】 n=249	58.2 (145)	28.1 (70)	7.2 (18)	6.4 (16)
【性別の選択なし】 n=10	50.0 (5)	50.0 (5)	0.0 (0)	0.0 (0)
女性【18～19歳】 n=15	93.3 (14)	6.7 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【20～29歳】 n=29	62.1 (18)	17.2 (5)	6.9 (2)	13.8 (4)
【30～39歳】 n=44	86.4 (38)	9.1 (4)	2.3 (1)	2.3 (1)
【40～49歳】 n=53	73.6 (39)	26.4 (14)	0.0 (0)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=63	63.5 (40)	30.2 (19)	6.3 (4)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=87	66.7 (58)	24.1 (21)	4.6 (4)	4.6 (4)
【70歳以上】 n=97	43.3 (42)	36.1 (35)	4.1 (4)	16.5 (16)
男性【18～19歳】 n=14	42.9 (6)	42.9 (6)	0.0 (0)	14.3 (2)
【20～29歳】 n=16	81.3 (13)	18.8 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=28	50.0 (14)	42.9 (12)	3.6 (1)	3.6 (1)
【40～49歳】 n=33	90.9 (30)	9.1 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=33	48.5 (16)	42.4 (14)	9.1 (3)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=57	63.2 (36)	21.1 (12)	12.3 (7)	3.5 (2)
【70歳以上】 n=64	45.3 (29)	29.7 (19)	9.4 (6)	15.6 (10)
性別の選択なし 【20～29歳】 n=1	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=1	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=2	50.0 (1)	50.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=3	33.3 (1)	66.7 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=1	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【70歳以上】 n=1	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)

男女の人権について

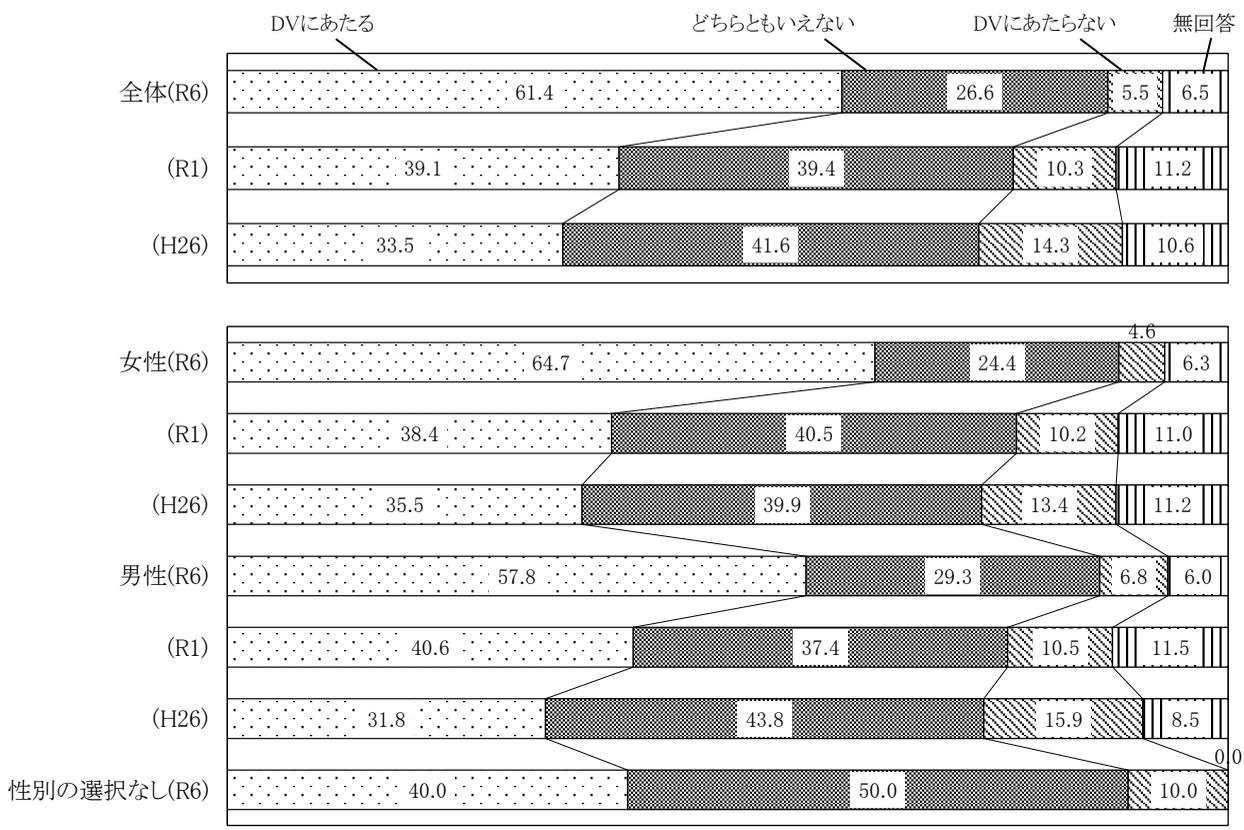
問18

配偶者等や交際相手から受ける暴力をDV（ドメスティック・バイオレンス）といいます。1～7のようなことが行われた場合、それをDVだと思いますか（それぞれ一つずつ）。

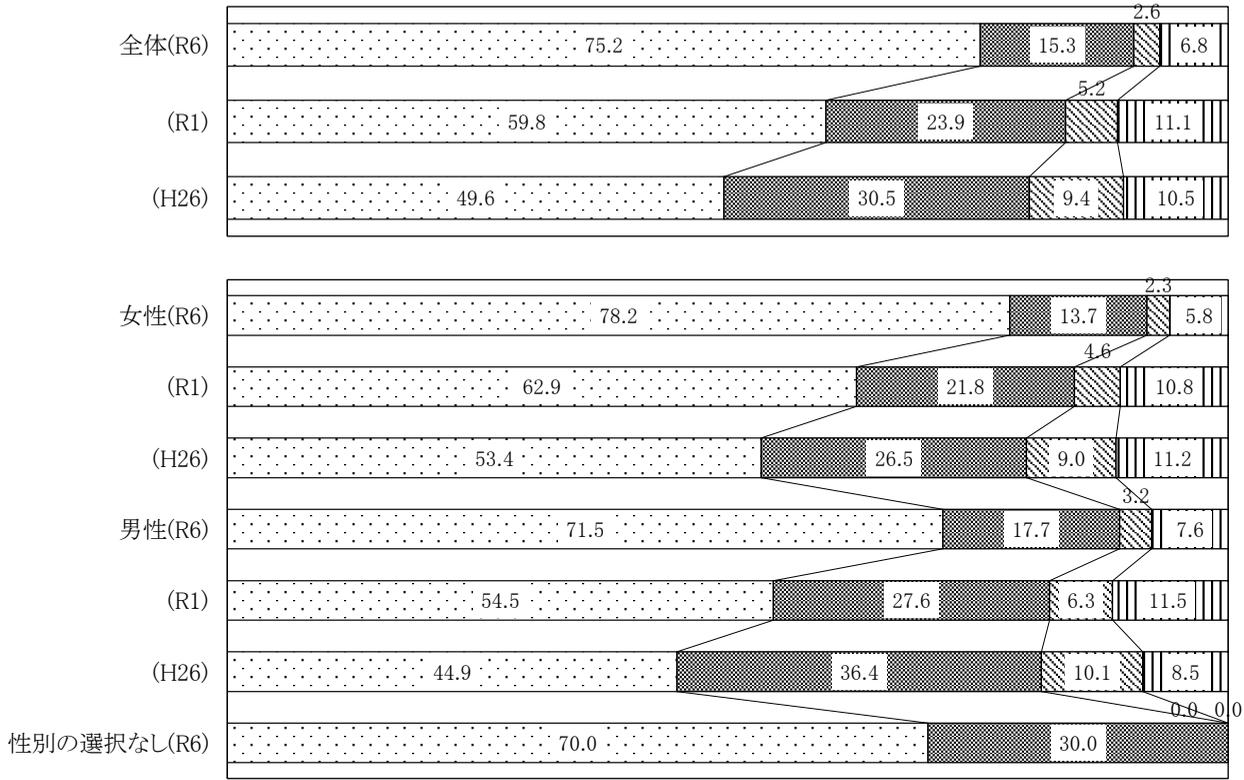


全体 R6 (N=658)	女性 R6 (n=394)	男性 R6 (n=249)	性別の選択なし R6 (n=10)
R1 (N=769)	R1 (n=482)	R1 (n=286)	
H26 (N=1032)	H26 (n=581)	H26 (n=434)	

何を言っても無視をして口をきかない

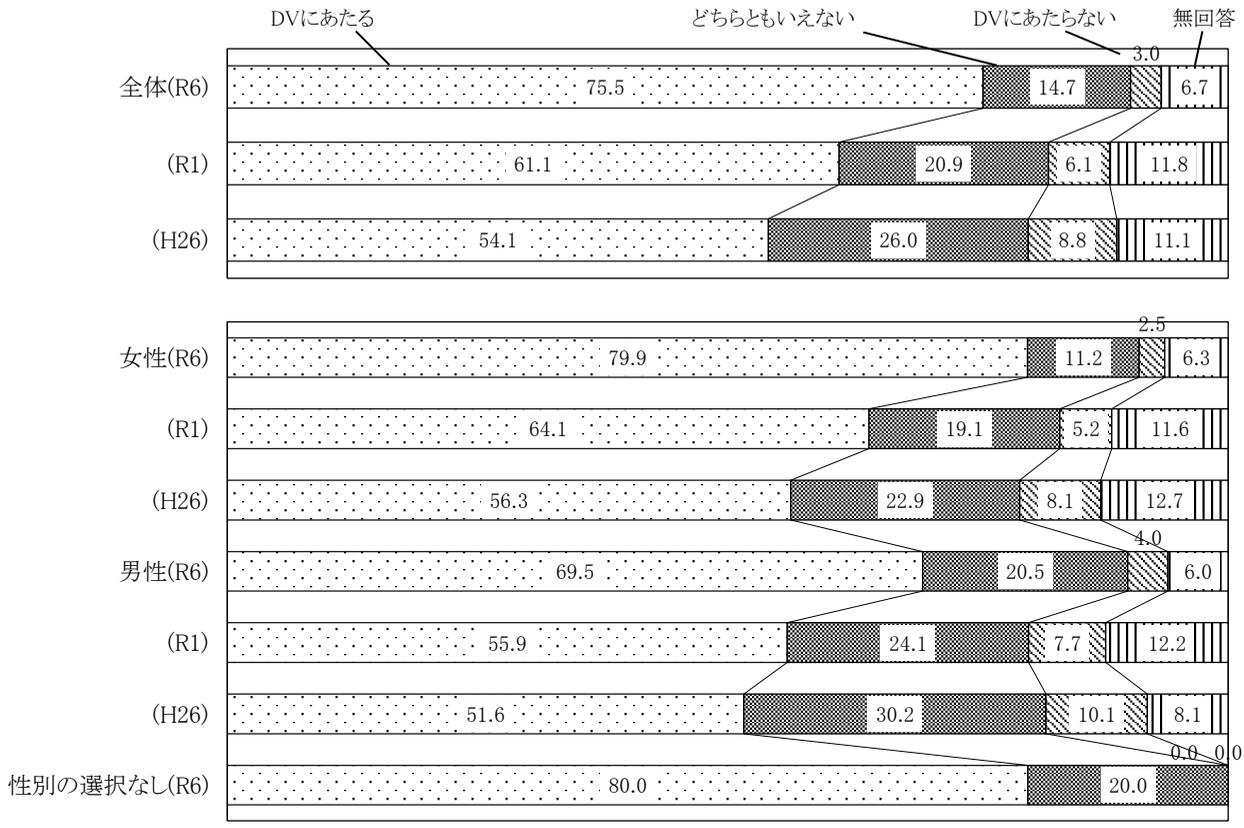


誰のおかげで食べられているのか」と言う

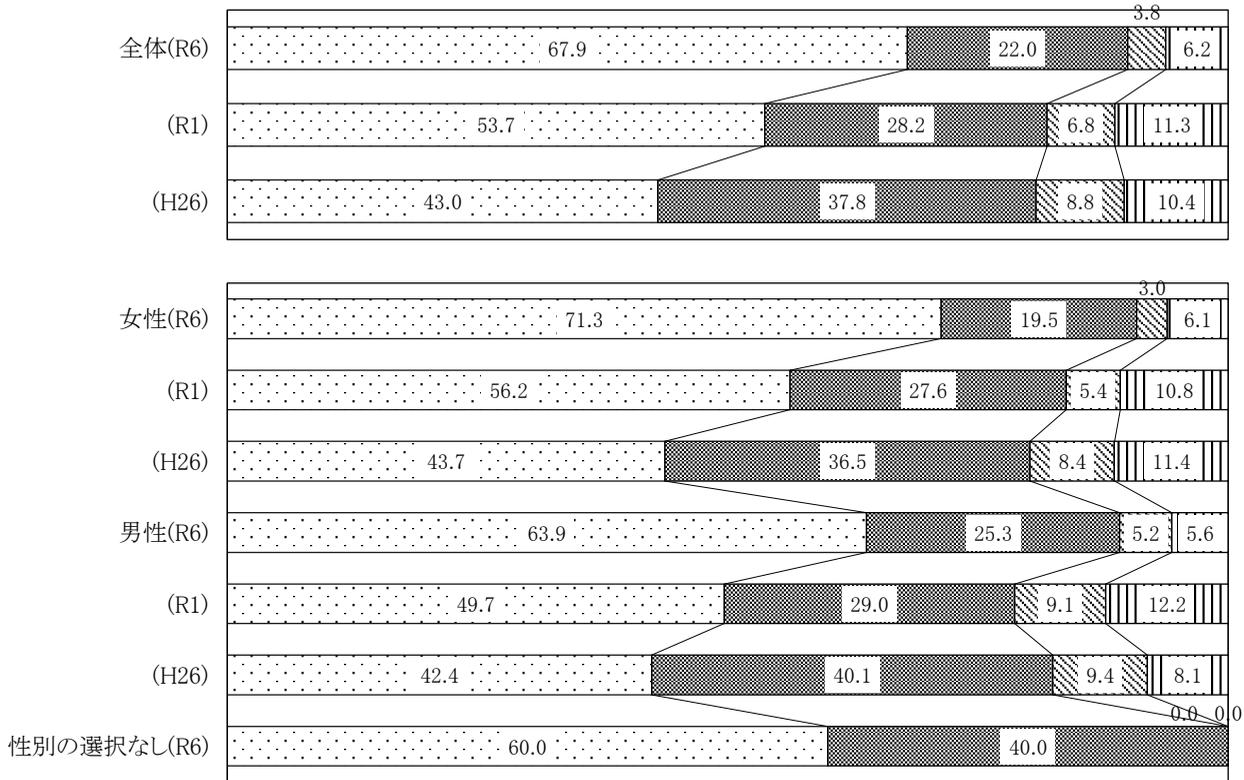


全体 R6 (N=658)	女性 R6 (n=394)	男性 R6 (n=249)	性別の選択なし R6 (n=10)
R1 (N=769)	R1 (n=482)	R1 (n=286)	
H26 (N=1032)	H26 (n=581)	H26 (n=434)	

生活費を渡さない

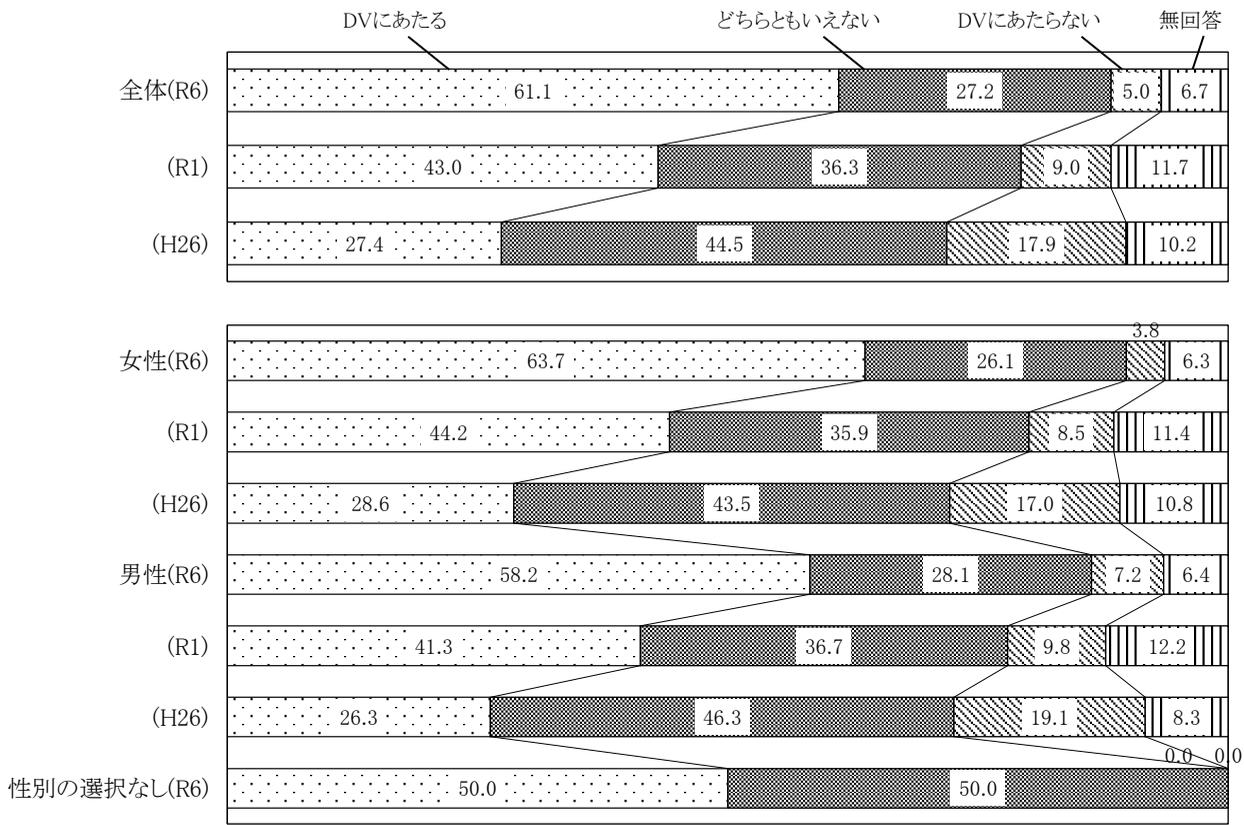


交友関係やメールなどを細かく監視する



全体 R6 (N=658)	女性 R6 (n=394)	男性 R6 (n=249)	性別の選択なし R6 (n=10)
R1 (N=769)	R1 (n=482)	R1 (n=286)	
H26 (N=1032)	H26 (n=581)	H26 (n=434)	

社会活動や仕事をすることを嫌がる(させない)

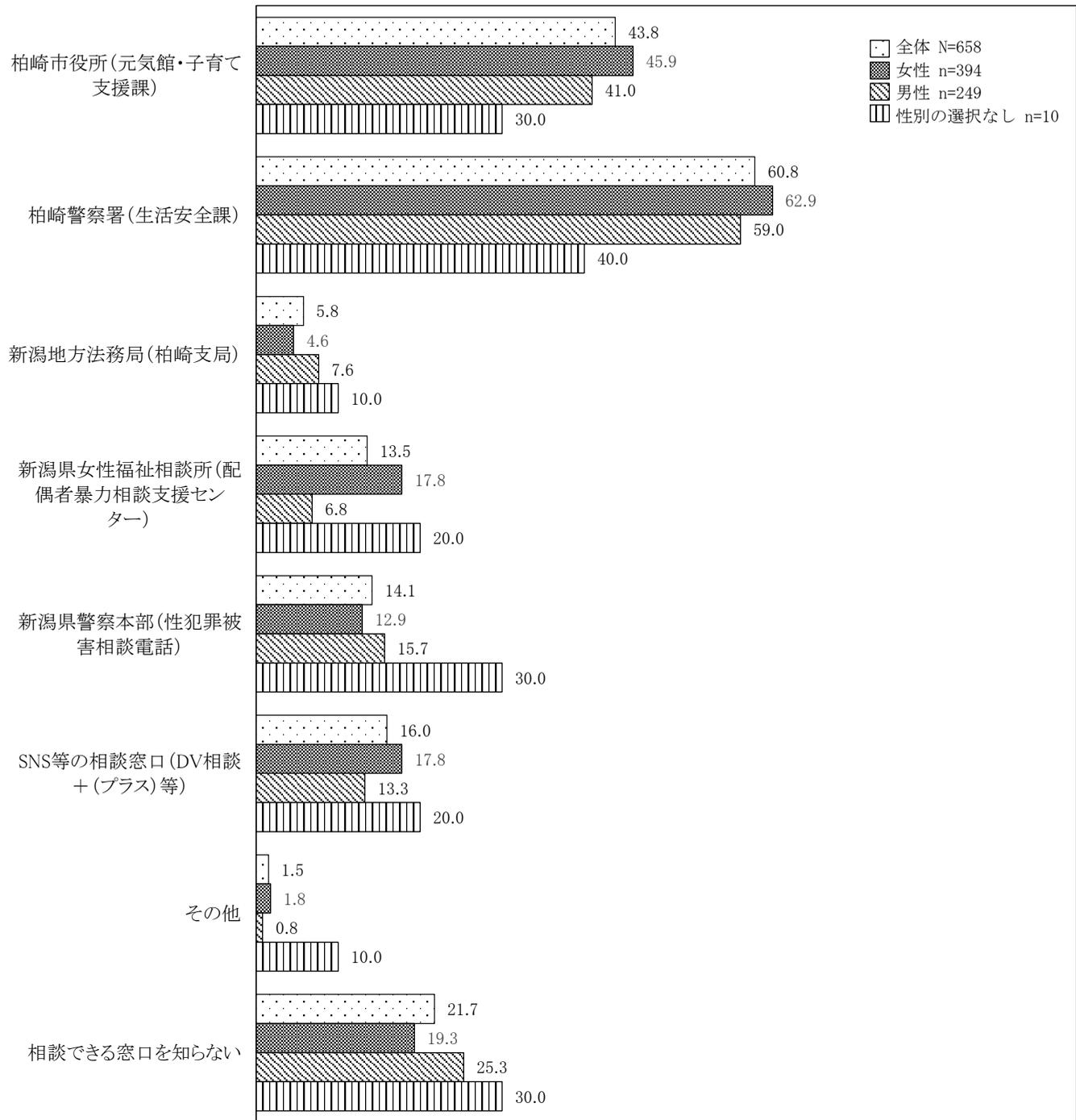


全体 R6 (N=658)	女性 R6 (n=394)	男性 R6 (n=249)	性別の選択なし R6 (n=10)
R1 (N=769)	R1 (n=482)	R1 (n=286)	
H26 (N=1032)	H26 (n=581)	H26 (n=434)	

□ 男女の人権について

問 1 9

あなたは、配偶者等や交際相手からの暴力について、相談できる窓口としてどのようなところを知っていますか（あてはまるもの全て）。



【全体】

相談先の認知についてみると、男女ともに「柏崎警察署（生活安全課）」（女性62.9%、男性59.0%）が最も多く、次いで「柏崎市役所（元気館・子育て支援課）」（女性45.9%、男性41.0%）となっている。「相談窓口を知らない」は女性19.3%、男性25.3%となっている。

【性別・年代別】

女性の10代のみ「家族・友人等」が最も多く、男女のその他全ての年代は「職場の人事担当部署」が最も多くなっている。

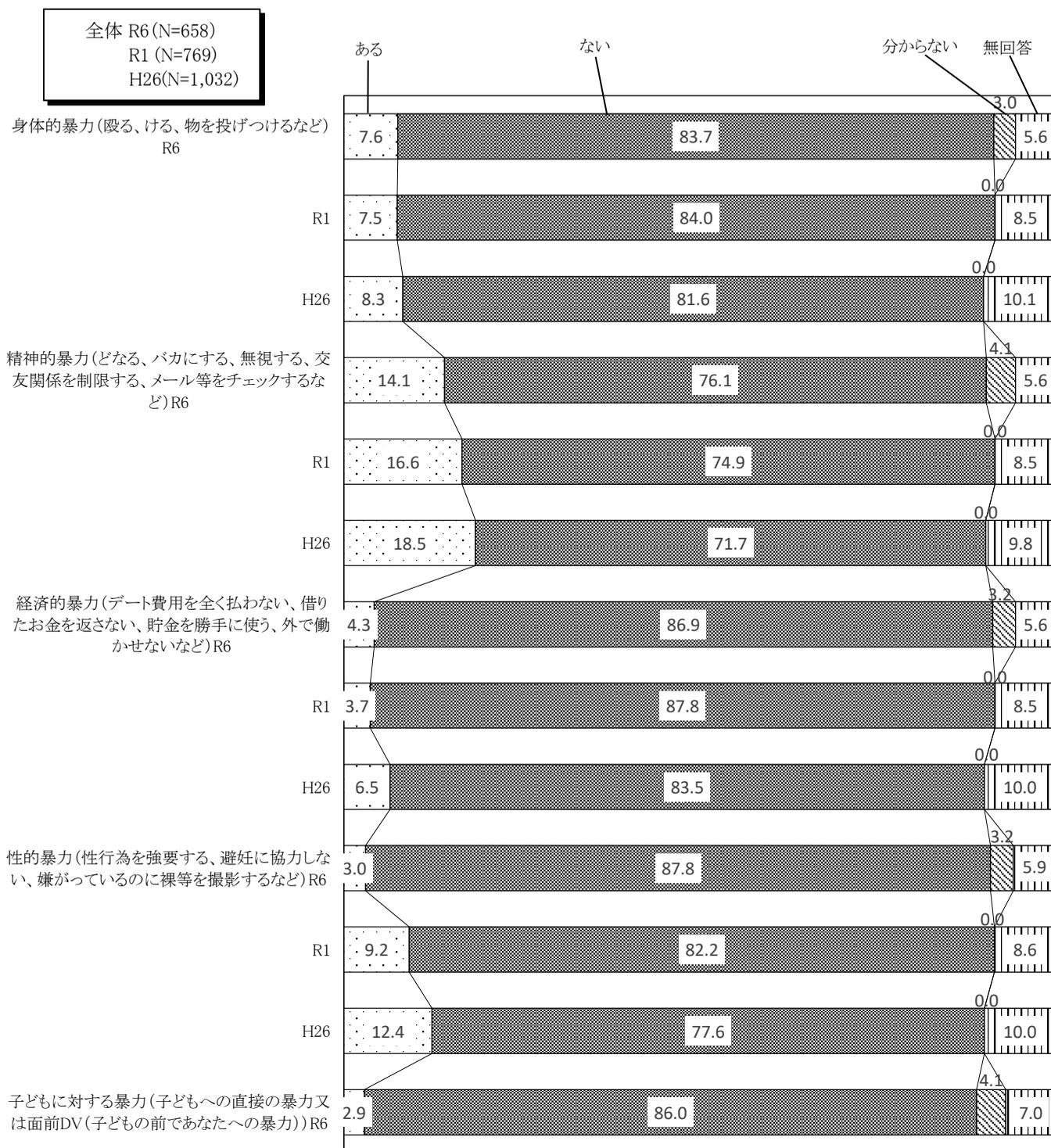
※問19 項目集計表(性・年代別) [構成比(%)／人数(人)]

	職場の上 司・同僚	職場の 人事担 当部署	職場の 相談窓 口	社務所、 新潟県 女性福 祉相談 所等)	公的相 談窓口 (警察 署、地 方福 崎)	市役所 、新 潟県 女性 福祉 相談 所等)	法的相 談窓 口 (N S等 の相 談窓 口 ス 等)	S N S 等 の 相 談 窓 口 (D V 相 談 + プ ラ ラ)	家族 ・友 人等	その他	相談 しな かつ た	無回 答
【全体】 N=658	43.8 (288)	60.8 (400)	5.8 (38)	13.5 (89)	14.1 (93)	16.0 (105)	1.5 (10)	21.7 (143)	39.4 (259)			
【女性】 n=394	45.9 (181)	62.9 (248)	4.6 (18)	17.8 (70)	12.9 (51)	17.8 (70)	1.8 (7)	19.3 (76)	38.1 (150)			
【男性】 n=249	41.0 (102)	59.0 (147)	7.6 (19)	6.8 (17)	15.7 (39)	13.3 (33)	0.8 (2)	25.3 (63)	41.4 (103)			
【性別の選択なし】 n=10	30.0 (3)	40.0 (4)	10.0 (1)	20.0 (2)	30.0 (3)	20.0 (2)	10.0 (1)	30.0 (3)	30.0 (3)			
女性【18～19歳】 n=15	46.7 (7)	26.7 (4)	0.0 (0)	6.7 (1)	13.3 (2)	53.3 (8)	0.0 (0)	26.7 (4)	20.0 (3)			
【20～29歳】 n=29	55.2 (16)	48.3 (14)	10.3 (3)	13.8 (4)	13.8 (4)	48.3 (14)	0.0 (0)	13.8 (4)	20.7 (6)			
【30～39歳】 n=44	50.0 (22)	68.2 (30)	9.1 (4)	22.7 (10)	9.1 (4)	27.3 (12)	0.0 (0)	22.7 (10)	22.7 (10)			
【40～49歳】 n=53	49.1 (26)	69.8 (37)	1.9 (1)	22.6 (12)	22.6 (12)	18.9 (10)	1.9 (1)	18.9 (10)	30.2 (16)			
【50～59歳】 n=63	49.2 (31)	65.1 (41)	4.8 (3)	22.2 (14)	9.5 (6)	28.6 (18)	1.6 (1)	12.7 (8)	33.3 (21)			
【60～69歳】 n=87	48.3 (42)	69.0 (60)	3.4 (3)	16.1 (14)	12.6 (11)	2.3 (2)	1.1 (1)	18.4 (16)	46.0 (40)			
【70歳以上】 n=97	35.1 (34)	60.8 (59)	4.1 (4)	14.4 (14)	10.3 (10)	5.2 (5)	3.1 (3)	23.7 (23)	53.6 (52)			
男性【18～19歳】 n=14	21.4 (3)	35.7 (5)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	14.3 (2)	0.0 (0)	35.7 (5)	42.9 (6)			
【20～29歳】 n=16	43.8 (7)	75.0 (12)	18.8 (3)	6.3 (1)	18.8 (3)	25.0 (4)	0.0 (0)	18.8 (3)	6.3 (1)			
【30～39歳】 n=28	28.6 (8)	46.4 (13)	0.0 (0)	0.0 (0)	3.6 (1)	17.9 (5)	0.0 (0)	42.9 (12)	35.7 (10)			
【40～49歳】 n=33	42.4 (14)	54.5 (18)	3.0 (1)	6.1 (2)	21.2 (7)	18.2 (6)	6.1 (2)	24.2 (8)	24.2 (8)			
【50～59歳】 n=33	48.5 (16)	66.7 (22)	9.1 (3)	0.0 (0)	12.1 (4)	15.2 (5)	0.0 (0)	21.2 (7)	33.3 (11)			
【60～69歳】 n=57	47.4 (27)	70.2 (40)	8.8 (5)	10.5 (6)	24.6 (14)	15.8 (9)	0.0 (0)	19.3 (11)	45.6 (26)			
【70歳以上】 n=64	40.6 (26)	54.7 (35)	10.9 (7)	12.5 (8)	14.1 (9)	3.1 (2)	0.0 (0)	25.0 (16)	59.4 (38)			
性別の選択なし 【20～29歳】 n=1	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	100.0 (1)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)			
【30～39歳】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)			
【40～49歳】 n=2	50.0 (1)	50.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	50.0 (1)	50.0 (1)			
【50～59歳】 n=3	66.7 (2)	66.7 (2)	33.3 (1)	0.0 (0)	33.3 (1)	66.7 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	33.3 (1)			
【60～69歳】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	100.0 (1)			
【70歳以上】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)			

□ 男女の人権について

問 2 0

あなたはこれまでに、配偶者等や交際相手などから1～5のような暴力（DV）を受けたことがありますか。それぞれの項目について、あてはまるものを選んでください（それぞれ一つずつ）。



【全体】

全てのグループにおいて、「ない」との回答が大多数であるが、「精神的暴力（どなる、バカにする、無視する、交友関係を制限する、メール等をチェックするなど）」のみ、「ある」（14.1%）が他より高くなっている。

【性別・年代別】

全ての項目において、男女ともに全ての年代で「ない」が多くなっているが、男性の10代において、他の年代と比較し、「分からない」「無回答」の割合が多くなっている。

【経年比較】

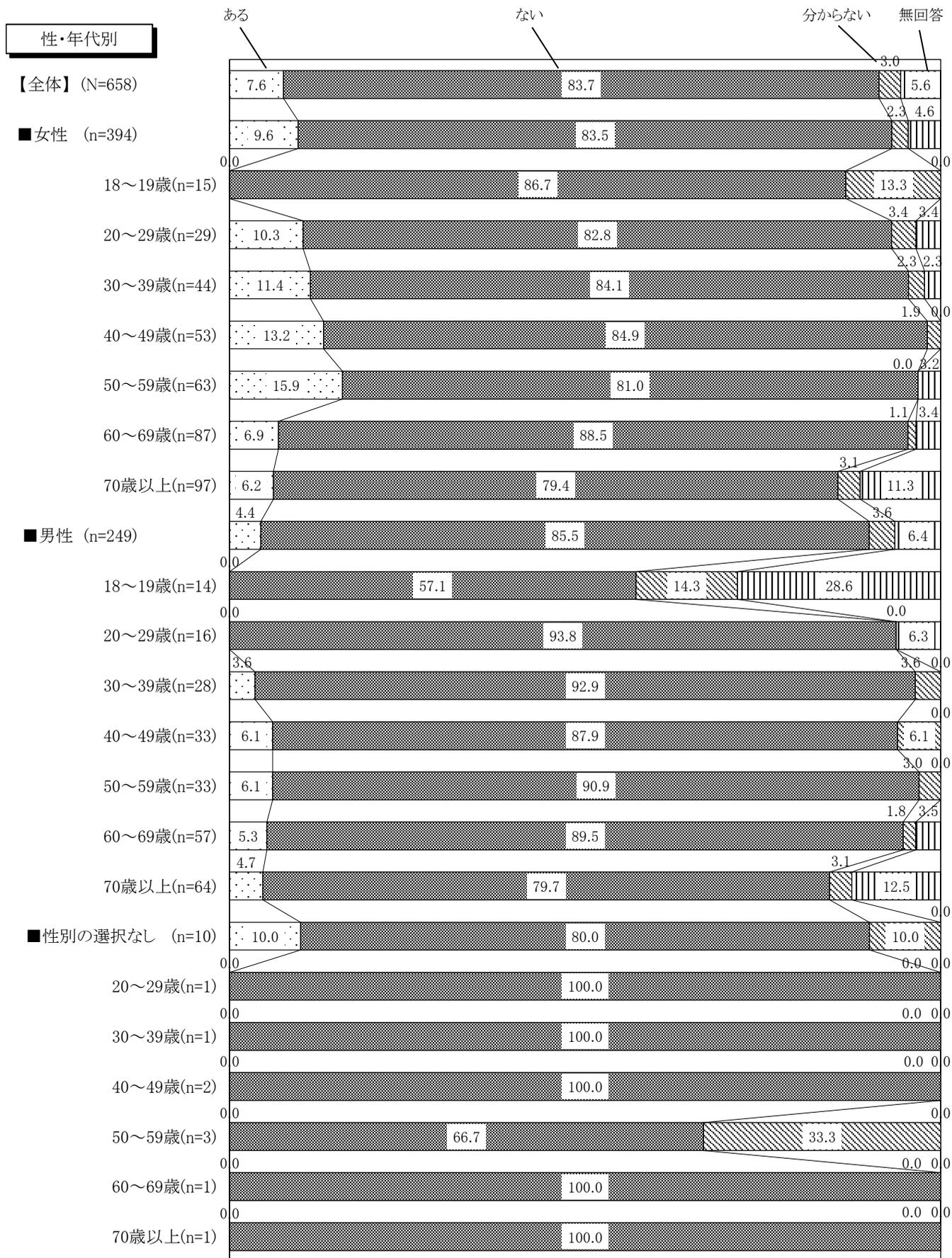
DV被害の有無については、どのグループにおいても大きな変化はみられない。性別では唯一、男女ともに「性的暴力」が減少（R1=9.2%、R6=3.0%）しているが、その他では女性が増加、男性が減少となっており、DVに対する捉え方に差異が見受けられる。

□ 男女の人権について

問 2 0

あなたはこれまでに、配偶者等や交際相手などから1～5のような暴力（DV）を受けたことがありますか。それぞれの項目について、あてはまるものを選んでください（それぞれ一つずつ）。

1 身体的暴力（殴る、ける、物を投げつけるなど）

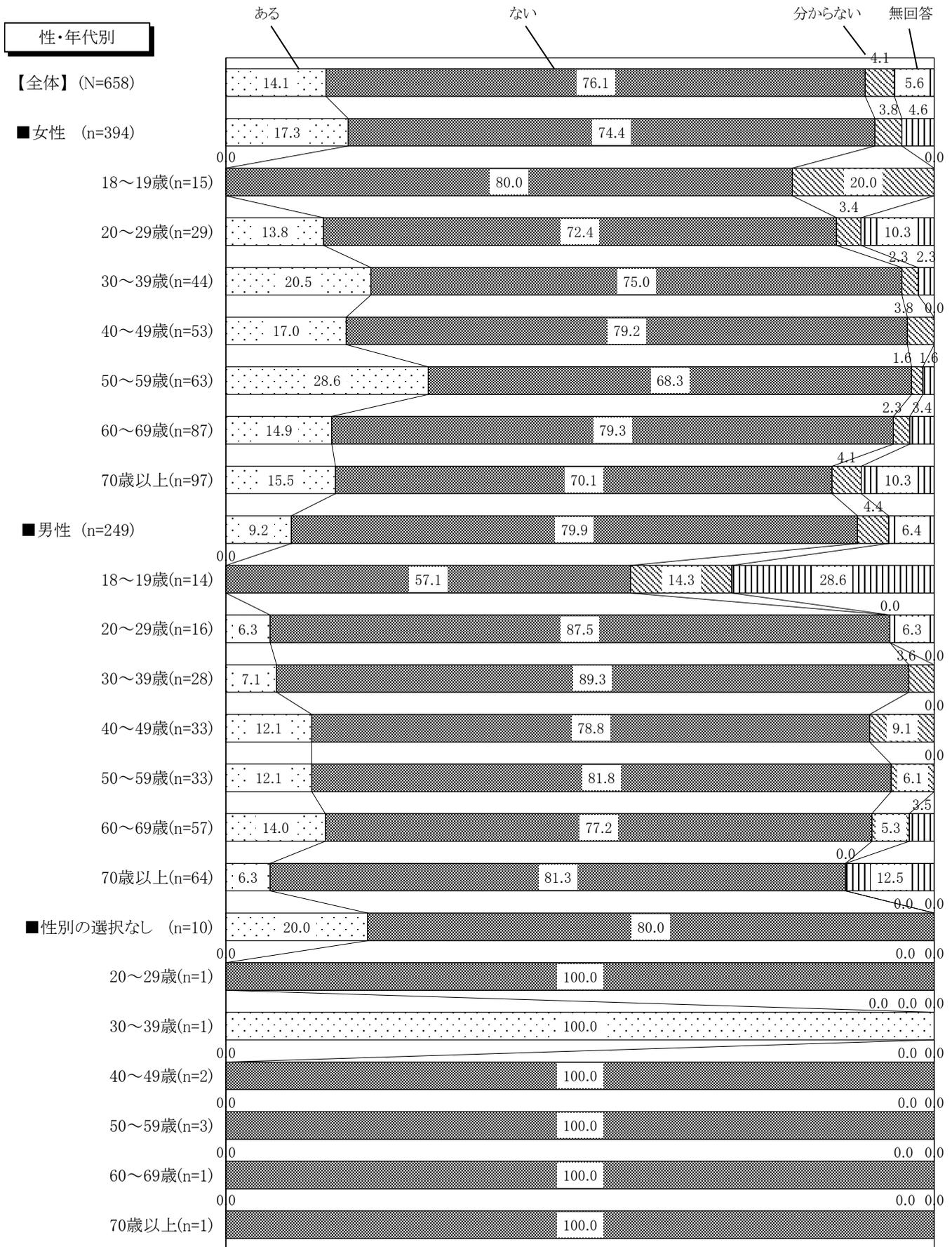


□ 男女の人権について

問 2 0

あなたはこれまでに、配偶者等や交際相手などから1～5のような暴力（DV）を受けたことがありますか。それぞれの項目について、あてはまるものを選んでください（それぞれ一つずつ）。

2 精神的暴力(どなる、バカにする、無視する、交友関係を制限する、メール等をチェックするなど)

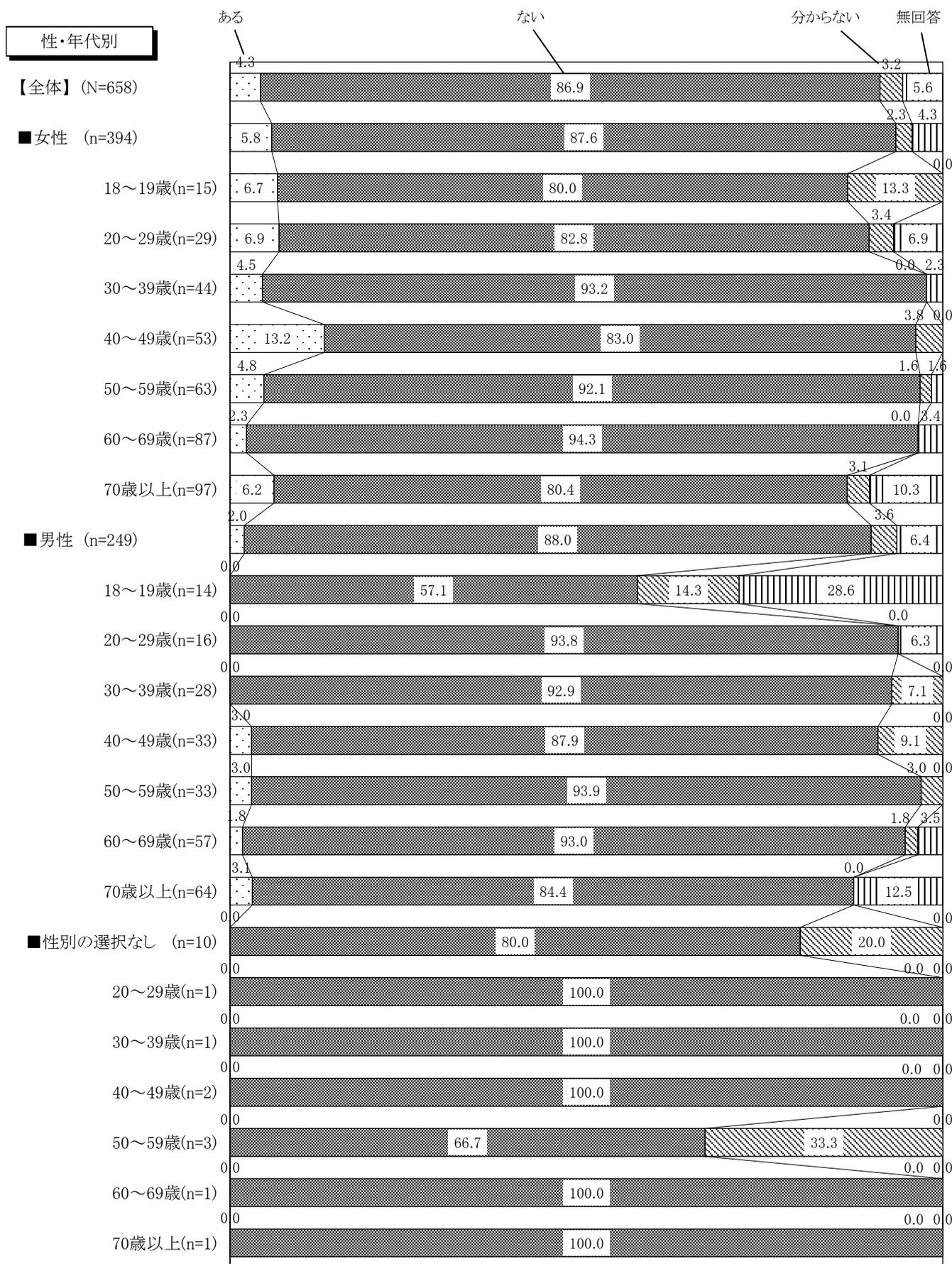


□ 男女の人権について

問 2 0

あなたはこれまでに、配偶者等や交際相手などから1～5のような暴力（DV）を受けたことがありますか。それぞれの項目について、あてはまるものを選んでください（それぞれ一つずつ）。

3 経済的暴力（デート費用を全く払わない、借りたお金を返さない、貯金を勝手に使う、外で働かせないなど）

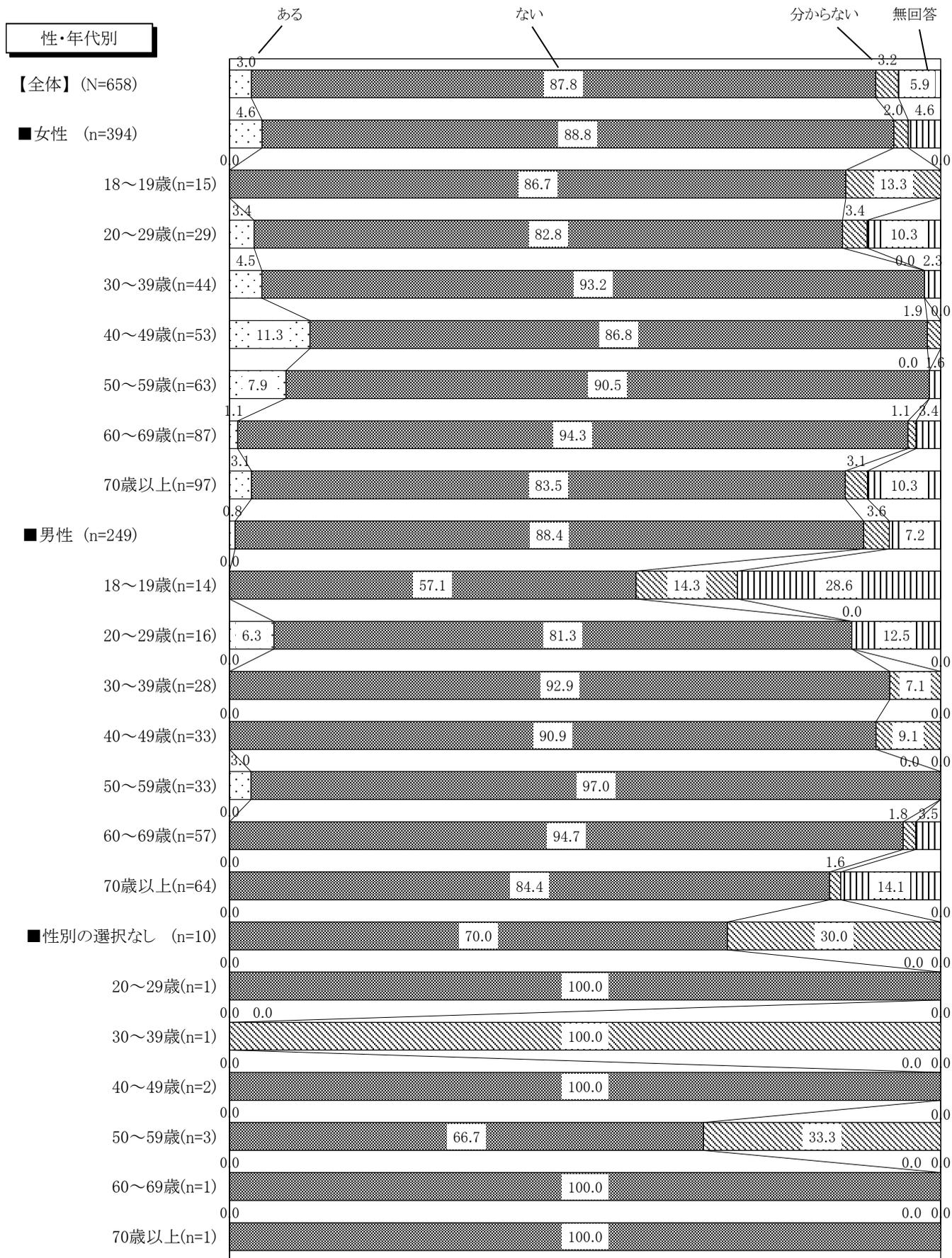


□ 男女の人権について

問 2 0

あなたはこれまでに、配偶者等や交際相手などから1～5のような暴力（DV）を受けたことがありますか。それぞれの項目について、あてはまるものを選んでください（それぞれ一つずつ）。

4 性的暴力(性行為を強要する、避妊に協力しない、嫌がっているのに裸等を撮影するなど)

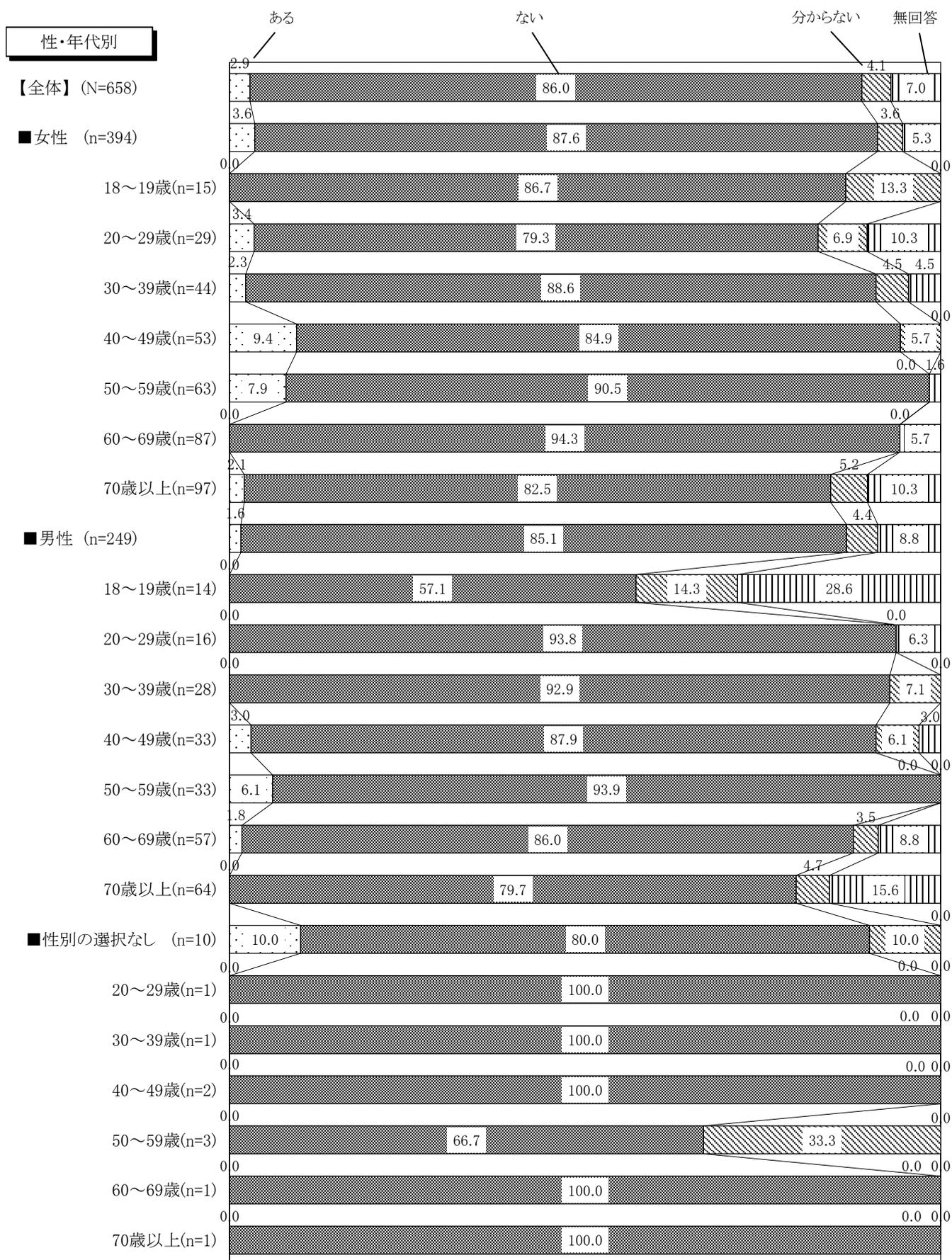


□ 男女の人権について

問 2 0

あなたはこれまでに、配偶者等や交際相手などから1～5のような暴力（DV）を受けたことがありますか。それぞれの項目について、あてはまるものを選んでください（それぞれ一つずつ）。

5 子どもに対する暴力（子どもへの直接の暴力又は面前DV（子どもの前であなたへの暴力））



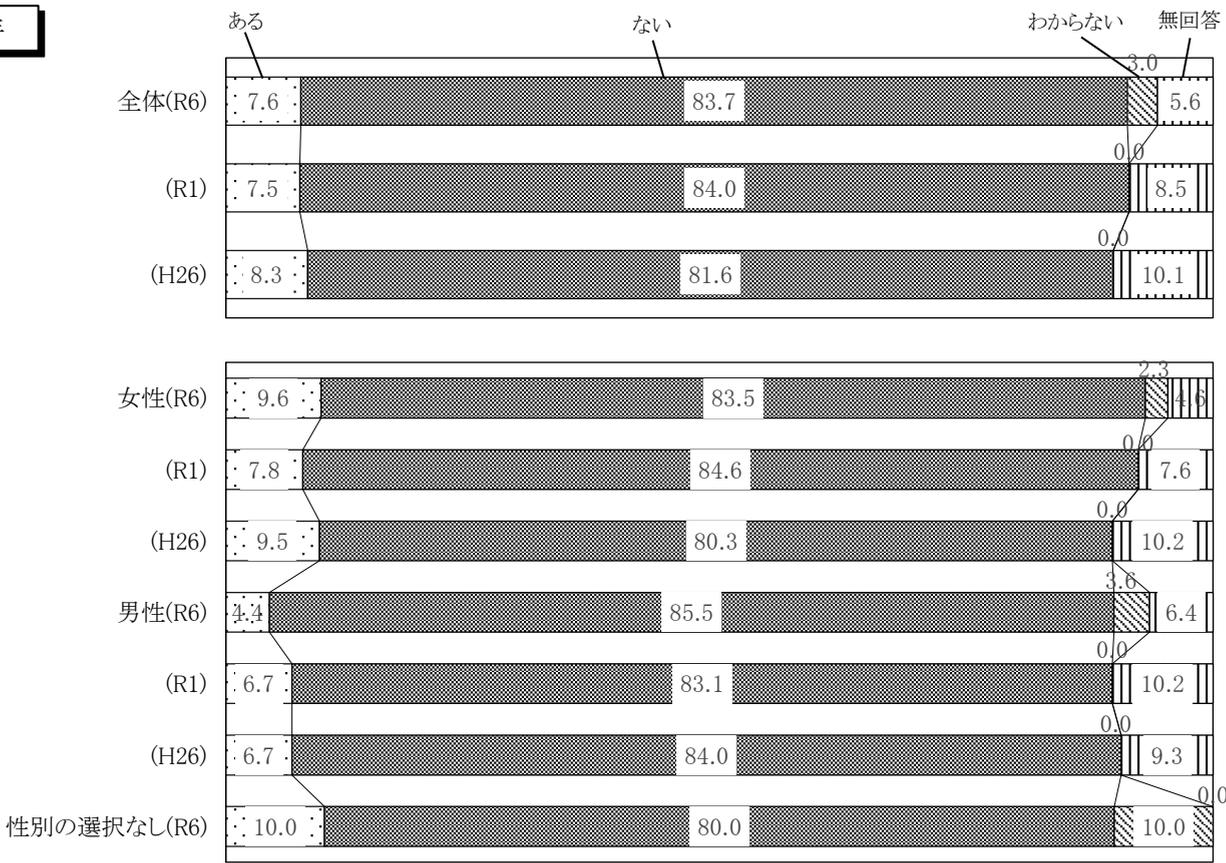
□ 男女の人権について

問 2 0

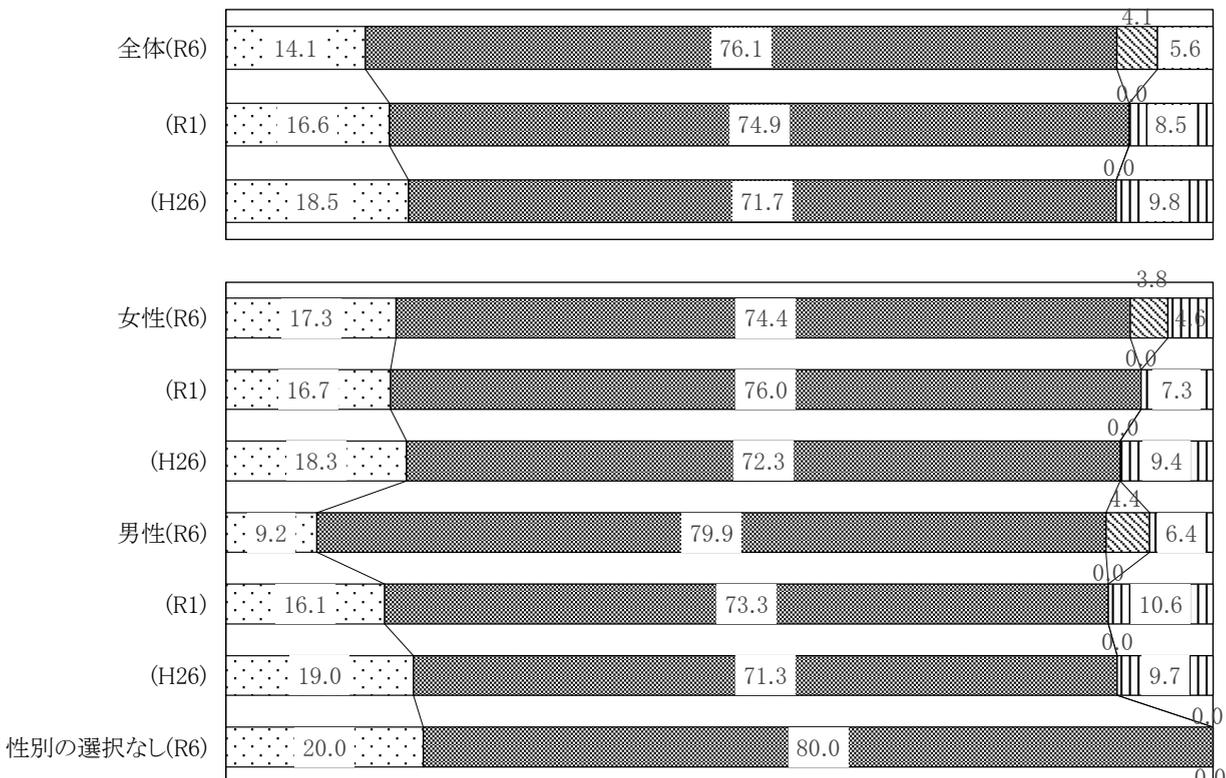
あなたはこれまでに、配偶者等や交際相手などから1～5のような暴力(DV)を受けたことがありますか。それぞれの項目について、あてはまるものを選んでください(それぞれ一つずつ)。

性別経年

身体的暴力(殴る、ける、物を投げつけるなど)

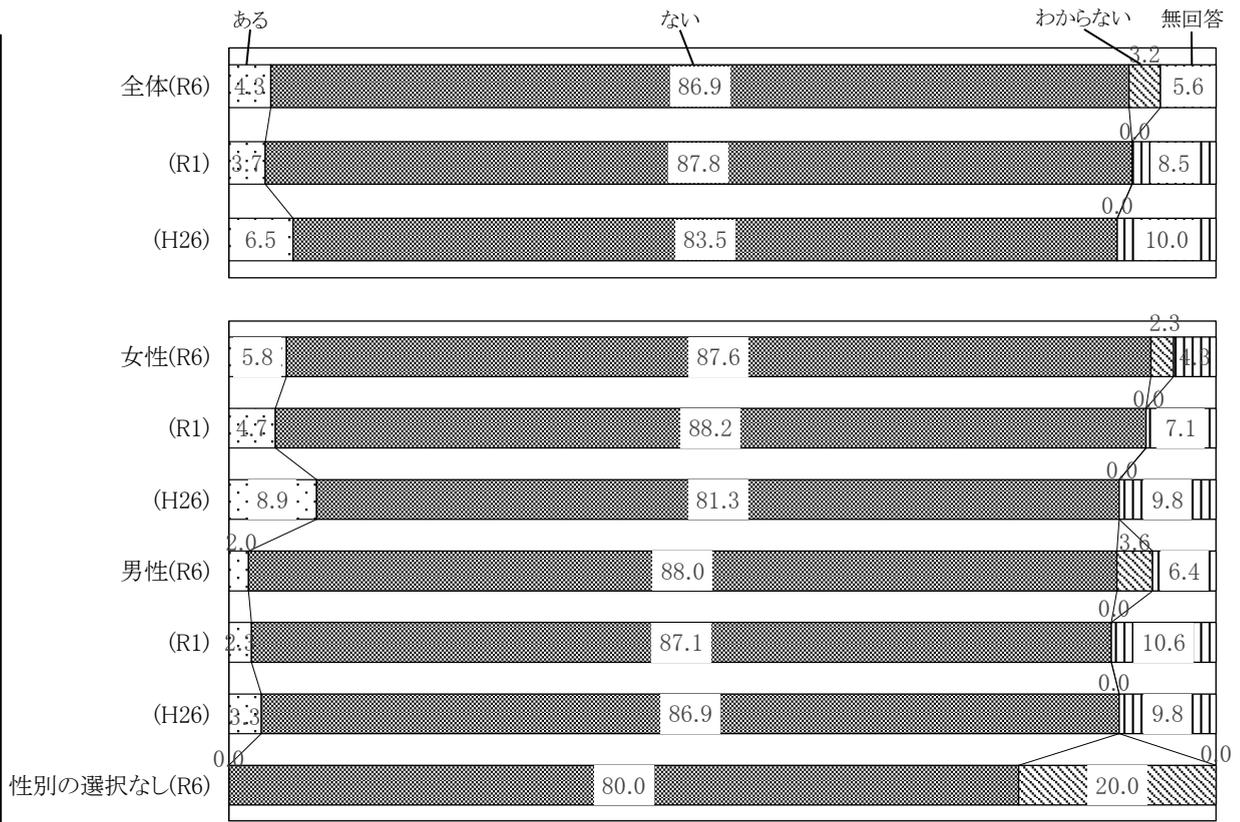


精神的暴力(どなる、バカにする、無視する、交友関係を制限する、メール等をチェックするなど)

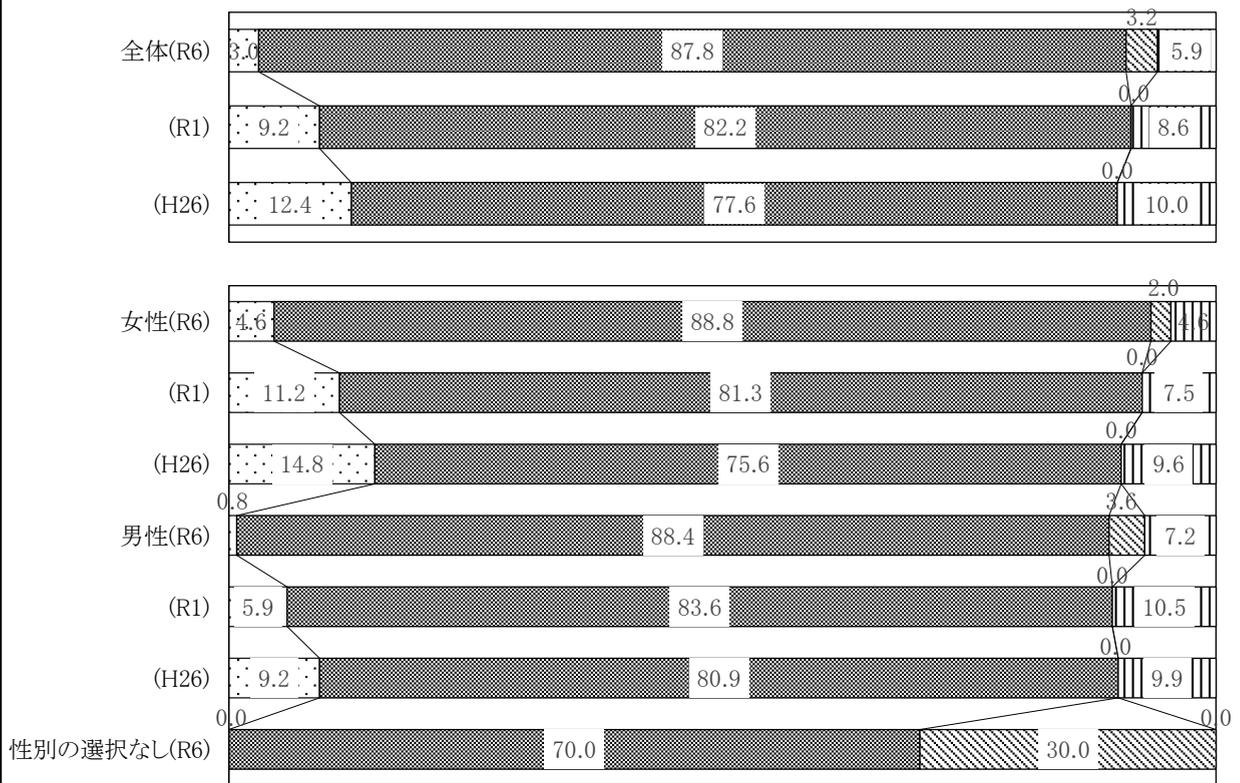


全体 R6 (N=658)	女性 R6 (n=394)	男性 R6 (n=349)	性別の選択なし R6 (n=10)
R1 (N=769)	R1 (n=482)	R1 (n=286)	
H26 (N=1032)	H26 (n=581)	H26 (n=434)	

経済的暴力(デート費用を全く払わない、借りたお金を返さない、)

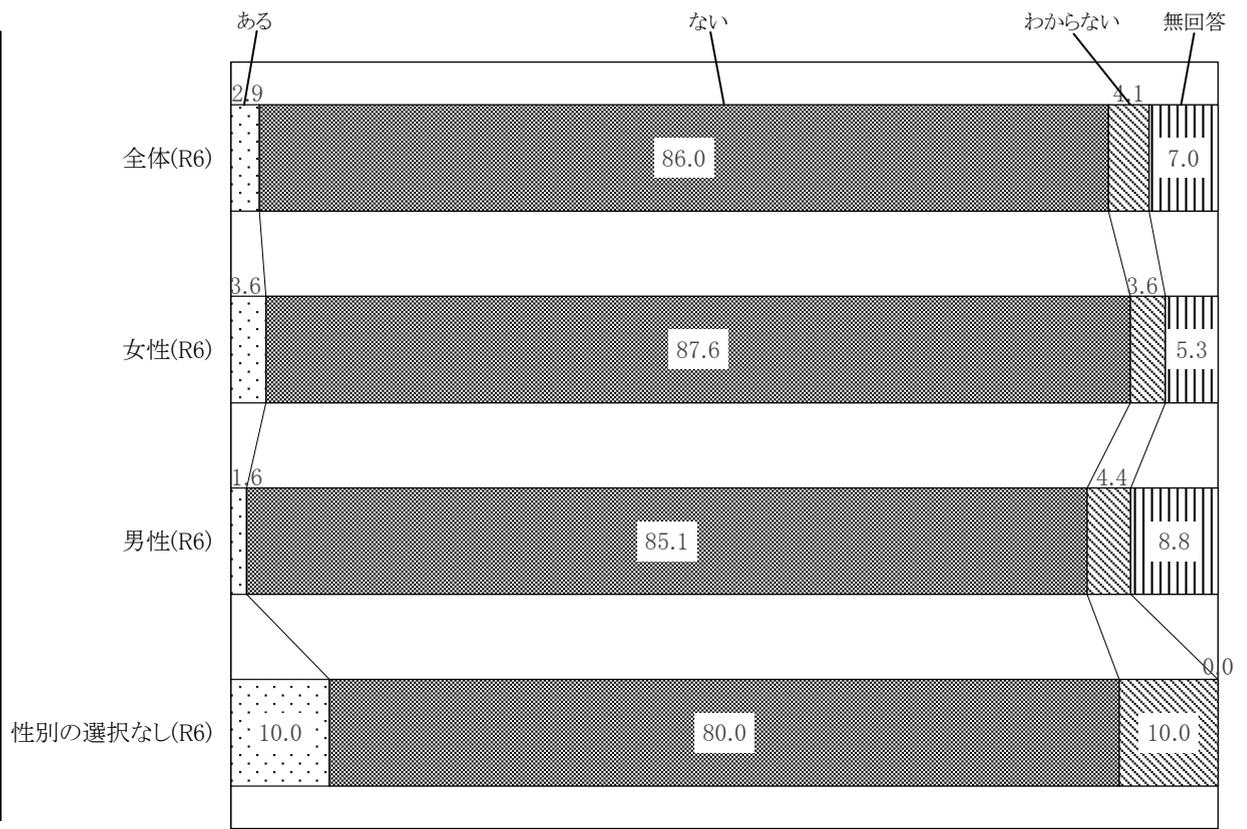


性的暴力(性行為を強要する、避妊に協力しない、嫌がっているのに裸等を撮影するなど)



全体 R6 (N=658)	女性 R6 (n=394)	男性 R6 (n=349)	性別の選択なし R6 (n=10)
R1 (N=769)	R1 (n=482)	R1 (n=286)	
H26 (N=1032)	H26 (n=581)	H26 (n=434)	

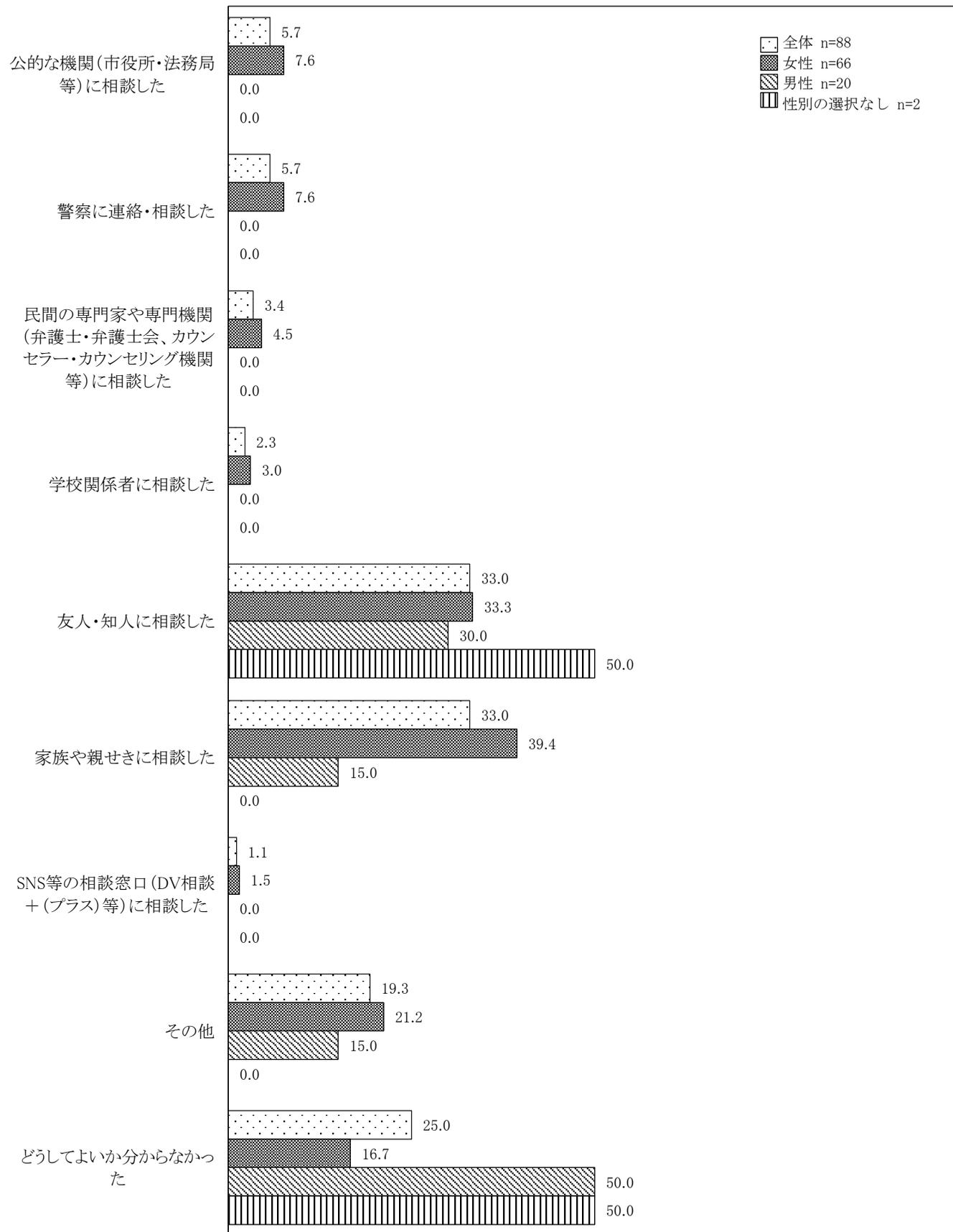
子どもに対する暴力(子どもへの直接的暴力又は面前DV
(子どもの前であなたへの暴力))



全体 R6 (N=658)	女性 R6 (n=394)	男性 R6 (n=349)	性別の選択なし R6 (n=10)
R1 (N=769)	R1 (n=482)	R1 (n=286)	
H26 (N=1032)	H26 (n=581)	H26 (n=434)	

□ 男女の人権について

問 2 1
 (問 2 0 で 1 の「ある」を選択した方のみ)
 あなたは、配偶者等や交際相手からそのような行為をされたとき、どのように行動しましたか (あてはまるもの全て)。



※問 2 1 項目集計表 (性・年代別) [構成比(%) / 人数(人)]

	公的機関(市役所・法務局等)に相談した	警察に連絡・相談した	民間の専門家(弁護士会、弁護士会・カウンセリング機関等)に相談した	学校関係者に相談した	友人・知人に相談した	家族や親せきに相談した	SNS等の相談窓口(DV相談+プラス)等に相談した	その他	どうしてよいか分からなかった	無回答
【全体】 n=88	5.7 (5)	5.7 (5)	3.4 (3)	2.3 (2)	33.0 (29)	33.0 (29)	1.1 (1)	19.3 (17)	25.0 (22)	1.1 (1)
【女性】 n=66	7.6 (5)	7.6 (5)	4.5 (3)	3.0 (2)	33.3 (22)	39.4 (26)	1.5 (1)	21.2 (14)	16.7 (11)	1.5 (1)
【男性】 n=20	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	30.0 (6)	15.0 (3)	0.0 (0)	15.0 (3)	50.0 (10)	0.0 (0)
【性別の選択なし】 n=2	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	50.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	50.0 (1)	0.0 (0)
女性【18～19歳】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【20～29歳】 n=4	50.0 (2)	25.0 (1)	0.0 (0)	50.0 (2)	25.0 (1)	25.0 (1)	0.0 (0)	25.0 (1)	25.0 (1)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=8	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	50.0 (4)	37.5 (3)	0.0 (0)	25.0 (2)	25.0 (2)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=14	0.0 (0)	7.1 (1)	7.1 (1)	0.0 (0)	28.6 (4)	21.4 (3)	0.0 (0)	21.4 (3)	28.6 (4)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=15	13.3 (2)	6.7 (1)	13.3 (2)	0.0 (0)	33.3 (5)	53.3 (8)	6.7 (1)	6.7 (1)	20.0 (3)	6.7 (1)
【60～69歳】 n=10	0.0 (0)	10.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	50.0 (5)	20.0 (2)	0.0 (0)	30.0 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)
【70歳以上】 n=13	7.7 (1)	7.7 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	15.4 (2)	61.5 (8)	0.0 (0)	23.1 (3)	7.7 (1)	0.0 (0)
男性【20～29歳】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=2	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	50.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	50.0 (1)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=3	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	33.3 (1)	0.0 (0)	33.3 (1)	33.3 (1)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=4	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	25.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	25.0 (1)	50.0 (2)	0.0 (0)
【60～69歳】 n=6	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	33.3 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	16.7 (1)	50.0 (3)	0.0 (0)
【70歳以上】 n=4	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	50.0 (2)	50.0 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	50.0 (2)	0.0 (0)
性別の選択なし 【30～39歳】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)

【全体】

DV被害を受けたときの行動についてみると、女性では「家族や親せきに相談した」(39.4%)が最も多くなっている。一方、男性は「どうしてよいか分からなかった」(50.0%)が最も多くなっている。男女ともに「友人・知人に相談した」(女性33.3%、男性30.0%)が次いでいる。

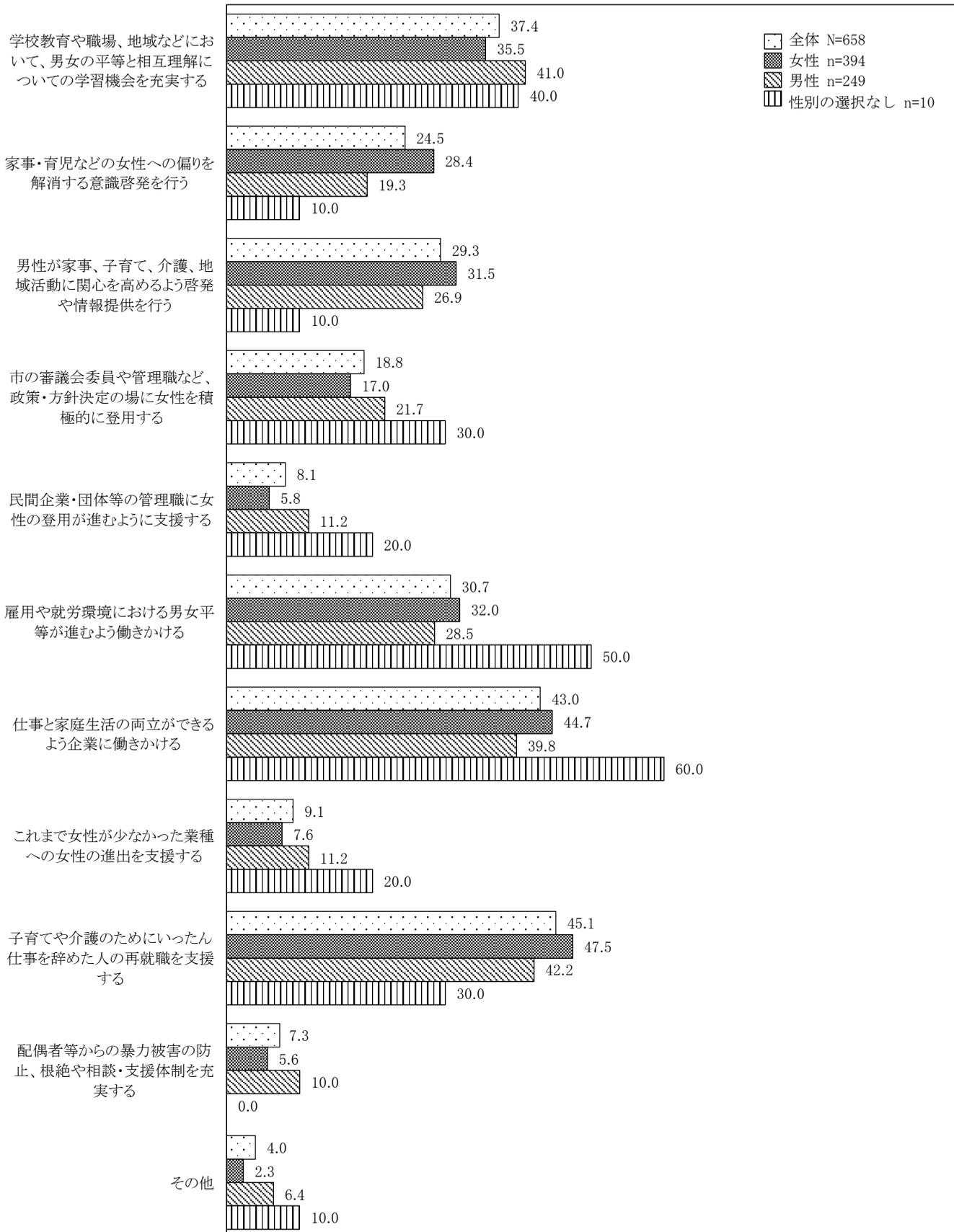
【性別・年代別】

女性では「家族や親せきに相談した」「友人・知人に相談した」の割合が多くなっている。一方、男性は「どうしてよいか分からなかった」が最も多くなっている。

□ 男女共同参画に関する取組について

問 2 2

あなたは、男女共同参画社会を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか（三つまで）。



※問2 項目集計表 (性・年代別) [構成比(%) / 人数(人)]

	ての学 校の男 女の学 習機会 を充実 する	学校教 育や職 場の平 等と地 域など におい て	家消事 ・育 意識啓 発を行 う	解家事 ・育 意識啓 発を行 う	報活男 性に関 心を高 めるよ う啓 発や地 域情	に登用 する	策市 ・審議 会委員 や管理 職など 、積極 的政	の民間 企業・ 団体等 の管理 職に女 性	が雇用 や就労 環境に おける 男女平 等	う仕事 と家庭 生活の 両立が できる よ	のこれ まで女 性が少 なかつ た業種 へ	事を辞 めた人 の再就 職をい ったん 仕	根絶や 相談・ 支援体 制を充 実する	配偶者 等から の暴力 被害の 防止、	その他	無 回 答
【全体】 N=658	37.4 (310)	24.5 (222)	29.3 (484)	18.8 (43)	8.1 (127)	30.7 (198)	43.0 (300)	9.1 (62)	45.1 (221)	7.3 (35)	4.0 (23)	2.7 (3)				
【女性】 n=394	35.5 (140)	28.4 (112)	31.5 (124)	17.0 (67)	5.8 (23)	32.0 (126)	44.7 (176)	7.6 (30)	47.5 (187)	5.6 (22)	2.3 (9)	2.5 (10)				
【男性】 n=249	41.0 (102)	19.3 (48)	26.9 (67)	21.7 (54)	11.2 (28)	28.5 (71)	39.8 (99)	11.2 (28)	42.2 (105)	10.0 (25)	6.4 (16)	2.0 (5)				
【性別の選択なし】 n=10	40.0 (4)	10.0 (1)	10.0 (1)	30.0 (3)	20.0 (2)	50.0 (5)	60.0 (6)	20.0 (2)	30.0 (3)	0.0 (0)	10.0 (1)	0.0 (0)				
女性【18～19歳】 n=15	26.7 (4)	40.0 (6)	46.7 (7)	13.3 (2)	0.0 (0)	46.7 (7)	53.3 (8)	13.3 (2)	40.0 (6)	6.7 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)				
【20～29歳】 n=29	34.5 (10)	17.2 (5)	17.2 (5)	3.4 (1)	3.4 (1)	48.3 (14)	69.0 (20)	13.8 (4)	48.3 (14)	6.9 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)				
【30～39歳】 n=44	31.8 (14)	38.6 (17)	36.4 (16)	11.4 (5)	13.6 (6)	15.9 (7)	50.0 (22)	6.8 (3)	43.2 (19)	9.1 (4)	2.3 (1)	4.5 (2)				
【40～49歳】 n=53	39.6 (21)	41.5 (22)	26.4 (14)	18.9 (10)	5.7 (3)	26.4 (14)	41.5 (22)	3.8 (2)	50.9 (27)	11.3 (6)	3.8 (2)	0.0 (0)				
【50～59歳】 n=63	34.9 (22)	28.6 (18)	28.6 (18)	15.9 (10)	4.8 (3)	38.1 (24)	39.7 (25)	9.5 (6)	42.9 (27)	4.8 (3)	4.8 (3)	0.0 (0)				
【60～69歳】 n=87	37.9 (33)	26.4 (23)	34.5 (30)	19.5 (17)	3.4 (3)	35.6 (31)	40.2 (35)	5.7 (5)	54.0 (47)	4.6 (4)	0.0 (0)	2.3 (2)				
【70歳以上】 n=97	36.1 (35)	21.6 (21)	33.0 (32)	22.7 (22)	7.2 (7)	28.9 (28)	41.2 (40)	8.2 (8)	43.3 (42)	2.1 (2)	2.1 (2)	6.2 (6)				
男性【18～19歳】 n=14	35.7 (5)	7.1 (1)	7.1 (1)	14.3 (2)	7.1 (1)	42.9 (6)	57.1 (8)	0.0 (0)	35.7 (5)	28.6 (4)	0.0 (0)	0.0 (0)				
【20～29歳】 n=16	43.8 (7)	25.0 (4)	37.5 (6)	12.5 (2)	0.0 (0)	12.5 (2)	62.5 (10)	6.3 (1)	43.8 (7)	12.5 (2)	6.3 (1)	0.0 (0)				
【30～39歳】 n=28	32.1 (9)	14.3 (4)	25.0 (7)	32.1 (9)	10.7 (3)	25.0 (7)	42.9 (12)	10.7 (3)	39.3 (11)	17.9 (5)	10.7 (3)	3.6 (1)				
【40～49歳】 n=33	36.4 (12)	18.2 (6)	21.2 (7)	18.2 (6)	9.1 (3)	21.2 (7)	42.4 (14)	12.1 (4)	45.5 (15)	12.1 (4)	18.2 (6)	0.0 (0)				
【50～59歳】 n=33	36.4 (12)	15.2 (5)	30.3 (10)	21.2 (7)	9.1 (3)	33.3 (11)	36.4 (12)	15.2 (5)	42.4 (14)	9.1 (3)	3.0 (1)	0.0 (0)				
【60～69歳】 n=57	40.4 (23)	14.0 (8)	24.6 (14)	29.8 (17)	19.3 (11)	33.3 (19)	40.4 (23)	15.8 (9)	45.6 (26)	5.3 (3)	3.5 (2)	1.8 (1)				
【70歳以上】 n=64	50.0 (32)	29.7 (19)	34.4 (22)	17.2 (11)	9.4 (6)	28.1 (18)	28.1 (18)	9.4 (6)	39.1 (25)	6.3 (4)	4.7 (3)	3.1 (2)				
性別の選択なし 【20～29歳】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	100.0 (1)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)				
【30～39歳】 n=1	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)				
【40～49歳】 n=2	100.0 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	50.0 (1)	50.0 (1)	0.0 (0)	50.0 (1)	50.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)				
【50～59歳】 n=3	33.3 (1)	0.0 (0)	33.3 (1)	0.0 (0)	33.3 (1)	33.3 (1)	100.0 (3)	33.3 (1)	33.3 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)				
【60～69歳】 n=1	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)				
【70歳以上】 n=1	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)				

※問2 2 項目集計表（職業別） [構成比(%)／人数(人)]

	てての学 校男女 教育の 平等と 相互理 解につ いて学 習機会 を充実 する	解家消 事す・ 育見な ど啓発 を女性 への偏 りを	報活男 提動に 関家事 を行心 を子育 て、介 護、地 域	に策市 登・の 用方審 する針議 決定会 委員 や管 理職 に積 極的 政	の民 登間 用企 業・ 団 体等 の支 援に 女性	が雇 用や 就労 環境 にお ける 男女 平等	う仕 事と 家庭 生活 の両 立が でき るよ	のこ れま で女 性の 進出 を支 援す る業 種へ	事子 育て や介 護の ため に再 就職 をい った ん仕	根配 絶偶 や者 相等 談か ら暴 力被 害の 防止 、	そ の 他	無 回 答
【総計】 N=658	37.4 (246)	24.5 (161)	29.3 (193)	18.8 (124)	8.1 (53)	30.7 (202)	43.0 (283)	9.1 (60)	45.1 (297)	7.3 (48)	4.0 (26)	2.7 (18)
【自営業主（農林漁業、 商工業、サービス業 等）・家族従事者】 n=29	41.4 (12)	27.6 (8)	27.6 (8)	17.2 (5)	6.9 (2)	24.1 (7)	41.4 (12)	10.3 (3)	44.8 (13)	10.3 (3)	3.4 (1)	0.0 (0)
【専門職・技術職（開業 医、弁護士、芸術家 等）】 n=30	40.0 (12)	13.3 (4)	36.7 (11)	23.3 (7)	6.7 (2)	30.0 (9)	50.0 (15)	13.3 (4)	36.7 (11)	10.0 (3)	3.3 (1)	0.0 (0)
【会社などの役員】 n=15	26.7 (4)	40.0 (6)	20.0 (3)	20.0 (3)	6.7 (1)	26.7 (4)	40.0 (6)	6.7 (1)	26.7 (4)	0.0 (0)	0.0 (0)	20.0 (3)
【正規の社員・職員】 n=193	35.8 (69)	27.5 (53)	27.5 (53)	16.1 (31)	8.3 (16)	29.5 (57)	47.7 (92)	10.9 (21)	43.0 (83)	8.3 (16)	7.3 (14)	0.5 (1)
【パート・アルバイト・ 臨時雇い・派遣社員】 n=118	44.9 (53)	21.2 (25)	29.7 (35)	18.6 (22)	10.2 (12)	31.4 (37)	46.6 (55)	11.9 (14)	42.4 (50)	8.5 (10)	0.8 (1)	0.8 (1)
【内職・在宅ワーク】 n=5	20.0 (1)	40.0 (2)	0.0 (0)	20.0 (1)	0.0 (0)	100.0 (5)	20.0 (1)	0.0 (0)	80.0 (4)	0.0 (0)	20.0 (1)	0.0 (0)
【専業主婦・主夫】 n=64	35.9 (23)	26.6 (17)	29.7 (19)	21.9 (14)	4.7 (3)	37.5 (24)	31.3 (20)	4.7 (3)	62.5 (40)	3.1 (2)	0.0 (0)	1.6 (1)
【学生】 n=31	41.9 (13)	25.8 (8)	32.3 (10)	12.9 (4)	6.5 (2)	38.7 (12)	51.6 (16)	6.5 (2)	41.9 (13)	16.1 (5)	0.0 (0)	0.0 (0)
【無職】 n=144	35.4 (51)	24.3 (35)	33.3 (48)	24.3 (35)	8.3 (12)	29.9 (43)	36.1 (52)	7.6 (11)	44.4 (64)	4.9 (7)	4.2 (6)	4.9 (7)
【その他】 n=8	37.5 (3)	25.0 (2)	37.5 (3)	0.0 (0)	12.5 (1)	12.5 (1)	37.5 (3)	12.5 (1)	25.0 (2)	12.5 (1)	12.5 (1)	12.5 (1)

【全体】

男女ともに「子育てや介護のためにいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」（女性47.5%、男性42.2%）が最も多くなっている。次いで女性は「仕事と家庭生活の両立ができるよう企業に働きかける」（44.7%）、男性は「学校教育や職場、地域などにおいて、男女の平等と相互理解について学習機会を充実する」（41.0%）が多くなっている。

【性別・年代別】

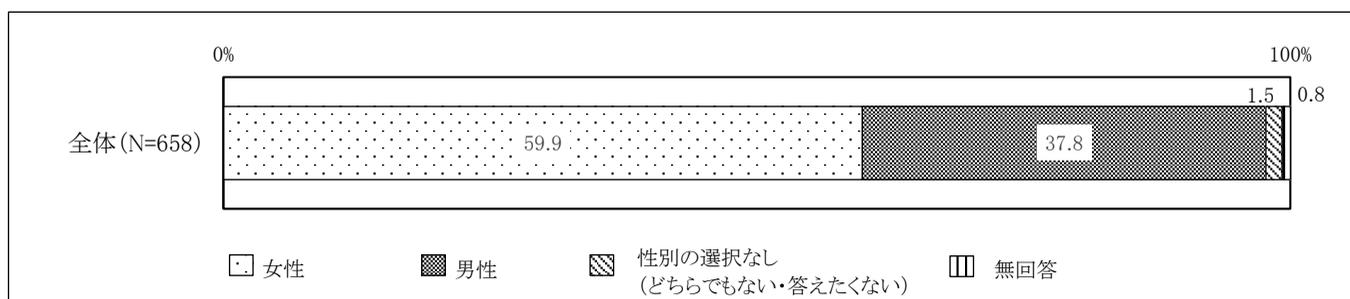
女性の10～30代については「仕事と家庭生活の両立ができるよう企業に働きかける」が、40～70代については「子育てや介護のためにいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」が最も多くなっている。一方、男性も10～30代については「仕事と家庭生活の両立ができるよう企業に働きかける」が、40～60代については「子育てや介護のためにいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」が最も多く、70代のみ「学校教育や職場、地域などにおいて、男女の平等と相互理解について学習機会を充実する」が最も多くなっている。

【職業別】

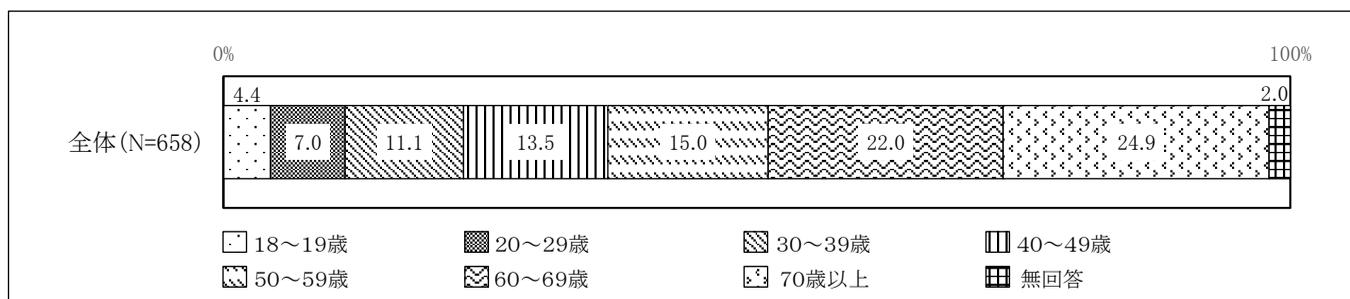
「内職・在宅ワーク」で「雇用や就労環境における男女平等が進むよう働きかける」が最も多く、その他のグループでは「仕事と家庭生活の両立ができるよう企業に働きかける」と「子育てや介護のためにいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」が多くなっている。

□ 統計的に分析するために、あなたご自身のことについてお尋ねします。

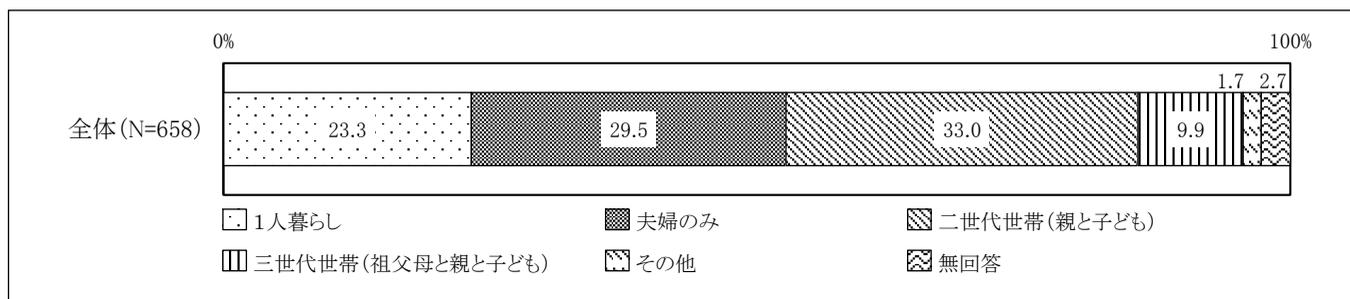
問 2 3
あなたの性別をお聞かせください（一つだけ）。



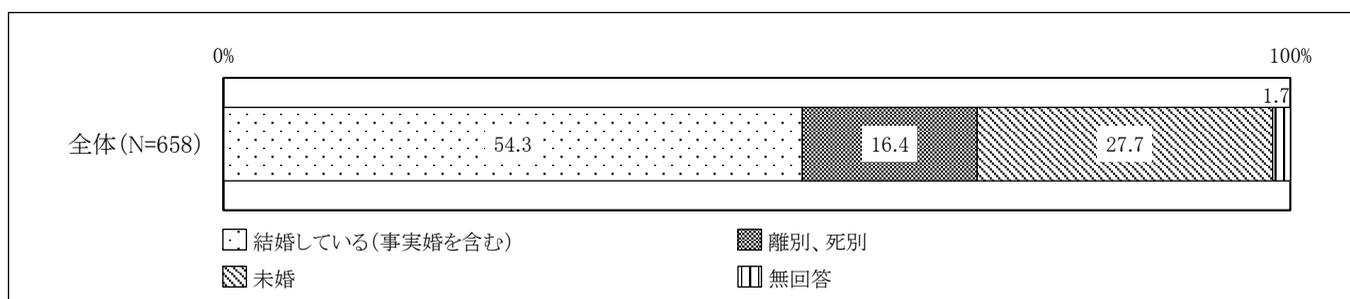
問 2 4
あなたの年齢はおいくつですか（一つだけ）。



問 2 5
あなたが現在生活しているご家庭の家族構成は、次のどれに該当しますか（一つだけ）。



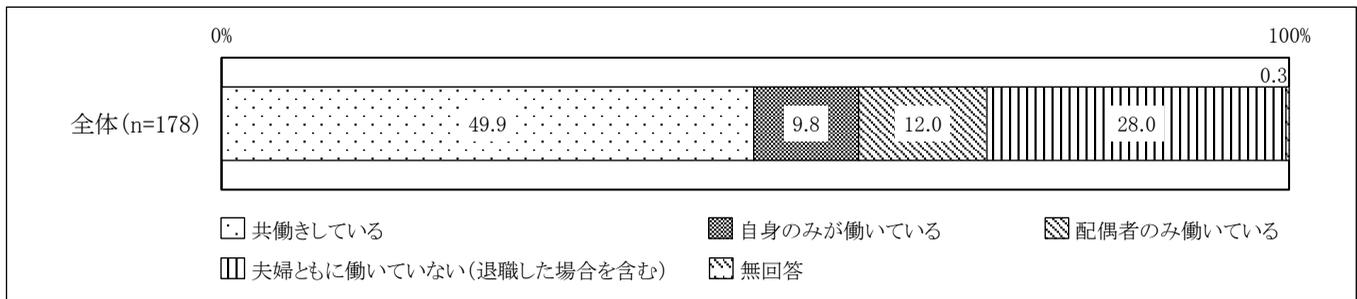
問 2 6
あなたは、結婚されていますか（一つだけ）。



問 2 7

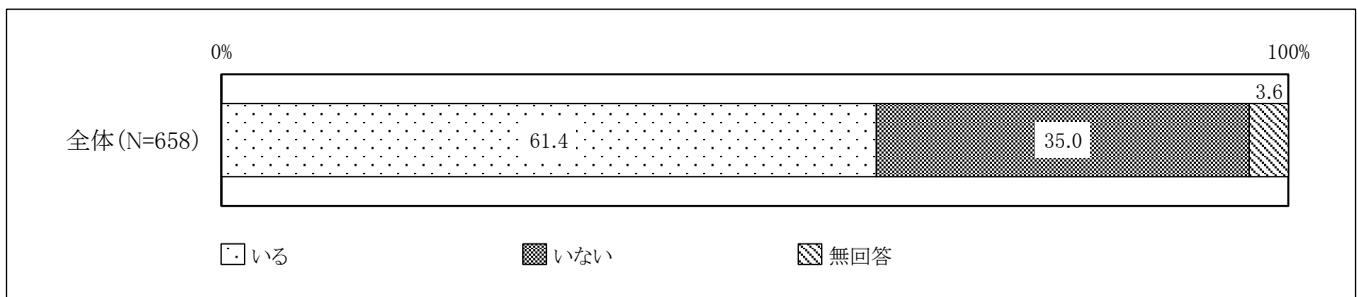
(問 2 6 で 1 を選択した方のみ)

あなたは共働きですか。それとも夫婦どちらか一方が働いているご家庭ですか (一つだけ)。



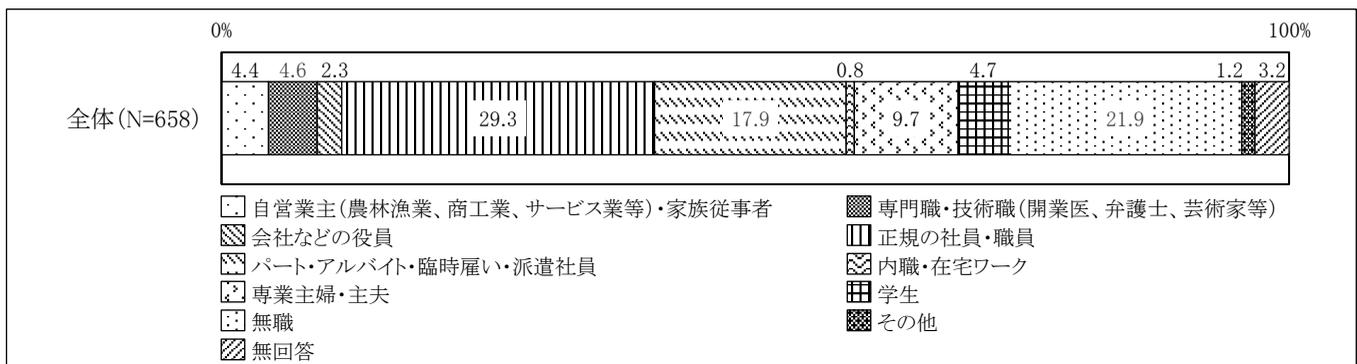
問 2 8

あなたにはお子さんがいらっしゃいますか (一つだけ)。



問 2 9

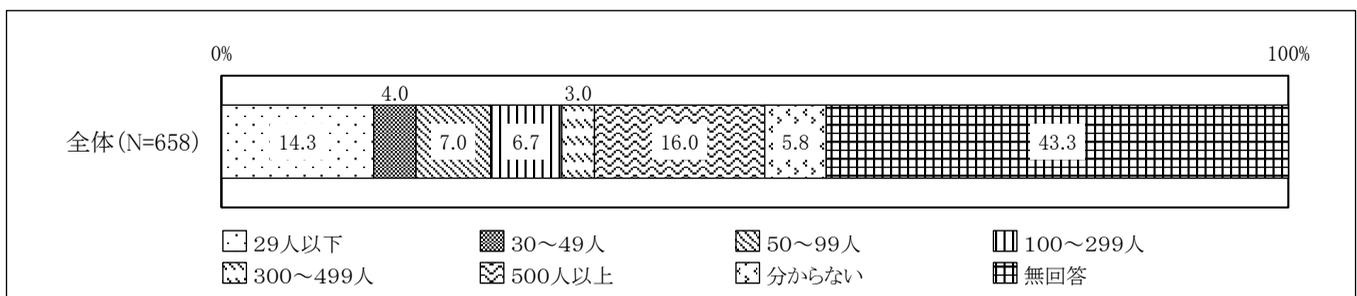
あなたのご職業は次のどれに該当しますか (一つだけ)。



問 3 0

現在、お仕事をされている方にお聞きします。

あなたの職場 (本社、支店、営業所なども合計した企業全体) の従業員数は、次のどれに該当しますか (一つだけ)。



問31

男女共同参画社会を進めていくに当たって、ご意見やご要望がありましたらお聞かせください。

【魅力あるまちづくりについて】

- ▶ 魅力ある柏崎でないと、働く人が集まらない。住みやすい、子育てしやすい、働きやすい街づくりが急務であると思います。 50代 女性
- ▶ 柏崎のまちづくりに意見があります。他県より転勤で転入しましたが、柏崎に魅力がなさすぎます。大きなショッピングセンターを造るか、レストランの営業日を日曜日にも営業するようにするなどしないと、他の市にわざわざ出かけなくてはならない状況になっていると思います。フィッシャーマンズケープなどの観光スポットもさびれているし、あまり見所がなく、手入れがされていないのですごく寂しく、わざわざ観光に行く理由がないところしかないと思います。仕方なく今はこちらに住んでいますが、早く出て行きたい気持ちで日々過ごしています。気象など生活環境もよくないので、魅力的なまちづくりをしていかないと人が寄り付かないと思います。改善をお願いします。 30代 女性
- ▶ 企業誘致し、若者を定住させ、地域の活性化をはかるよう切望します。 70代 男性
- ▶ 男女共同参画社会を進めていくことも大切だと思いますが、根本的に柏崎の活性化を進めていくことが男女平等にもつながると思います。最近、柏崎の廃れ具合が加速してきている感じます。大胆な行政改革が必要だと思います。 40代 女性

【男女共同参画社会の推進について】

- ▶ 社会的基盤の整備を望みます。 50代 男性
- ▶ 男女が平等な社会は以前に比べ、とても進んでいると私は感じています。まだまだかもしれないですが、これからも、もっと平等な社会であってほしいです。 20代 女性
- ▶ 行動力、即決力(判断の出来る人)、誰にでも優しく出来る人。男女問わず社会を進めてほしいです。 60代 女性
- ▶ 大事なので、優先順位をつけて取り組んで下さい。 30代 男性
- ▶ 旧思考を再考して、地域、家族、国が男女平等を大事にして、実行するしかないと思います。 70代 女性
- ▶ 男女の理解と協力で平等な社会に進んで行くと良いですね。(希望です。) 70代 女性
- ▶ 女性の政治家や議員を増やす。それに当たっては議員にも定年制を設け、70、80歳になった高齢男性議員には引退してもらい、席を譲る。世代交代の考えを持たせる。 50代 男性
- ▶ 男女が平等に社会で昇進していくには、周りの助けが必要だと思います。特に子供がいる家庭は、親達と別々に暮らしている家庭が多い傾向にあると思うので、支援が難しい中、やはりどこか妥協しなければいけない所は仕方ないのかなと。 30代 女性
- ▶ 男だから、女だからでなく、それぞれの特性が発揮できる仕事で社会に貢献でき、自らも満足できるのが理想。家庭生活は、まだまだ女性に負担が多くなる率が高いと思う。育児休暇、介護休暇など、取りやすい職場が望まれる。(男性も)女性の管理職やリーダーは、もっと増えてほしい。 70代 女性
- ▶ 働いていた当時、夫は妻を扶養できても反対は駄目。同居していた妻の親を妻の保険や扶養に入れる事も駄目。私の保険にと言われても養子縁組をしているわけでもなく…。平等なのは所得税控除のみ。男女平等と言うなら根本的部分から正す必要を感じていました。 70代 男性
- ▶ 様々な世代が性別を問わずストレスの発散の機会や楽しみの時間を持つるとよい。どのくらい一生懸命に生きられるかは個々の状況によるが、これから生きていくチカラの助けになるように 50代 男性
- ▶ 行政が色々関与するのはいいが、男女平等を基本として考えてほしい。男女どちらかに偏ってもなかなか成果は出ないと考える。 40代 男性
- ▶ 男女共同というよりは、個人の意見が尊重される社会づくりに取り組むべきだと思います 40代 女性
- ▶ 男女共同参画で、男性、女性という考え方が少し遅れていると思う。妊娠、出産は女性にしかできないので、その前後で女性の考えや希望が尊重される形が良いと思う。 40代 男性
- ▶ 男女の違いを認めながら、互いにできることを協力してやっていく。 60代 男性
- ▶ 男女どちらにも逆差別のない社会づくりのために社会的努力が必要と思う 50代 男性
- ▶ 男と女の数を同数にするのは正しい共同参画社会ではない 50代 男性
- ▶ 職業には適材適所があることから無理に男女の比率を同じにする必要はないと思う。例えば政治家や管理職の人数は性別とは無関係がよい 70代 男性
- ▶ ・家事、育児、地域社会、住民の意識改革、平等化。 70代 女性
 ・国会議員、県都道府議員、市町村議員の半減と実働人員の増加。
 ・自由な選択的夫婦別姓で選べるように。嫁に行く、婿に入るという、家主体の考え方を変えていく。家族制度の破壊にはならない。
 ・保守的でなく選ぶ自由を大事に。(ケースバイケースだが…)
- ▶ 70代以上の年配者の男女共通参画への理解が難しいが、この年代の人たちが社会でまだまだ権限を持っている部分が多いと感じる。子どもたちの教育で未来に向け少しずつ変わると思うが、混在している思考の中間にいて、いろいろ考えさせられるし、無力感も感じる。 50代 女性

- ▶ なんだかんだ言っても変わらないと思う。法律にするくらいの事をしないと変わらないと思う。これまで生きてきた状況が当たり前だと思っているから。そもそも上に立っている政治に携わってる人達は凡人の気持ちに寄り添う気持ち0で結局自分達の有利しか考えてない。このアンケートで変わるとは思えない。がんばってる風を見せてるだけとしか思えない 60代 女性
- ▶ 町内会の役員にさせられるのが男性だけで何回も繰り返してさせられている。やめてほしい。 60代 男性
- ▶ 男女共同参画社会は今後も更に充実されるべきだが、女性だからという理由で、職務能力が欠如しているにも関わらず管理職にしている傾向もあるという事実も理解して欲しい。 40代 男性
- ▶ 結果の平等を求めると採用などの場面で不自然に女性が優遇される場面がでかねない(現に理系大学では女子枠などというふざけたものもある)。機会の平等を徹底してほしい。 40代 男性
- ▶ 女が何故働けないのかを、女目線で考えられる人間がここにいないと、どれだけ理想を掲げても変わらない。飾りで進めるのでないなら人選はしっかりしたほうがいい 40代 女性
- ▶ 柏崎市が男女共同参画社会を進めてることすら知らなかった。自分自身、女性として感じるのは「女性だから…」と言う場面ばかりだと思っている。本当に進めているとは思えない。 50代 女性
- ▶ 女性の必要とされる場が多くなるのは好ましいが、“女性である”ということをシンボルとして、本当に、真に能力のある人でないのに登用するのはやめて欲しいと思います。要はご本人の“資質”です。 70代 女性
- ▶ 雇用等が男、女、平等になる様な社会で、女性が子育て、介護にどうしても関わるので、男性も介護とか家事等を協力しないとイケないと思う。 70代 男性
- ▶ 何人かの選ばれた女性だけが活躍するのは反対はしないが、少々違和感があります。もっと女性全体の底上げをしてほしいです。(給料をかなり上げたり、“ワークライフバランス”ができたり、意識の向上、など)ただ、女性が幸福になるための選択などの自由はあってほしい。 50代 女性
- ▶ 女性も大いに働くべきだと思う。家事も問題になってくる。私の場合は義両親と同居で、私のできない家事は義母がしてくれて、夫の出るときがなく、義両親が亡くなった後は何も出来ない。私の年代ではそれが当たり前だったのか、出来ないのではない。今になってみれば、とても困ります。義父が家事をしない人だったせいもあります。 70代 女性
- ▶ 男女平等を掲げすぎるあまり、極端な女性有利社会を作ろうとすることは違うと思う。だが、実際に女性にしかならない社会の苦しさはあるので、そういったところを改善出来るよう、女性の社会での地位の更なる上昇も必須だと思うので、そこのバランスが課題だと考えている。(しかし、これが簡単に出来たら苦労はしないとは思いますが、、、) 20代 男性
- ▶ 決議機関において、男性のみならず女性の意見を反映することが大切だと考えている。自分の考えを臆することなく職場で伝えていきたい。 50代 女性
- ▶ 女性が社会的地位をあげるのは無理。理由はプライベートと仕事を両立できるスキルがある人は少ないから。少数派の意見を評価するようにする社会は無理が出て、個人の性格が歪む。両立できる人は少ない。 40代 男性
- ▶ そもそも男と女では基本的な体の構造が違うため、それに合った仕事をせざるを得ない。戦争だったり、暴力だったり、どうしても昔から男の方が危険な目に合いがちだと思う。(生命において)それなりに平等な時代になってきているのでは! 40代 男性
- ▶ 世代での考え方の違いが大きいと感じるので、時間が経てばある程度解決するとは思いますが。勉強会を開催しても年配者の方には理解してもらえない場合も多いです。働きたいや昇進したいなどは本人の考え方や技量によるものと思います。 40代 男性
- ▶ 男女共同参画だけではなく、心のゆとり、思いやりのある柏崎市になることを希望します。他責ではなくこの文書を読んでいるあなた自身から考えて行くことが大切と思います。差別や妬みは必ず発生しますのでその対策よりケアの充実が大幅に拡大されることを期待します。 50代 男性
- ▶ ・男女共同参画に対して、どれだけの人々が不満に思っているのか。
・男女共同参画に対して、どのような人々が、どのような不満を持っているのか。
・有識者の意見よりも一般の人々に問うてみては。
・そもそも男女共同参画について、普通の人たちはどれほどの問題意識を持っているのか。
・行政がいたずらに問題を大きくしようとしていないか。 70代 男性
- ▶ アンケート全体の質問内容からも、現状としては仕方ないのかもしれませんが、「女性の方が男性よりも社会進出しにくい」という概念が一般的なのかなと感じられて悲しかったです。男女関わらず、社会に出る際の選択肢が増え、やりたい事がやれるようになる、そんな社会になるといいなと思います。 30代 女性
- ▶ このアンケートに強く地域活動を盛り込まれている意図がわからない。何かの助け合いを市が考えているなら、コミセン等を通して町内当番にコミセン職員が仕事を丸投げしないよう、よく配慮して慎重に進めてほしい。問11:家庭生活あつての仕事に力が入られる。地域活動はそのバランスの中で努めたい。問12:家庭、仕事、地域活動の順でバランスを取って活動する事を心がけている。 60代 女性
- ▶ アンケートの結果を活かして、できるだけ多くの人の意見が反映されるよう尽力していただきたいです。 60代 男性
- ▶ アンケートを活かした社会に近づける事を未来の大人達のために希望しています。 50代 女性

- ▶ アンケート結果をもとに、柏崎の将来に活かしてほしいと思います。そのためには、市民の意見を取り入れてほしいと思います。 10代 女性
- ▶ 男女共同参画室という部署を未だに設けていてこの様なアンケートをとっている現状が、柏崎市が性別等に左右された人事を実施しているという事実を表している。 無回答 どちらでもない
- ▶ 共働きは大変だと思う 70代 女性
- ▶ 仕事も色々の説明会も出席して話を聞きたいと思います。 70代 女性
- ▶ 形にはめないでそれぞれ 50代 男性
- ▶ 特にする必要はない。 40代 男性
- ▶ あまり賛成しない 70代 男性

【性的役割分担意識の解消について】

- ▶ 男は外で働く。女は、家庭を守る。この考え方を持つ人が減ればより良くなると思う。 60代 男性
- ▶ 男性の意識を変える学習、勉強会が必要。今はほぼほぼ育児、介護を含み仕事も終わりましたが、何もかもがのしかかって大変な時期を過ごして来ました。家族がよく話し合い乗り越えられましたが、周りがなかなか大変でした。周りの勉強する機会が大切と思う。 70代 女性
- ▶ 大切なのは男性の理解が進むこと。男で産まれたということがそれだけで女性より偉いと考える男性が私の夫ですが、大人になってから考え方を考えるのはとても難しいと思います。子どもの頃から正しく教えること、正しい大人を実際に見て育つことで次の世代がより平等な社会を作ってくれると期待したいです。私自身はもう諦めています。 40代 女性
- ▶ 「女性の社会進出」という視点だけではなく、社会に存在する性別役割意識や、制度の不平等を解決していただきたいと思う。 40代 男性
- ▶ 若い世代は子供の頃から男女平等など、学習の中で取り組まれていたので理解していると思うが、少し上の世代は詳しく学習はしてきていないと思うので、行われているのかも知れませんが、学習する機会を増やした方が良いのかもしれない。 50代 女性
- ▶ 年配の方や男性の考え方を変えて欲しいです。共働きしていても、家事や育児は女性が行うものだと思う方が多いと思います。女性を見下している人がいます。 30代 女性
- ▶ 家庭内や学校内では、ほぼ男女平等だと思う。職場や政治の世界では、それが一変する。不思議である。また、女性である母親から生まれた男性が女性を差別することも不思議でならない。男性自身が意識を変えることが必要だと思う。 70代 女性
- ▶ 男性の仕事だけしていれば良いという考え方を改めないかぎり、女性の社会進出に伴う家庭と仕事との両立は難しいと思う。夫婦が家庭での働きを同じぐらいたないと、女性の負担は増えるばかりである。 30代 女性
- ▶ 現役世代ばかりだけでなく、年配の方たちにも理解を深める機会を作っていないと家庭や地域での考えの差が埋まらないのかなと思う。男女平等になってきているように感じているが、男性の家事・育児への参加はもちろん女性の意識改革が必要だと思う。 40代 女性
- ▶ 若い世代は、男女共同参画社会の認識がある方だと思うので、年配の方への理解があると男性が家事、育児等に参加しやすくなり、女性の働きやすさにつながると思います。 20代 女性
- ▶ 男性にもっと共同参画社会を理解して頂く場を作ってほしいです。 70代 女性
- ▶ 男女の持つ、固定観念を変える活動を積極的に行う。時短の業務を、男女共に取得させる。 20代 男性

【働く場での男女平等について】

- ▶ 私が社員の頃より、社内の男女差は少なくなっています。 70代 男性
- ▶ 男女雇用機会均等法が成立してから30年以上経ちますが、年月のわりに進みが遅い気がします。女性の地位が上がり管理職についている方も増えてきましたが、まだまだ不十分と思います。 60代 女性
- ▶ 女性は力仕事は男性には劣るので、男性と同等の仕事ができない。力仕事の現場に女性がいると、女性にできない分を男性が余計に仕事をしなければならぬため、平等の仕事量にならないから女性の方が賃金が安いのだと思う。年金額が女性より男性の方が多く支給される。女性の管理職が少ないことや仕事量などが背景にあるが、女性はもっと能力を付けてたくましくなって男性と同等の仕事ができるような社会にしてほしい。社員が一人減ると、その人の分の仕事を皆で分けると思うと、休みにくい職場になる。周りの理解を得られても、内心どう思っているかは分かりません。少人数で回している現場で産休や育休に入られると、残った者の仕事量が多くなると思うから、私は家庭を優先したり、産休、育休に入りにくいと思う。 40代 女性
- ▶ そもそも女性で男性と同じ立場で働きたいという方は少ないと思う。によって、その少数の方への過大な対応?もいささか?ではある。デスクワーク、営業等男女が平等(の仕事)なら、同じ様な金額を能力に応じて支払う事は当然だと思う。肉体的に男の方が多くの仕事をこなせる場では男が高い賃金をもらう事は当たり前。個人的イメージで申し訳ないが、一般的に女性は仕事を選び好みする傾向が男より強い。ひがみ、文句が多く、雇用のリスクが高い。何かあれば「パワハラ」「ハラ」と言われそうで正直面倒。 50代 男性
- ▶ 正当な能力の評価がされるような職場がいいと思います。 40代 女性

- ▶ 職種によってはまだ男女平等になっていないし、収入の違いがあるように思える。職種での平等は無理な職種も有ると思うから仕方がないが、収入は能力に合った賃金を出せるようにして欲しいと思う。 60代 男性

- ▶ 社会的には考えはかなり広まってきていると思うが、現実としてサービス業だと子供のいる女性を雇った場合、子供さんの都合で急に休んだりされると補てんが必要になる。しかし、人を余分に採用すると、※労基法のため、過剰な労働力を抱えることとなり、利益追求の観点からはマイナスになってしまう。※最定労働時間(労働契約における)があるため。 40代 男性

- ▶ 仕事をして育休を付与されても取得しにくい。5日/年の義務的な物では家庭や社会活動に回せない。強制的な取得率の向上やペナルティー、それと同時に男女の家庭と社会参加への意識改革をもっと進めて欲しい。 50代 男性

- ▶ 会社勤めを長らくして思うことは、最近仕事熱心な男性が少なくなったと感じる事です。休みが取り易いことは家庭生活においては大切なことですが半面仕事に対する心構えが緩いようにも感じます。 50代 女性

- ▶ 職場での理解、夫婦の理解。 70代 女性

- ▶ 自営業(サービス業)のため、女性が多くを負担を抱えていると思う。 70代 女性

- ▶ 女性は本当に働きたいと思っているんですか？ 30代 男性

【育児・介護との両立に向けた支援などについて】

- ▶ 家事などの分担は当事者間で決定すれば良いが、それを会社や地域が理解しサポートできる体制が必要。男性の育休経験者として、年収が半分以下になるので経済的に厳しすぎて積極的に取るのは難しいと実感した。 40代 男性

- ▶ 男性の育休をもっと取りやすい環境作りをしていく事で女性の活躍出来る環境が出来てくると思うので、その辺りの社会的ルールを作っていけば良いと思う。女性は！という考えがとにかく古い！企業や行政の中枢にもっと若い風を入れられるようにする。 40代 男性

- ▶ 最近、知り合いの息子さんや娘さんのパートナーが“育休を取る”という話を耳にするようになり、とてもよいことだと思いました。自分自身も以前より男性の育休に対する偏見がなくなってきたように感じます。 60代 女性

- ▶ 第二子を出産した際主人が育休を取ったが、出産直後1ヶ月しか取れなかった。主人の会社で男性が育休をとるのは主人が初めてであり、周囲の業務負担や復帰後の主人の働き方的にそれ以上の休暇を取ることが難しかったと思われる。私の周囲で男性が育休をとるという話はほとんど聞いたことがなく、男性の育休の理解や制度がまだ不十分だと思う。また、保育園や学童の迎えに行くと、それを行っているのは母親が多く、子どもの受診に付き添っているのもほとんど母親である。男女の平等もそうだが、少子化対策や子育てしやすい環境つくりのためにも、もっと男性が子育てに参加してほしいと思う。 30代 女性

- ▶ 男女平等と言われるようになって久しいですが、その割に男性の家事率は低く、結局は女性の負担が大きいと耳にした事があります。男性も女性も働きながらの家事、育児はとても大変と思います。家事代行サービスをもっと気軽に活用されると良いと思います。 60代 女性

- ▶ 夫に買い物に行ってもらいたい。子どもの通院をしてほしい。ごはんを作ってもらいたい。私も同じフルタイムで働いているのに、土日ほぼ私が子どもを見ているのに、ごはんを作ってくれるパーちゃんがいてほしい 50代 女性

- ▶ 長岡のてくてくや上越のオーレンのような施設が欲しい。保健師さんやいろいろな方のお話が聞けて、預かってくれる。 70代 女性

- ▶ 結婚、出産を経験し、ワークライフバランスをより考えるようになりました。私はより家庭を重視したいと思うようになり、子育てしやすく、仕事を少しはやるというスタンスを取りたいと思っています。まだ女性が子育ての柱となる考えが私にはあるからだと思います。ただ子育てしつつ、自分のキャリアも!!と思う女性も多いと思いますので、市としてサポートしていただけると子育てしやすい地域としていいのではないかと思います。 30代 女性

- ▶ 女性が仕事と家庭(特に子育て)の両立ができるように、職場や社会や家族(男性)の理解が必要。また両立のための制度をしっかりと整えることが必要と思います。保育園までは女性が働ける環境はある程度整ってきているとは思いますが、小学校入学から4年生くらいまでは放課後や休日の扱いが難しいことがあります。充実した放課後支援が必要と思います。 60代 女性

- ▶ 自分の働かせていただいている職場は仕事量に給与が見合っていないと感じており、年度末での退職を考えています。現在の給与、収入状態では子どもを育てるのが難しく、2人目以上も望んでいるのですがとてもじゃない程現実的でない望みとなってしまっています。難しい問題であることは十分承知しているつもりですが経済面での助けがもっとも必要です。よろしく願いいたします。 20代 女性

- ▶ 最近では男女関係なく社会生活を送れる時代ですが、出産、子育てに伴い、労働へのハンデは少なくないと感じます。それに対しての援助はあると思いますが、十分に広まっていないと感じます。 50代 女性

- ▶ 未就学児がいる家庭に対してもっと就職しやすい環境になると良い 60代 女性

- ▶ 子育てをもっとしやすくする 20代 男性

- ▶ 保育所や預けたいときに預ける事ができる人選。対策。 50代 女性

- ▶ 男性育休の取得率があがるよう、もっと呼びかけてほしい。 30代 女性

- ▶ 子供が小さいうちは、夫の単身赴任は、企業側にあまりしないよう働きかけてほしい 60代 女性
- ▶ もっと男性の育休取得を進めてほしい。補助を増やすことも検討してほしい 20代 女性
- ▶ 子育て支援、金銭的支援、柏崎は支援がなさすぎる 30代 男性
- ▶ 子育て世代の経済面での支援。学校無償化、進学のための経済的支援をしっかりとやる。 40代 男性
- ▶ 子育て、介護がしやすい様、労働環境を整える 60代 女性
- ▶ 子育て、介護の支援の充実、人手不足の改善 60代 女性
- ▶ 育児・介護の支援体制の充実! 60代 男性
- ▶ 介護サービスを充実させてほしい 60代 女性
- ▶ 新しい時代の介護を知る機会が市内は少なすぎると思います。機器やスライディングシート、ボード、グローブや力のいらぬ介護の体験の機会を増やしてほしいです。 50代 女性

【行政に望むことについて】

- ▶ 人権尊重は、人々の内心に変革を求めるといふ大変な活動であり、啓発が重要かと思ひます。近年会社、官公庁などのトップ、委員、要職に女性が登用されてきており、男女平等が着実に進んできていると思ひます。これからも民主委員、人権委員等を動員して年1度くらいは大きな啓発キャンペーンをする、また、年配者の集会、自治会の集会などで啓発活動を展開してほしい。 70代 男性
- ▶ 共働きの増加や働き方の多様化で様々なニーズが増加して、それに対応するための相談する所が少ない。 60代 男性
- ▶ ハローワークが土・日営業していない事が不便です。例えば、家庭生活と仕事の両立が難しい環境にある場合、それらに対する理解や支援がありそうな、より良い就職先を探したくても、基本平日仕事をしている人はなかなか利用出来ません。土・日も営業して頂ければ、その問題は解決するし、ハローワーク事態の雇用も増やせるかもしれません。 30代 男性
- ▶ 女性の社会進出に賛成だが、女性がやりたがる職種に偏りを感じる。女性が少ない職種に女性が入ったら、市が何か補助する事は出来ませんか？ 30代 男性
- ▶ 結婚後、介護、子育てを1人でやって来ました。仕事も出来ず、大変でした。年金を上げてほしいです。 60代 女性
- ▶ 共働きからの意見になりますが企業・職場管理者の方向への推進説明会を行ってはいかがでしょうか。1度ではなく継続して。 50代 男性
- ▶ ・市議会議員を問24の様に年齢別に、問23の様に性別で登用してみたらいかがでしょうか?(7種の年齢×3種の性別で人数的にも良い感じだし)
・市長、副市長は、異性尚但年齢を足して100歳以下にするといかがでしょうか?
・何か事を起こすには、言い出しっぺのお手本が必要かと思うので、まずは市役所の方からだと思います。女性を闇雲に増やそうとするのではなく、若い世代の男女の意見や要望が聞ける柏崎市にしたらどうでしょうか。 40代 女性
- ▶ 若い時は若い時、家庭、家族を持つとその時!老人の時は老人の時と、年齢的、年代的に自分のことに一生懸命になる。今、老人世代、老後に不安だらけ。年金だけでは暮らせない。市に一考をお願いします。 70代 女性
- ▶ 先ず。行政は意識の啓発と支援を強力に行う。 70代 男性
- ▶ ・公務員、企業の男性の育休取得の法律化。
・保育受皿の拡充と施設自体の人材確保。 60代 女性
- ▶ 言葉だけが先行し、実態が伴わないのが一番良くないから、本当にこういう社会を目指すのであれば、行政も本気で何らかの取り組みをしていくのが大事だと思う。 40代 女性

【教育に望むことについて】

- ▶ 男女共同参画社会を進めていくには、大人になって社会に出て考えさせられるのでしょうか。私は小学生の時から意識すべき問題だと思います。男だから女だからでなく、人間として何ができるのか、みんなのために何が足りないかを考えさせる授業から始めていく必要があると思います。 60代 女性
- ▶ 大人になってから男女平等という意識を持って、それまでの間に男性の方が優遇されている事実があると上辺だけの言葉になってしまうと思う。小さい頃から、小中高生の頃から家庭においても、地域においても男女平等の社会であることを意識していくことが大切であると思う。学校での教育の中で、そのことを意識づけしていくことが必要だと考えます。 40代 女性
- ▶ モラルのある人間に育てましょう。柏崎市は大人がダメダメです。飲食店で帽子を取らない。自転車で右側を走る。右側駐車している。この様な常識を小さい時から教えて下さい。 60代 男性
- ▶ 平等や対等な立場などの考えは良いと思います。でも男と女と役割りが違うので、出産などで女性が社会でさらに上を目指していくのは大変だと思います。本来ならば、子どもを授かれば母親は家で子どもを守るのが大切な役目だと思います。それができにくい社会の方が課題だと思います。日本ながらの昔からの意識というなら、教育から取り入れていくべきではないかと思ひます。 40代 女性

- ▶ NHK朝ドラの初の女性判事の時代から現在の女性社会進出は大きく前進していますが外国から比べるとまだ遅れているとか。男、女の違いを認めつつ立場を尊重、理解。難しいですが子供の時からの教育が原点かなと思います。男女共同の世の中で成長し、それが当り前の世界がいつか現実になりそうという夢を持てます。先は長いかも知れませんが、この問題を継続して発信する事の意義を感じています。ありがとうございました。

70代 女性

【ハラスメント・DVの根絶について】

- ▶ 様々なハラスメントが現在存在しています。細かに分類された方が良いと思います。加害者、被害者共に気づかないでいることもあるのでは。
- ▶ 被害者が泣き寝入りすることがないように、ハラスメントや性犯罪撲滅の為の政策をちゃんと作ってほしいです。

60代 女性

30代 女性

【アンケートの実施について】

- ▶ デスクワークでは無く現場を良く見てほしい。体裁じゃ社会も人も救えない。
- ▶ 問3:「このような考え方をどう思うか」という質問をすることそのものが理解できない。
- ▶ 未婚の人には答えにくい内容です。もう少し考えて送って下さい。
- ▶ テレビなどで多く取り上げている中でアンケートする前にそちらから何をする、したいを見せてほしい。

40代 男性

60代 男性

30代 女性

60代 男性